

等ニ最, 多シトス. コノタメ或ハ上肢ヲ伸バシタルママニテ動カナクナリ, 或時ハソノ爲メ斜頸ヲ來タスコトアリ. 第 183 圖ハ兩脚ノ拘攣ヲ示セルモノトス.

斯クシテ同患者ハ眼ヲ閉テ顔ヲ歪メ手ヲ縮メ足ヲ屈メ, 時ニハ全く歩行シ得ザルモノアリ. 多クハひすてりー發作後ニ現ルモ時ニ同發作ニテ消ユルモノアリ. 同症ハ精神性ノモノナリトモ睡眠中持續シ, 經過長キモノアリ.

ひすてりー  
麻痺

ひすてりー麻痺ニハ局所麻痺・截癱・半身麻痺・全身麻痺等ノ別アリ. 概シテ感動ノ激變・痙攣・外傷等ニ基キテ發ス.

ひすてりー半身不隨ハ同病麻痺ノウチニ於テハ多數ノモノナレド 卒中後ノ半身不隨ト異ナリ顔面神經・舌下神經ハ侵サレザルモノ多ク, 卒中後ニ見ルガ如キ固有ナル拘攣ヲ缺キ, バビンスキー 症狀ナク, 往々皮膚感覺異常・視野ノ異常ヲ伴ナフ. 又, ひすてりー麻痺ハ一筋肉・或ハ或筋肉群ノ麻痺ナラズシテ寧, 機能障礙ト見ユ. 例ヘバ一方ノ上肢ガ動カズ或ハ手ニテ或物ヲ握ルコトガ叶ハズト云フガ如ク或種作業不能トシテ現ル. 又, ソノ運動ガ出來テモ力ガ入ラズ或ハ動かカス意志ヲ缺キ諸運動ノ配合ガ正シカラザルタメノ動作不能ト思ハルル場合多シトス. 斯クシテひすてりー者ニハ脚ニ相當ナル筋力アリテモ立タムトスレバ忽, 倒レルノ狀ヲ示シ, 歩カムトスレバ甚シク蹣跚タル狀ヲ呈シ, 尙, 強ヒテ歩行セシメムトスレバ益々倒レムトシテ歩ケザルコトアリ **佇立歩行不能** Astasia-

佇立歩行不  
能

basie ノ名アリ(第 184 圖參照).

發聲不能

時ニハ發聲不能 Aphonie トテ呬語ニテハ談話シ得ルモ普通ノ音ヲ發シテハ話ス能ハヌモノアリ. 又ハ眼瞼 提舉筋麻痺 ノタメ **眼瞼下垂**

眼瞼下垂

Ptosis ヲ來ス例モアリ.

時ニハ眼球麻痺モ現ル. 但, コハソノ原因拮摠筋拘攣ノ爲メナルコト多シ.

目視麻痺

ソノ 1 = **目視麻痺** Blicklähmung トテ左右兩眼ヲ上・下・左・右ニ動カシテ或物ヲ見ムトスル運動ガ出來ヌモノアリ(第 185 圖參照). 同様ナル關係ヨリ瞳孔強直ヲ示スコトアリ. 但, コハ中樞性ノモノナラズシテ末梢瞳孔縮小筋拘攣ニ因ルト考ヘラル. ひすてりー眼球振盪モ存スト云ハルレド疑ハシ. 横隔膜ノ強直拘攣ヨリ下腹部膨滿ヲ呈スルコトアリ(第 172 圖參照).

3. 消化器障礙トシテハ食欲減退アリ, 而モソノタメ飢ヲ覺エズ食ヲ攝ラムトスル意志ヲ缺キ, 甚シキニ至リテハ食欲ガ全く失セ, 久キ間絶食スルモノアリ. 反對ニ貪食症モ現ル. 尙, 時ニハ食物ニ對スル嗜好ト嫌惡トガ變化シ食欲倒錯ヲ呈スルコトモアリトス. 時ニハ頑固



1 2 3

第 185 圖 ひすてりー性目視麻痺ノ圖. 1, 2 ハ幅轉運動不能・  
3 ハ外方ヘノ共働運動不能ヲ示ス

ナル嘔吐・便秘・腹部膨滿(鼓腸)ヲ現シ, ソノタメ腹部疾患ト誤ラルル場合モアリ(第 175 圖參照). 4. 分泌異常ニハ發汗・唾液ノ過多, 尿ノ分泌過少等アリ. 5. 脈管系異常ニハ皮膚著色ノ變化, ちあの一ぜ, 腫脹, 水腫, 發疹, 出血等アリ. 心悸, 脈搏增多ヲ見ルコトモ亦, 稀ナラズ. 6. 營養障礙トシテハ毛髮ノ色ガ變リ, 毛髮ノ大部突然脱落シ, 時ニ全頭髮ガ忽, 灰白色ト化スルモノアリ. **ひすてりー發熱** Hysterisches Fieber モ伴レルモノ以外ニ確ニ存在スト思ハル.

ひすてりー  
發熱

楮, 以上ノ身體症狀ハ**ひすてりー特徴** Hysterische Stigmata ト通稱セラレテ本病診斷上ニ極メテ重要ナル症狀トセラルルモノナレドモ同症ハひすてりーニノミ來タル症狀ニハアラザルナリ(後條, 本病診斷ノ項ヲ參照).

ひすてりー  
性特徴

[豫後]ひすてりー性性格ハ一生ニ互リテ存續スルモソノ病勢ニハ消長アリ. 身體疲勞・大病・精神過勞ノ後, 又ハ破瓜期・經竭期・少年・老年期ニ於テ増悪スル例多シ. 重症ナルひすてりー變質ハ治リ難シ. 急性ひすてりー性精神病ハ經過如何ニ長引クトモ病勢如何ニ重クトモ癡呆ニ陥ルコトナシ. 殊ニ新奇ナル療法ニヨリ症狀ハ一時消散スル例アリ. サレド之ニヨリ全然治ルコトハナシ. 治リテモ再發アルヲ免レ

ズ、輕キ急性精神異常ハ治リ易シトス。

〔原因〕 ひすてりーハ遺傳性體質病トスベシ。發病誘因ニハ往々明白ナルコトアリ。輕キひすてりー性格ハ敢テ疾病ト稱スベキモノニアラス、ひすてりー反應ハ常人ニテモ極メテ烈キ原因アルトキニハ誘發セラルトノ考ヘアリ。即、或程度マデハ普通人ニモ極メテ烈キ精神激變アラバ發スベシトセララルモノニテ斯クテ發セル症狀ヲひすてりー反應トシひすてりーナル固有疾病トハセズト考フ説アリ。

クレペリンハひすてりーノ80%ニハ負荷アリト云フ。東大精神科ノ統計ニヨレバ大酒・卒中ヲ除ケル一般負荷ハ47.3%ナルモ、直接同種負荷ハ僅ニ5.6%、直接異種負荷ハ38.9%ナリト云フ(仁志川學士)。男女ノ罹病比ニ就キテハジョルリー Jolly ハ1:5、クレペリンハ2:3、東大精神科ニテハ2:3ナリトス。一般ニ本病ハ女子ニ多く、文化・國民性ニヨリ差アリト云ハル。發病年齢ハ20歳前後ノモノ多く、小兒・初老期以後ノ人ニ少ナシ。但、幼時・老年ニモ發スルコト無キニアラス。初老期ニハ増悪スルモノ多シ。又、年ヲトリテ後ニ發病セルモノハ症狀輕キモノ多く、更ニ性格變調トシテ自恣・悖德傾向ガ強キヲ例トス。同病ヲ發スベキ人ノ氣質・性格ニハ自我顯示・感激性ノ人が多く、尙、魯鈍・智力足ラヌ人ニモ少ナカラズ。中壽・外傷・疾病、殊ニ腦病トシテ腦微毒・腦腫瘍、精神病トシテ躁鬱病・精神分裂病・進行麻痺、就中、ソノ初期ノ人ニ併發スル例モ多シ。刑務所ニ入レル後ニひすてりーヲ發スルコト多シ。或人ハ以上ヲ hysterisieren セシムル原因ト云フ。

斯クテクレペリンハひすてりーヲ1. 變質性ひすてりー Degenerationshysterie, 2. 少年期ニ現レ豫後好良ナル發育期ひすてりー Entwicklungshysterie, 3. 腦病等ノ身體病ニ伴ナフ症候性ひすてりー Symptomatische Hysterie, 4. 外傷ニヨルひすてりー Traumatische Hysterie, 5. 拘禁ひすてりー Haft-hysterie, 及、6. 中毒ひすてりー Intoxikationshysterie ニ小別セリ。

尙、小兒・未開人ノひすてりーハ徵候ヲ多數示サズ單一症狀性 Monosymptomatisch ナルモノ多く、外傷ひすてりーニテハソノ外傷ヲ受ケタル所ノミ症

狀ヲ現スモノアリ局部ひすてりー Lokalhysterie ナル名アリ。痙攣發作ノミヲ示スひすてりーヲ痙攣ひすてりー Krampfhysterie ト云ヒテ區別スル人モアリトス。

本病ハ遠キ昔ヨリ存在セシ疾病ニシテ敢テ近代ノ疾病ナリトハ云ヘズ、殊ニ西歐洲ニ於テハ現代ニナリ中世紀ヨリ却テ減少シタリト説カレ。

〔病理〕 初メハ本病ヲ生殖器ノ異常、殊ニ性ノ満足ヲ求メテ得ラザル子宮ガ體內ヲ徘徊スルタメニ生ジタル病トセリ。後、ビールナ・キーハ血液検査ノ結果、酸化作用ノ異常ニ基ク病トシ、或人ハ物質代謝異常ヲソノ本態トナス。即、共ニ神經系以外ノ異常ヲ以テ本病ノ本態トナセリ。

然ルニジョルコー(1860)及、其ノ徒弟ニ至リテ本病ヲ精神上ノ疾病トナシジャネーハ意識ノ分裂、即、意識野ノ狭小・精神機能綜合ノ減弱ニヨル病症ト解セリ。但、同説ハ運動麻痺・感覺脫失ノ説明ニハ甚、都合好キモ、全ひすてりーヲ解説スルニハ不十分ナル感アリ。ソキーニ Sollier ハ腦ノ一部睡眠ナリトシメビウスハ觀念ニヨリ身體上ノ病的變化ヲ發スル病症ト考ヘソノ本質ヲ生來精神異常ニ歸セリ。

クレペリンハ初メ觀念説ニ贊セリ。但、ソノ觀念ハ感情ニ充チタル觀念ニシテ其ノ感情ガ餘リニモ強烈ナル折ニハ觀念ノ存在ガ不明トナリ、只、感情ノミヨリコノ病的症狀ガ現レタリト見ユルモノアリト説キ、後、本病ノ精神神經症狀ヲ異常表情ノ發露ナリトナシ、之ヲ本病ノ特異點ナリト思ヘリ。即、同病ノ身體ナチグマーた・精神症狀ハ皆現代人ニハ平素無ク、只、或種非常場合ニ於テノミ現ルル一種ノ變態表情運動ニシテ本病者ニハ斯カル變態表情運動發露ヲ頗、容易ニ惹起シ得キ所ニ特徴ガ有リ是ハ同人ノ中樞神經系ニ發達不全アルガタメト解釋シ本症ヲ發育不全症ノ一種ト斷ゼリ。

ブレイエル Breuer, フロイド Freud ハ小兒期ニ受ケタル性ノ侵害ガ累ヲナス病ト解説シ、ソノめはにすむすニツキテハソノ精神苦惱ガ本人ノ人格以外、本人意識以外ニ潜在シ、而モソレガ本人人格ノ精神ヲ常ニ有害的ニ刺戟・攪亂シ以テひすてりー症狀ガ惹起セラルト考ヘ、ソノ後、一般ニ意識下ノコノ働キヲ複錯 Komplex ト名ヅケ、ソレ等ガ意識上ニ現レムトスレバ自我ナルモノノ管

局部ひすてりー  
痙攣ひすてりー

視 Censur ニヨリテ 意識下ニ抑壓セラレ ムトシ、茲ニ是等兩者ノ間ニ葛藤起コリソノタメニ本症ヲ發スト説ケリ。尙、同説ニヨレバひすてりー性複錯ノ主ナルモノハ性的要素ニシテ、本人ノ知ラヌソノ性的願望ガ意識下ニ在リテ實現ヲ欲スト雖モ社會的風教ノタメニ達セラレズ、意識下ニ抑壓セラレ、茲ニ兩者ノ間ニ争鬪 Konflikt ヲ生ジテひすてりー症狀ヲ現スト云フ。尙、ソノ折生ゼルヒすてりー症狀ヲソノ願望ガ變形セル表徵 Symbol ナリト説ケリ。

學問  
表徵

ソノ後、フロイドハひすてりーニハ聯合ノ普遍性ナルヲ得ズシテ常態ノ能動性反應ガ妨ゲラレル催眠様ひすてりー Hypnoide Hysterie、複錯ガ意識サレムトシテモサレ難キ停滞ひすてりー Retentionshysterie、分裂セルモノガ本人ノ願望トナル願望ひすてりー Wunschhysterie、逃避性・又ハ防禦性タル防衛ひすてりー Abwehrhysterie 等ノ別ヲ設ケタリ。

爾餘ノ學説トシテハ間腦ニアル感情調節中樞ノ異常説、精神機能過敏説、刺戟ト反應トノ不調和説等アリ。

又、ひすてりー症狀ノ發現機制ニ就テモ多ク説アリ。例之(1)前記セル意識分裂ニヨリひすてりー症狀ガ發生ストノ説ヨリ同病症狀ヲ特殊表情トナス説、(2)複錯ガ或種病的症狀トナリ現ル際ニソノ複錯ガ形ヲ變ズル形式ニ 2種アリ 1ハ美化 Sublimierung トテ内容ヲ高等ナル精神現象ニ變化シテ表現スルモノニテ他ハ本能運動・身體症狀トシテ現ルモノナリ轉置 Konversion ト云ハル。ひすてりー症狀ハ以上ノ機制ニヨリ現レ能動性防衛機制ノ再現ニ因ルト考フ。

尙、他ニ古キ昔ノ經驗ノ再現・固着 Fixation、特殊注意増進ニヨルトノ考アリ。或ハ疾病タル望ミ、健康體タラムトノ願望、疾病ヘノ逃避 Flucht、即、願望 Wunsch、目的 Zweck、放縱、習性 Gewöhnung、運動・感情ノ滞留 Retention、期待 Erwartung、模倣等ニヨルナドノ解説モアリ。尙、ひすてりー症狀ニハ恰モ目的アリテ任意ニ行フ如クニ見エ 佯病ト區別サレ難キ例往々アリトセラレ、又、同病ノ症狀ヲ運動過剰 Bewegungssturm、不動現象 Immobilisation、佯病癱等トシ、凡テ生ニ執着スル本能ト考フル説モ存スルナリ。

〔經過〕 ひすてりー性格ニハ經過中ノ消長少ナカラズト雖モ一生涯持續スルモノナリ。尙、ソノ程度強キモノハひすてりー性變質ト稱セラレ、豫後不良トセラルモ時ニヨル強弱アリ。急性ひすてりー精神異常ハ一時的ノモノナレド反復性ハ強シ。

刑務所ヘノ入所・其ノ他ノ諸原因、就中、腦疾患等ニ伴ナヘル合併ひすてりーニテハ該原因・之ヲ誘發ス可キ身體疾患ノ如何等ニヨリ經過甚、異ナル。而モ是等ハ一般ニ經過短ク、數日・數ヶ月ニテ済ムモノ多シ。タトヒ長ク續クトモ一時ハ必、治ルモノナリ。拘禁ひすてりー・外傷ひすてりーニシテ發病ノ原因タル複錯ガ久ク消退セザルモノニアリテハ、ソノ間、病症ガ久ク繼續シ時ニハ甚、長キ經過ヲ示スモノアリ。例之、10年モ續ケル例モ珍カラズ。但、斯ク長ク病メルモノナリトモ、ソノ原因ガ去レバ全症忽、治ルモノハ多シ。一般ニ男性ひすてりーハ經過長ク、表情ノ變化輕キヲ例トス。

〔鑑別〕 躁鬱病、精神分裂病、進行麻痺ノ初期ニ於テハひすてりーニ似タル自我心強ク、感情變化シ易ク、暗示性ニ富ミ、時ニ半身感覺異常・ひすてりー發作ニ似タル症狀ヲ示スコトアリ。更ニソノ發病原因ニ明カニ心因症狀ト認ムベキモノ存シ、爲メニひすてりート誤診セラルル場合少ナカラズ。サレド久ク看察シ居ル間ニハひすてりー以外ノ諸症狀顯著ニ現レ來タルヲ以テ區別セラル。殊ニ躁病ハ原因無クシテ發病シ、注意散亂・著明ナル作業心迫アリ。精神分裂病ニテハ持續性ノ幻聽・拒絶・常同ヲ認メラレ進行麻痺ニテハ記憶障礙・言語蹉跎・瞳孔強直ナド存ス。其等各病ノ鑑別ニ關スル事項ハ當該各病ノ章ニ於テ既ニ記シタレバ茲ニ略ス。而モ一般ニひすてりーハ精神症狀主ニシテ、該症狀ハ多種多形ナルノホカ複雑ナルひすてりー身體症狀アリ。更ニひすてりー發作ニ伴ナヒテ發シ、朦朧狀態ガ主ナリ。ひすてりート癲癇トノ區別モ往々困難ナルコトアリ。特ニひすてりーニテ痙攣・朦朧狀ヲ主トシひすてりー特徴ヲ缺ク 場合ニ於テ然リトス。

普通、癲癇發作ハ些ノ準備ナク突然ト發シ、俄然倒レ、發作時間短ク、臭素劑・ルミナーニヨリ影響ヲ受ケ易ク、ソノ朦朧狀態ハ苦悶性・刺戟性ニシテ暴行多ク、感情ノ變化乏シ。反之、ひすてりー發作ハ急激ナラズシテ概、徐々ニ起リ、持續時間長ク、朦朧狀態中ノ動作ハ比較的安靜ナルモ多クハ誇張的・演劇的ニシテ、且、外界ノ刺戟ニ應ジテ變化シ易ク、殊ニ泣キ又ハ笑フモノ多シ。尙、發作後、朦朧狀態中ノ出來事ヲ聞ケバ癲癇性ノモノニテハ全部健忘ヲ呈ス

ルニ反シひすてりーソレハ概括性健忘ヲ示スニ止マル。癲病者ノ個性ハ几帳面・遲鈍ニシテ外界ニ影響セラレ難ク、且、定期性不機嫌アリ。精神衰弱ヲ呈スルコト多キモ、ひすてりーニテハ之ニ反スル例多シ。サレドひすてりーニテモ外見上茫然ト見ユルコトアリソノタメ兩者ガ誤ラル場合往々アリ。

ひすてりート他種病質者トノ區別ハ實際上必要ナルモノノ移行型ガ多ク鑑別到底不可能ナル例少ナシトセズ(後條同章参照)。

〔治療〕本症ハ遺傳ニヨリ生ズル場合多キヲ以テ結婚ノ際ニハヨクソノ血統ヲ糺スベシ。又、模倣ニ因ル發病モ多キヲ以テひすてりー性ノ親アラバ家庭ヨリソノ子ヲ遠ザケ、學校ニテ斯卡ル性癖著明ナル人アラバ一時登校ヲ禁ズル要アリ。殊ニ教員ニテスカル性癖アルモノハ兒童ニ對シ重大ナル意義アリト心得ベシ。ひすてりー性兒童ハ概シテ空想ニ耽リ易ク、感情變化シ易ク、激シヤスシ。殊ニ自恣ニシテ暗示性ニ富ムモノナレバ、此等ノ點ハひすてりー性特徴トシテ注意スベシ。スカルモノヲ教育スルニハ文學方面ヨリモ科學・學術ニ親マシメ、芝居・映畫等ノ娛樂ヲ遠ザケ、戶外ニ出デ遊バンメ、身體ノ練成・強健ヲ圖リ、自然ニ親マシメ、共同生活ニ慣ラシ、過嚴ナル教育ヲ避ケ、寧、心ヲ安ンジ、氣ヲ伸バシ、愉快ニソノ日ヲ送ラスヤウ心掛クベシ。徒ニ叱責スルハ百害アリテモ1ノ利益ナシ。尙、本病ニ傾ケル兒童ハ色情風發スルモノ多ク、而モ一旦之ニ染ムレバ矯正困難ナルモノ多ケレバソノ豫防ニモ十分意ヲ用ユベシ。

要スルニ智力ノ修養ヨリモ感情・意志ノ訓練ニ意ヲ用キテ確實ナル生活ニ進ムベキヤウ意志教育・練成ヲ行フヲ良シトス。

既ニ本病ヲ發センモノニハ精神療法ガ主タリ。其ニハ或ハ家庭ヨリ遠ザケ、精神ノ慰安ヲ圖リ、又ハ氣ヲ他ニ轉ジ、精神作業療法ヲ課シ、健全ナル意志ヲ助成・鞏固ニスルコトニ努ムベシ。又、獨立心ヲ強メ殊ニ病ニ負ケザルヤウ訓へ、時ニ暗示療法ヲ用キ病苦ヲ忘レシムベシ。若、人ヲシテ已ニ注目センメントスル傾向著キ癖、即、自我顯示著明ナルトキニハ故更之ヲ放置シテ所謂 合目的放任法 Zweckbewusste

Vernachlässigungニ從ヒ、徒ラニ患者ノ言フガ儘トナリソノ言ニ從フコトヲ禁ズベシ。蓋、ソレニヨリ患者ノ自負心ガ益々昂マリ、獨立心ノ發生ガ妨ゲラレ、自恣・心氣念慮ノ發達愈、強マルモノトス。催眠術ハ一時ニ或症狀ヲ消散セシムル點ニ效果アリト雖モ同病全部ガ治ルモノト思ヘズ。時ニハ暗キ無響室ニ入レテ無刺戟トナシ、又ハ感動療法ヲ行ヒテ效果甚、大ナルコトアリ。

藥劑療法ハ從タルモノニシテ僅ニ輕キ鎮靜劑ガ用キラルノミ普通使用セラルル臭素劑・瀉草劑ハ單獨ニ又ハ他ノ藥劑ト伍シテ使用セラル。あだりん・ぶろぼりん・かるもちん(かるもちん0.9 重曹2.0 健末0.2 右1日3回分服)・かるしうむ劑等ガ普通用キラル。但、鎮靜劑・又ハ催眠劑ハコノ際、他種ノ精神病ノ其ト異ナリ輕キモノガ良キ場合多シ。殊ニ過敏ナル人ニ於テ然リトス。催眠劑ハ成ルベク避クベシト云フ説アルモ、不十分ナル眠劑ノ使用ハ却テ害アルコト多シ。尙、人ニヨリテハ眠劑ニヨリ却テ興奮スル患者アリ。無益ニ強キ藥劑ヲ強ヒテ用キルニ及バス。不眠ニ對スル恐怖ハソレトシテ別ニ取扱フベシ。

貧血ニハ鐵劑ヲ與フルモ可ナレド、本病者ノ顔面蒼白ハ體質又ハ血管攣縮ニ基クモノ多シトセラル。概シテ身體ノ營養ヲ圖リ、鐵劑・きにーね・あるぜんぶるとうぜ類ノ内服、又ハそらるそんノ注射等モ效アリ。心氣性ニシテ消化不良・不眠・削瘦等アルモノニハ食餌療法・又ハ其ノ變法ヲ行ヒ、場合ニヨリテハ冷水擦摩・感傳電氣適用等ノ對症療法ヲ施スモ可ナリ。輕量ノいんしゅりんモ效アルコトアリ。

臍腺狀態ノ際ニハ顔面ニ冷水ヲ灌グコトニヨリテ經過ヲ短縮シ得ルコトアリ。但、一般ニハ痙攣ガ起ル時ニハ却テ放置スルヲ可トス。之ニ種々ノ處置ヲ施シテ效ナキトキ徒ラニ醫師ガ周章狼狽・焦慮スルハ却テ發作ヲ助長セシムル場合多シ。ひおすちんノ少量(0.0005)ヲ皮下ニ注射シテ靜メラレ又ハ催眠術ニヨリ減弱セラルルコトアリ。興奮甚キ時ニハ一時、精神病院ニ入ルルコトノ必要アリ。之ニヨリテ發作ノ忽、止ム例ハ甚、多シ。精神病院外ノさなとりうむ様式ノ所ニ入レ我儘・

放縱ノ風ヲ培フハ症状ヲ増悪スルノ害アリ。

神經衰弱

### 第十六章 神經衰弱 Neurasthenie.

#### 神經衰弱反應 Neurasthenische Reaktion,

#### 舊名,後天性神經衰弱 Erworbene Neurasthenie.

〔歴史〕 似タル状態ハ餘程昔ヨリ注目セラレ、本態ガ病的刺戟性・過度過敏症ナルコト 1855年ハツセ Hasse ヨリモ既ニ唱ヘラレシガ、神經衰弱トハピアード Beard ニヨリ 1868年ニ命名セラレシナリ。當時身體・精神ノ過勞アリ、ソノ補給ガ足ラザル折ニ發スル病トシ主徴候ヲ刺戟性纖弱 Reizbare Schwächeニ歸セリ。後、生來性・又ハ體質性ニ生ズル同様ナル病狀アリト考ヘ、其等ヲ區別スルタメ本症ヲ後天性神經衰弱ト名ヅケ、更ニ近時、一種ノ病ナラズシテ多種ノ原因ヨリ發スル反應状態ナリトシテ神經衰弱反應ナル名ガ生ズ。

〔症候〕 主訴トシテ疲勞感強クソノ爲メ理解減退感・注意散亂感・記銘困難感・判斷不良感・精神作業減退感・感情刺戟性・不快等アリ。身體ニハ頭部・殊ニ後頭部ヨリ項ニカケテノ壓重感、脊柱ノ異常感・疼痛、時ニ頭痛、眩暈、心悸、生殖器機能障礙(就中、早漏・陰萎等)、消化不良、食慾減退、皮膚感覺異常、筋肉疲勞感亢進、睡眠不良、殊ニ就眠困難、多夢、朝起キタル時ニ心神爽快ナラズ、他ニ手指振顫、反射亢進、閉目時輕キ睫毛顫動、閉目佇立時ノ動搖、脊柱ヲ叩打サル際ノ疼痛、皮膚紋畫等ヲ認メラル。

本症者ニハ時ニ強烈ナル空想・恐怖・強迫觀念ヲ伴ヒ稀ニハ病感強クシテ心氣性トナリ或ハ苦悶アル如キモノアレド是等ハ眞ノ神經衰弱症狀ナラズ却テ神經質ノ症狀ト考フベシ。平塚俊亮博士ガ本症患者ニ行ヘル心理實驗ノ結果ニヨレバ眞ノ記憶減退ハ輕シ。即、對語記銘試驗成績ニヨレバ有關係對語記銘正當數ハ常人ト略、同ク、僅ニ無關係對語試驗成績ガ少シク劣ルノミ。即、ソノ追想時間ガ僅ニ長ク、追想錯誤稍、多キニ止マリ、之ヲ3回反復スレバ正當數増シ、追想

錯誤減ジ、常人ノ其ニ似寄リ來タルモノニシテ、進行麻痺ノ如キ著キ又ハ眞ノ記銘減退ハナキモノトス。尙、作業力試驗ニテハ疲勞性亢進ノ像ヲ示スコトアルモ、作業量ノ甚、少ナクナリ、動搖ヲ著ク六ニ示ス精神分裂病ノ其ト大差アリ。第186圖ハ累加法ニヨリ同症患者ノ疲勞性甚シキヲ示ス例ナリ。聯想試驗ノ成果モ亦、常人ト大差ナシ。殊ニ間接反應ナドハ全然現レヌモノトス。以上



第186圖 累加法試驗ニヨリ神經衰弱ノ疲勞性亢進ヲ明カニ示ス圖  
本曲線ハ累加作業1分毎ノ量ヲ水平線ニ垂直ニ距テ示セルモノニシテ下ノ數字 1,2,3ハ毎分ノ作業時ヲ示ス。即、第1回試驗ハ5分間作業シタル後ニ休ミ、次ノ1ノ所ニテ再、第2回作業試驗ヲ始メタル者ナリ。然ル時ハ初メノ作業ニテハ既ニ1ヨリ5マデ漸次疲勞ヲ示シタルモ休ミテ後、第2回目試験トナリテハソノ疲勞恢復顯著トナル。而モ復、忽、疲レ、殊ニ10分自ノ作業量ハ甚、劣ルコトヲ示セルモノナリ。

ノ諸點ヨリ看テ精神分裂病ト區別セララルル場合甚、多シ。

〔原因〕 過度ノ勉學、極度ノ苦慮、身體ノ過勞、身體疾患ノ後等ニ發スルコト多キモ、本症發現ニハ先天性素質モ重大ナル關係アリ。殊ニ神經質ノ上ニ本反應ヲ發スルモノ甚、多シトス(神經質病型ノ項參照)。

〔豫後〕 過勞ヲ避ケ、身體ヲ可成安靜ニシ外界ノ刺戟ヲ避クルノミニヨリテ輕症者ハ全治スルコト多シ。重症者殊ニ病質者ニシテ生來性ニ抵抗ガ弱キ先天性素質者ノ上ニ發セル本病型ハ治癒容易ナラズ。一旦治リテモ再發ノ虞頗、大ナリ。斯クテ治療法ハ根本的ニ兩者ヲ異ニス可キモノナリ。

〔類症鑑別〕 身體病、殊ニ肺炎、尖かたー、微毒、糖尿病、腦

動脈硬化、十二指腸蟲病等ノタメ似タル症狀ヲ發スルコト甚、多シ。斯クテ之等ノ類似状態ヲ神經衰弱反應 Neurasthenische Reaktion ト一

神經衰弱反應

括通稱スルコト近來ノ趨勢トナレリ。

〔診断〕 神経質ハ神經衰弱ト異ナリ原因ナク自然ニ現レ症候ニ心氣症、強迫観念、恐怖症等ヲ伴フモノ多シトス。精神病トシテハ精神分裂病・躁鬱病ノ初期、殊ニ其等諸病ノ輕キ憂鬱状態ト區別スル要アリ。實ニ是等ノモノハ本病ト誤ラレ易ク實際ハ日常混同セラレ居ルモノナリ。然レドモ神經衰弱ニテハ安靜・慰樂等ニヨリテ自然ト治癒スルコト普通ナレド、諸種精神病ノ憂鬱性ナルモノニテハ治リ難ク、時ニハ病症却テ昂進ス。又、神經衰弱ニハ幻覺・妄想・感情鈍麻・意志減退等ノ症候ナク、精神作業試験ニモ甚シキ成績不良ヲ示スコトナシ(精神分裂病ノ作業曲線參照)。進行麻痺ノ初期ニハ頭痛・記憶減退・心氣性感覺アリテ本症ト誤診セラルコトアレド同病ニテハ神經衰弱ト異ナリ病覺無キコト多ク、殊ニ領會不良、記銘障礙著ク、且、眞ニ記憶ノ侵サルモノモ少ナカラズ。記銘試験ニヨリテモ鑑別セラル。年齢、言語障礙、瞳孔強直、進行麻痺發作、血清・腦脊髄液ノ變化等ニヨリテモ區別シ得ム。小兒ノ神經衰弱ニハ魯鈍・癡愚ノ合併スルコト多キヲ忘ルベカラズ。智能検査・殊ニビネー式智能検査實施ハソノ際ニ試ムベキモノナリ。

〔治療〕 豫防トシテハ規則正シキ生活ヲサセ體ヲ練成サス可キモ休養時ニハ十分ナル休養ヲ與ヘ以テ精神過勞ヲ慎ミ、荒飲ヲ廢シ、睡眠ヲ十分ニスルヤウ心掛クベシ。尙、ソノタメ精神轉換法トシテ平素ノ職業ト異ナル方面ノ作業ヲ課シ、新鮮ナル空氣ニ觸レ、郊外散歩ナドヲ行ハシメ、快活ナル元氣ヲ養ハシ、腦ノ休養ト身體ノ抵抗増進トヲ心掛ク可シ。タメニ轉地・登山・海水浴等賞セラル。更ニ病症ニヨリ休養・轉地・マッサージ・水治法・電氣療法ヲ行フ。鎮靜劑ニハ臭剝最、普通用キラルモ鎮靜劑ニハ他ニ臭素なとりうむ・ぶろむらーる・かるもちん・ぶろぼりん・あだりん・のいろなーる・のいろふぶりん・るみなーる等試ミラレ時ニぶろーむかるしうむ劑靜脈内注射用キラル。不眠ニハペろなーるノ少量(0.3頓服)、頭壓ニ對シテハせだろーん(1回0.5)效アリト云ハル。

貧血ナルモノ・疲レ易キモノニハ同時ニ砒素劑・規那劑・くれをセー

と劑ナドヲ併用スルモ可ナリ。吾人ハそらるそん Solarson (0.3%砒素, 1.0c.c.ヲ隔日皮下・又ハ靜脈内注射, 10—12回1くーる), おぶたるそん(そらるそん, 硝酸すとりひにん 0.001, 2日目ニ1.0c.c.皮下注射), ねぶろすたん(ぐりせろ磷酸なとりうむ 0.1, かこちーる酸すとりにーね 0.0005, 1日1回 1.0c.c. 皮下注射, 12回1くーる)等ヲ用キ, ソノ他ニぶろかのん(高調葡萄糖 10% 注射液ニ純ぶろーむかるしうむヲ 2%ノ割ニ混ジタルモノヲ 1回 20.0c.c. 毎日・又ハ隔日靜脈内注射), へるびん, れちちん・ぐりせりん 含有ノ乳劑(靜脈内又ハ筋肉内注射, 1日1回 1.0—2.0c.c. 20—30回1くーる), ぐりせろ磷酸石灰(1日 1.0ヲ3回分服)等ヲ試ム。

## 第十七章 神經質 Nervosität.

神經質、生來又ハ體質神經衰弱

### 舊名 生來又ハ體質神經衰弱

#### Angeborene oder Konstitutionelle Neurasthenie.

〔歴史〕 抑モ神經質ニ屬ス可キ病症ノ存在ハ甚、古クヨリ認メラレ病名モ亦昔ヨリ存セシモ、前章記セシ如クビアード Beard ガ米國ニテ神經衰弱ナル病名ヲ公ニシ、該症候發生機制ヲ刺戟性纖弱ニ歸シ、原因ヲ後天性、殊ニ精神過勞ニ因ルトセシ以來、同病名一時世上ヲ風靡シ、神經質ノ名廢レタリシモ、後、斯カル状態ハ單ニ後天性原因、殊ニ精神過勞ニ基クモノノミナラズ何等原因ナク、自然ニ發スルモノアリト注意サレ、尙、後天性ニ發スル神經衰弱ト自然ニ發スル先天性神經衰弱トハ症候ニモ差アリ、即、兩者ハ似テ非ナルモノナルコトヲ是認サレ、茲ニ前者ヲ後天性神經衰弱、後者ヲ先天性・又ハ體質性神經衰弱トシテ區別セラルルニ至レリ。ソノ後、多ノ經驗ヲ重ヌルニ從ヒ後天性神經衰弱ト稱セラレシモノニモ先天性病的素質多ク存シ、先天性體質異常ノ上ニ後天性神經衰弱反應ガ合併セシモノ多シト考ヘラルルニ至リ、マタ體質性神經衰弱ハ神經

過勞ニ因リテ生ゼル病ニアラザルヲ以テ神經衰弱ナル名ハ穩ナラズトシテ棄テ  
ラレ、神經質ナル名ガ之ニ代リテ用キラレ舊名再、擡頭スルニ至レリ。

然レドモ、又、ソノ神經質ナル者ガ果シテ一種ノ病或ハ病的状態ナリヤ、將、  
又、特殊異常性格類型トス可キヤニツキ疑アリ。尙、之ヲ或種病質類型トスル  
ニハ極端ニ内省的ナル内的不安・劣等感ヲ主トスル型トナス可キカ又ハ自己懷  
疑性基調ノ上ニ恐怖・強迫症ニ捉ハレ易キ類型ト考フ可キカ、尙、或ハ身體ニ疲  
勞感強ク、病的訴ヲ持チ易キ型トス可キカ、乃至ハ尙、或他ノ類型ニ屬スルカ  
ニツキテ諸説アリ。事實、ソノ神經質ノ本態・所屬ハ異説多ク、ソノ名ノ指スト  
コロ不純・曖昧トセラレラ免レザルモノナリ。

依テ余ハ暫ラク從來ノ學說ヲ襲踏シテ本病名ヲ用キ在來ノ説ヲ陳ブルニ止メ  
敢テ所説ヲ樹テズ。從ツテソノ内容ニ異議アルモノト知ルベシ

神經家

尙、同症ノ甚、輕症ナルモノハ常人ノ範圍内ニ屬ス可キモノトシテ、神經家  
Nervöse ト稱シテ區別スルモヨシト思ハル。

劣等感

〔症狀〕 個性ト程度トニヨリ差アルモ共通點ハ感情・意志障礙ニシ  
テ感情ニ過敏・不安アリ之ニ疲勞シ易ク身體症狀伴ナフモノトス。

本人性格ガ内向性ナレバ氣分不快・不機嫌ニシテ無能・卑下ノ感・劣  
等感 Minderwertigkeitsgefühl 強ク、些細ノ事ガ氣ニカカリ心配ノ種ト  
ナリ内氣ナル神經質トナル。自己懷疑性ノ人ニ發スレバ過價觀念・強迫  
觀念・恐怖症ヲ發シ、又ハ心氣症トナリテ己ノ病ヲ過大ニ考ヘ大病ナル  
如ク思過ゴシ、時ニハ之ヲ深く信ジテ徒ニ多數ノ醫師ヲ歴訪シ安ジテ  
一醫ニ身ヲ託スコト能ハヌニ至ル。ソノ甚シキモノハひぽこんでりー  
即、心氣症トナル。然ルニ意志薄弱型ノ人ニ發スレバ飽キ易ク、忍耐ヲ  
缺キ、抵抗弱ク、疲レ易ク、我慢心乏ク、一時ハ或事ニ熱中スルモ永  
續キセズ。放逸癖アル人、殊ニ飲酒・放蕩・遊惰ノ癖ヲ有セル人ニ發セ  
バコレヨリ離脱スルコト難クシテ往々病的嗜癖 Süchtige トナル。若、  
又、外向性・興奮性ノ人ニ發セバ感情過敏強クシテ、激シ易ク、憤リ  
テハ忽、暴行シ、ソノ極、鬭爭家・煽動家トモナル。想像力ニ富ミ虚構  
ニ巧ミナル人、色情異常ヲ伴ナフ型モアリ。更ニ自我顯示性・ひすて

り一性格ノ人ニ發スレバ感動發露ガ特ニ激烈ナル上ニ自我中心・自恣・  
我儘・自己本位トナリ、己ヲ待ツニ厚ク人ヲ遇スルニ酷トナリ、愛憎  
ノ念・偏頗心ガ極メテ強シ。尙、抑鬱性・悲觀性ノ人ニ發セバ甚シキ劣  
等感ヲ抱キ、沈鬱・悲觀、時ニ厭世・希死ノ念ヲ持シ、或ハ寺院ニ參禪  
シ尼寺ニ入り、他人トノ交通ヲ絶チ、憂鬱病ト區別シ難キモノアリ。  
而モ以上各型トモ何レモ本症固有點トシテ精神病ノ如キ烈キ異常ナク  
却テ細心・緻密、事ヲ苟モセヌ特徴アリ。

元來智の方面ハ本症ニ障礙ナキモ餘リニ過敏ナルタメ思考モ潤色セ  
ラレ理解・記銘ニモ變化ヲ蒙ムリ追想モ不確實トナリ、時ニ空想深ク、  
判斷ハ感情ヨリ左右セラレ易ク、偏頗トナル者アリ。又、輕キ低能ト  
ノ合併モ多ケレド智能優秀、殊ニ一方ニ卓越セル天才 Genie モアリ、殊  
ニ詩歌・文學・美術・數學・科學・圍碁・將棋ニ堪能ナル天才者ニシテ神經  
質ナル人少ナカラズ。實ニ斯カル人ニハ一方ニ卓越セル所アルト共ニ  
他方餘リニモ感情鋭利ニシテ些細ナル事ニモ我慢出來ズ、甚シキ神經  
過敏ニテ人ト調和シ難キ者アリ。時ニハコノ種ノ人ニテ性行惡ク、品性  
下劣・言行野卑甚シキ者アリ。斯カル人ヲ優秀變質者 Dégénérés supé- 優秀變質者  
rieur ト云ハレ才智餘リ偏ル者ニ不平等症 Déséquilibré ノ名アリ。 不平等症

斯クテ本症者ノ示ス型ハ甚、一樣ナラズ他種病質者トノ移行型モ亦、多キモ  
ノナリ。從テ之ヲ獨立セル一型トスルヲ否ミ或ハ無力型ナル病質類型中ニ編入  
スル分類法モアリ(後條病質者同項參照)。尙、本症ニ意志薄弱性・刺戟性・興奮  
性・苦悶性及、憂鬱性等ノ亞型ヲ別ツ人モアリトス(第八表參照)。

ジャンー Janet ハ精神衰弱 Psychasthenie トシテ強迫症、輕症破瓜病、單 精神衰弱  
一癡呆、ソノ他、之ニ類スル病症ヲ總括命名セリ。

〔身體症狀〕 本症ニハ固有ナル身體症狀ナキモ身體症狀存在ナルコ  
ト、亦、本型ノ一特徴ト考フ可シ。殊ニ神經衰弱ニ似タル頭痛・頭壓、  
疼痛ニ對スル過敏、食慾不振、神經性消化不良、噯氣、胃部ノ膨滿感、  
心悸、分泌過多、發汗增多、嗜眠、睡眠不良、惡夢、陰萎、早漏、反射  
亢進、營養不良、如何ニ食スルモ肥ユルコト能ハヌモノナドアリ。時  
ニハ 1—2 輕微ナルひすてりー特徴認メラル。尙、ソノ多數ニハ容姿

端麗，鼻目清秀。殊ニ皮膚色素乏ク，著衣整然，身ノ廻ハリ整ヒ，清ラカナルモノ少ナカラズ。尙，コノ種ノ人ハ外界ノ刺戟ニ影響ヲ受ケ易

第八表 神經衰弱，及，コレニ類似ノ病型一覽

1. 神經衰弱。後天性神經衰弱ノ名アルモノニシテ衰態ニ因ルモノナリ。ピアードノ初メテ神經衰弱トシテ記セル病型ニ一致ス。症狀ハ簡單ニシテ睡眠障礙・注意散亂・記憶減退感・頭重・反射亢進ノ類ニ止マル。
2. 不全神經衰弱。神經衰弱トシテハ症狀少ナク，單ニ睡眠不良・頭痛・倦怠・易怒等ノ症狀ガ 1—2 アルニ止マルモノトス。但，神經質トスベキカ否カニハ不明ニテ移行型多クアリ。
3. 慢性神經衰弱。經過慢性ナルコトニ於テハ神經質ニ似ルモ發病ニ原因認メラレ。寧，神經衰弱ノ慢性ナルモノト思ハルル型ナリ。
4. 神經質。別名，生來・又ハ體質神經衰弱。即，原因ガ衰態ナラズシテ生來性ノモノナリ。症狀ハ多様ニシテ精神症狀，殊ニ感情異常ニ基ク症狀多シ。就中，不安心・劣等感・心氣性・苦悶等著ク，神經衰弱トハ全然區別スベキモノニシテ之ニ多クノ小型ヲ別タル。
  - a) 内向性：心氣性・不快・小心・内氣・劣等感・強迫症・苦悶ヲ伴フモノ多シ。
  - b) 外向性：不機嫌・不満・刺戟性・興奮性・憤怒性ノ症狀勝テ，時ニハ興奮性・妄想性・好争性・假性好訴病様狀態ニ陥ル。
  - c) 不純性：抑鬱性・意志薄弱性・無爲性・無力性・自己不安・懷疑性・心因性・自我顯示性・ひすてりー性・變態性慾症・無情性・精神分裂病症狀等ヲ交フルモノナリ。爲ニ躁鬱病・ひすてりー・精神分裂病・悖德病・性慾異常症，ソノ他ノ病質者トノ移行型多ク中ニハ判然タル區別ヲナシ難キ例モ甚，多シ。精神病遺傳モ多シ。
5. 神經衰弱反應。身體病，殊ニ肺炎かたる・腎臟病・糖尿病・傳染病・胃腸病・貧血，又ハ精神原因，殊ニ苦慮・恐怖・驚愕・無意識的願望ナドニヨリ神經衰弱様症狀ヲ發セルモノニシテ，あめんちあ・心因精神病・臟器神經症トノ移行型アリ。
6. 假性神經衰弱。外見上タダ神經衰弱様狀態ヲ呈スルモノニテ進行麻痺・精神分裂病・躁鬱病・腦動脈硬化・腦微毒・老耄・頭部外傷後遺殘狀態・腦水腫・精神薄弱・いんふらんちりすむす・中毒症・心因精神異常等ニ屬ス

ク，就中，天候ヨリ感作ヲ受ケ易キモノ多ク，尙，飢渴・喫茶・喫煙等ニ對シテ甚，過敏ナルモノ，特殊ノ藥劑等ニ對スル特異反應強キモノナデアリトス。

〔經過〕 斯カル神經質症狀ハ小兒期ヨリ既ニ現ル例アリ。サレドソノ時期ニテハ精神作用ガ尙，十分ニ發達シ居ラス頃ナレバ大人ノ如キ複雑ナル症狀ヲ示サズ單ニ 1—2 ノ神經症狀ヲ現スモノ多シトス。例之幼時ニハ些細ナル原因ニ對シテ忽，嘔吐・下痢・睡眠不良・惡夢・幻覺ヲ發シ，夢中遊行・痙攣・發熱・時ニ譫妄狀等ヲ呈シ，或ハ久キ間，遺尿ヲ殘シ，稍，長ジテ後ニナリ神經過敏，夜間驚起，疲勞性亢進等ヲ發シ，更ニ長ジテ青・少年期ニナリ感情激シクナリ，疲レ易ク，空想・虚言・徘徊・夢中遊行・色慾夙發・色慾異常等ヲ明カニスルモノ等アリ。

〔診斷〕 神經衰弱反應ト似ルモ，神經質ハ多ク原因ナクシテ發シ，精神症狀多ク，殊ニ感情激發，不安・苦惱・煩悶・心氣症多ク，且，疲レ易ク，治癒困難ニシテ再發ガ多シ。以上ノ經過ト特徴トヲ併セ考ヘテ鑑別セバ診斷容易ナル場合多キモ實際ニハ兩者ノ合併多ク何レヨリ生來性・何レヨリ後天性ノモノトシテヨキカ明ニシ難キ例少ナカラズ。

尙，本病ハひすてりート誤ラルルコト多キモひすてりーニハ同病固有ナル徵候アリ區別セラル。但，兩者合併セル如キひすてりー神經衰弱 Hysteroneurasthenieナル病型モアリ。體質性沈鬱症・めらんこりー・輕症發揚病・其他ノ病質者トハ是等各症ニ於テ既述セル症狀ニヨリ區別セラル可キモ其等ノ移行型・混合型モ多シトス。尙，本病類似ノ症候ガ潛伏精神分裂病ノ前驅症トシテ來タル場合モ多キコトヲ注意スベシ。

〔原因〕 神經質ヲ後天性ノモノトシテ教養不良等ヨリ生ズル一種ノ性格異常ト解スル説アリ。サレド凡ニ當嵌マル學説ト考ヘ難シ。少ナクモ病的遺傳濃ク，症狀烈ク，幼時ヨリソノ兆候現レ，一時治リテモ再三繰返ヘシ發シテ治リ難キモノハ生來性病の者ト認ムベキナリ。

〔治療〕 豫防ニハ病質者ノ結婚ヲ避ケ，親ノ大酒ヲ慎ミ，小兒ノ頃ヨリ身體ノ強壯ヲ圖リ，安逸・遊惰ニシテ意志ヲ弱ムル放縱ナル生活

ひすてりー  
神經衰弱



ヲ避ケ、身體ヲ練リ、原始的生活ニ任マセ、山野跋涉等ヲ勵行シ、都會ノ生活ヨリ遠ザケ、睡眠ヲ整ヘ、濫酒・淫卑ノ風ヲ避ケ、規則正シキ生活ニ慣ラシ、適當ナル作業ヲ課シ、訓練トシテ意志ノ強固・感情ノ抑制・克己・我慢ノ風ニ訓育スベシ。若、近親ノ人、殊ニ母親ニ神經質者アラバ之ヨリ遠ザクベシ。過度ニ嚴格ナル訓戒ト智的方面ニ偏セル教育ハ避クベシ。既ニ著明ナル不眠・苦悶等現ルレバ服藥・電氣療法・マッサージ等可ナルトキアルモ又、精神療法ヲ早く、且、主トスルヲ旨トス。實ニ本病ハ生來性ニ俟ツコト大ナル精神異常ナルヲ以テ精神療法・訓育法ヲ處遇ノ第一義トナスベシ。精神療法ニハ説得療法・作業療法主タリ。心氣症・心配症・強迫症・恐怖症ニハ殊ニ精神療法ヲ專トシ、精神分析・森田氏法ナド用キラル。

森田氏法

森田氏法ハ煩悶・恐怖症・強迫症ヲ主トスル神經質ニ對シ成績良シト云ハル。ソノ實施ニハ先、外界トノ交通ヲ絶チ、就褥セシメ、出來得ルダケ同人ノ憐メル苦惱ニ專念セシメ、之ニ飽カシメテ數日後、始メテ外界トノ交通ヲ漸次許可シ、同時ニ作業ヲ課シ、殊ニ自己ノ病症日記ヲ記サス可ク努メシムル法ナリ。

神經質ノ療法ニハ神經衰弱ト同様ニ考ヘ慰安・休養ヲ施スノ要ナシ。安逸・放慢ナルさなとりうむ様ノ療法ハ却テ害アリ。寧、堅キ意志ノ訓練ヲ主トス可ク、ソノタメ特殊治療所ニテ教養セシムルヲ可トス。

強迫症  
強迫精神病

## 第十八章 強迫症 Zwangsneurose,

## 強迫精神病 Das Zwangsirresein.

〔定義〕 生來性ニ有スル自己懷疑性ナル病質性格ガ助長サレテ強迫觀念、強迫危懼、病的恐怖、強迫行爲ヲ著明ニスル病的精神異常症ノ型ナリ。

〔症狀〕 本症者ノ日常ノ理解・判斷・記憶・聯想ハ一見略、尋常ニ見エ、少ナクモ一見シタルトコロニテハ常人ト大差ナシ。即、普通ニハ元氣アリ、病覺モ存シ、仕事ニモ多ク堪ユレド、一旦、強迫症狀烈

シキニ至ラバ、患者ハ之ニ捉ハレテ最早ソノ念情ヨリ放タル能ハズ。他人ガ之ヲ慰撫シ或ハ病的ナルヲ論スモ其ニヨリ少シノ安心ヲ得ル能ハズ。甚シキニ至リテハ全ク狂人ノ如キ態度ヲ示スニ至ルコトアリ。斯カル折ヲ特ニ發作 Krise ト云ハル、

發作

強迫症狀ハ千種萬態ナレド、1. 強迫觀念、2. 強迫考慮、3. 強迫感情・強迫危懼(恐怖)、及、4. 強迫行爲ニ大別シテ考フルヲヨシトス。

〔症狀〕 強迫觀念ヲ主トスルモノニテハ或種觀念ガ意識内ニ強迫的ニ現レ、己ハ其ノ愚ナルヲ知リ除カントスルモ除ク能ハズ。時ニ去ラムトスレバ益々頑強ニ腦裡ニ現レ、多ク烈キ不快感情ヲ伴ナフ。

例之、或人ガ巡查ノ前ニ出ヅレバ火事ト云フ思想腦裡ニ浮ミ出デテ去ラズ除カムトスレバ益、除ク能ハズト告グルモノアリ。時ニハ斯カル觀念ガ幻覺トシテ目前ニ見ユルコトアリ。強迫幻覺 Zwangshalluzination ナル名アリ。例之、強迫幻覺或蕎麥屋ノ小僧ガ女客來タレバ其ノ人ノ陰部ガ同人ノ前ニ幻視トシテ現レ、之ヲ去ラムトスレバ其ノ像ガ益々判然ト目前ニ出デ之ヲ除カムト努ムレバソノ像愈々判然トシテ現ル。終ニハ客ガ己ヲ見テ妙ニ思フナラムトノ考出デ苦勞ニ堪ヘズ、終ニ客アレバ顔ヲ背向クルノ止ムナキニ至レリト述ベタリ。又、或患者ハ或物ガ大切ナル物、例之、神佛ノ御札ナドニテ捨テテハナラヌト思ヘバソノ物ガ其所ニ捨テテアリト思ハレ終ニ之ガ地上ニ捨テテアリト見エ、尙、他ノ患者ハ己ノ嫌ヘルモノ殊ニ蛇ナドガ其處ニアル様ニ思ハレ、終ニハソノ蛇ガ見ユル如キ感アリト云フ。但、之等ハ眞ノ幻覺ナラズシテ假性幻覺ナリトス。

次ギニ同症狀ニハ單ニ1個ノ觀念・又ハ幻覺ニ止マラズシテ多數ノ觀念群ヨリナル思想・考慮トシテ發現スルコトアリ強迫考慮 Zwangsdenken 是ナリ。是ニモ亦、多クノ種別アリ。例之、或物ヲ見ル度毎ニ無用ナルコトヲ考ヘ又ハ其ノ名ヲ聞キ糺サネバ止マヌ強迫名稱 Namenszwang oder Onomatomanie、見ルモノ・聞クモノヲ總テ記録・追憶セザレバ止マヌ強迫追想 Erinnerungszwang、或物ヲ見レバ其ノ出處・來歴等ヲ一々五月蠅ク質問セザレバ止マズ終ニハ何回質問シテモ安心シテソノ質問ヲ打切ルコト能ハヌ病的質問 Fragesucht アリ。之ニ似テ其 病的質問

穿鑿症 ノ物ノ原因・由來・使用法等ヲ意味無ク穿鑿・質問シテ止マヌ穿鑿症  
 疑感症 Grübelsucht, 凡テノ物ヲ疑ヒノ種トシテ止メヌ疑感症 Zweifelssucht,  
 Folie du doute, 遭遇セル人ノ數・歩行セル步數・上レル階段ノ數・渡レ  
 計算症 ル橋ノ桁數・通過セル町ノ兩側ニアル樹木ノ數等ヲ一々算フル事ヲ止  
 メ得ザル計算症 Arithmomanie 等アリ。

次ギニコノ強迫症ガ感情方面ニ現ハルルトキニハ或ハ理由ナク或物  
 ヲ嫌ヒ・恐レ, 其ノ嫌ヒ恐ルル理由ガ全然無キコトヲ自ラ十分知ルモ其  
 ノ癖ガ強ク強迫性ニ現レテ除ク能ハヌモノアリ。ソノ最, 普通ナルハ  
 病的潔癖 Mysophobia トテ, 或物ガ不潔ニ思ハレ, ソノ不潔念ガ去ラ  
 ズ。除カムトスレバ却テ強ク心ニ浮出ヅルモノナリ。普通ノ例ハ手ニ  
 或物ガ觸ルレバ不潔ノ感ガ生ジテ去リ難ク, 其ノ後何回トナクソノ手  
 ヲ洗ヒ, 十分洗ヒテモ安心出來ズ。時ニ益々不潔ニ思ハレ, ソノ極何  
 回トナク手ヲ洗ヒテモ到底常態ノ如ク意ヲ安ズル能ハズ。果テハ手ヲ  
 洗フコト數回, 數十回, 甚シキハ數百回ニ及ビテ尙, 不潔ナル情念ガ  
 去ラヌモノアリ。

或烈キ例ニテハソノタメ徹宵手ヲ洗ヒ續ケ終ニハ數十荷ノ水桶水ヲ使ヒ, 白  
 布數十反ヲ用キ, 而モ尙, 手ヲ洗フコトヲ止メヌモノアリ。又, 或人ハ毒ヲ恐  
 ルルコト甚シク, 銅ニハ朱毒アリト聞キテハ最早, 赤色ナル物ハ皆, 凡, 手ニ  
 スル能ハズ, 赤キ衣服ヲ身ニ著クルコトモ叶ハズ。其ニ觸レタルモノハ皆, 凡  
 テ家ヨリ遠ザケ, 新装ノ衣服モ赤キ色ナラバ家ニ置クコトガ不可能トナリテ棄  
 ツルモノアリ。斯カル類例ハ他ニモ甚, 多シ。

斯クテ初メハ單ニ或物ヲ恐ルルニ止マレド, 後ニハ進ムデ凡テノ物  
 ヲ皆手ニスル能ハザルニ至ルコトアリ (Berührungsfurcht, Délire du  
 toucher)。斯カル人ハタメニ常ニ手袋ヲ用キ, ソレスラ數枚重ネテ使  
 用シ, 終ニハ何事ニモ手出シヲ得ヌ人トナルニ至ル。

之ト同ク病ヲ恐ルルコト甚シキ人ハ危險無キ病人モ傳染ノ虞レアリトシテ恐  
 レ必要アリテモ見舞フ能ハズ。ソレヨリ醫師ハ患者ニ接スル人ト考ヘテ醫師ニ  
 近ヅクコトガ恐ロシクナリ果テハ醫師ト同席スルコトモ叶ハズ。又, 病ハ微菌

ニヨリテ傳染スト聞キテハ凡テノ物ヲ皆, 殺菌セザレバ安心出來ズ, 己ノ手ハ  
 勿論, 衣服マデモ必, 洗ヒ, 殊ニ外出後ハ衣服全部ヲ昇水ニ浸シテ一々洗濯  
 セネバ安心出來ヌモノアリ。又, 或ハ結核・微毒ハ傳染病ナリトテ非常ニ怖レ,  
 ソノ結果, 常人ノ爲サザル如キ奇異ナル行動ヲ敢テスルモノアリ。同様ナル理  
 由ヨリ紙幣・札ヲ持テヌ人・之ヲ石鹼ニテ一々洗フ人等アリ。

又, 或人ハ自己身體ノ危險ヲ恐ルルタメニ鐵道ニ乗ルコト能ハヌ鐵  
 道恐怖 Siderodromophobie トナリ, 鐵道ニ近寄ルコトモ叶ハズ, ソノ  
 極, 鐵道ノ便ヲ藉リテ旅行スルコト到底不可能トナリ, 又ハ故ナク或場  
 所, 例ヘバ橋・校門・岬・高所等ヲ恐レ(臨場苦悶 Agoraphobie, Platzan-  
 gst), 之ヲ通ラバ如何ニ近道ナリト辨ヘテモソノ橋ヲ渡ル能ハズ, 登校  
 スベキ時刻ガ迫マリ來リテモ其ノ校門・橋ヲ通ルコト叶ハヌ人アリ。同  
 様ニ暗所ヲ怖レ (Nyctophobia), 閉テラレタル部屋ニ居ルコトヲ恐レ  
 (畏閉恐怖 Claustrophobie), 人ノ前ニ出ヅル能ハズ, 人前ニ出デテハ顔  
 面ガ潮紅スルカト恐レ (赤面恐怖 Erythrophobie), 爲メニ婦人ノ前ニ  
 ハ出ヅル能ハズ (Gynäkophobie), 果テハ男子ノ前ニモ出ヅル能ハヌ恐  
 怖症トナリ (Androphobie), 中ニハ人ノ前ニ出デテハ失策セヌカト憂  
 フル恐怖ヲ抱キ, 又, 或ハ己ハ何等カノ過失ヲ爲セシニアラズヤトテ  
 反復憂慮スル恐怖症モアリ。

例之, らんぷヨリ出火セヌカト恐ルル人ハ, 一度ビ消火シタルらんぷガ自然  
 ニ燃ニ出ヅルコトナキヤト心配ニナリ, 又ハ棄テタル紙ガ棄テテハナラヌ大切  
 ナル物デハナカリシヤト危ブミ, 一度, 封ジタル書面ニ誤字ハ無カリシカ, 書  
 キ誤リガアリシニアラズヤト氣ニナリ, ソノタメ折角封ジタルモノヲ開封シ讀  
 下シ, 一旦, 安心シテ封ジテモ, 更ニ不安ヲ感ジ, 再三再四開封ヲ繰返ヘシ, 果  
 テハ何十回トナク反復讀直ホシ, 而モ尙, 安心スル能ハヌモノアリ。

以上ノ強迫症ニ共通ナル點ハ自己ノ抱ケルコノ現象ヲ不快ト感ジ,  
 自ラ病的ト知リツツモソレヨリ脱離スル能ハズ。更ニソノ内容ト性質  
 トハ時ニ變化・消長シ, 尙, 多クハソノ範圍ヲ廣メテ終ニ見聞・接觸スル  
 モノ皆凡テガ同症ノ種トナリ茲ニ同病患者ハ凡ノ刺戟ヲ避ケ全然社交

鐵道恐怖

臨場苦悶

畏閉恐怖症

赤面恐怖

不能トナリ職務モ執ル能ハザルニ至ルモノサヘアリ。サレドソノ強迫症以外ノ同人行動ハ全ク普通人ニシテ僅ニ元來ノ不安心勝チナル自己懷疑性性格ヲ現シ、時ニ其ヨリ神經質様ニ見ユル位ニ止マル。尙、或モノニハ氣鬱・制止・輕キ興奮・多辯・意想奔逸・精神分裂病様症狀ノ輕キモノ1-2ガ存スルコトアリ。タメニ本病ト精神分裂病・躁鬱病トノ關係ニツキ考フ可キトコロヲ生ズルニ至ル。

〔經過〕 若キ時ヨリ本症ノ兆アルモノ多シ。性格ニハ異常ナル几帳面・潔癖アリ。時ニハ物ヲ放任シ難ク、所謂、神經質ニテ物ヲ氣ニシ、安心出來ヌ癖アリト云フ人アリ。本症ヲ著シクスルハ7-8歳ノ頃ナルコトアレド17-8歳ノ頃ヨリ本病ヲ顯著ニスルモノヲ普通トス。但、或人ニテハ若年時ニ於テ輕キ本症ヲ示シ、一旦輕快シテ後、再發シ、殊ニ2-30歳ニ至リテ甚、顯著・激烈トナリ症狀ノ根柢ヲ深クシ、其ノ後ノ經過中ニ症狀種々ニ變リ複雑トナリ、病勢頑固トナルヲ例トス。

病初、病勢ノ尙、未ダ亢進セザル間ハ病覺存シテ自己ノ思想ハ病的ナルヲ感ズルモ、發病以來、既ニ年ヲ經テ慢性トナラバ終ニ病覺ヲ失ヒ自己ガ恐怖スルソノ病的行爲ガ果シテ不當ナリヤニ疑ヲ生ジ、時ニハ病覺ヲ失フノミナラズ或ハソノ考ガ正當ト思ヒ、終ニハ正シキモノト相當深ク確信シテ妄想ニ似ルモノトナル例モアリ。斯ク自己ノ恐怖スベキ事ガ理由ナキニアラズ當然ト考フルニ至レバ強迫症ガ既ニ妄想ニ移行セリト考フ可キナリ。概シテ本症ノ經過ハ1-2回輕快アリテモ全治ハ極テ困難トス。但、久キ輕快ハ稀ナラズ、痕跡ナク治癒シ又ハ發作性ニ反復シテ發スルモノハ躁鬱病ノ一型ト考フ可キ例多シ。

〔病理〕 コノ強迫觀念ノ發現ニハ安心ガ出來ヌコトヲ主トスル學說アリ感情說ト云フ。之ニハマタ苦悶說・觀念固着說等ノ別アリ。更ニ一說ニハ性的行爲ニ關スル自責感情ガ數回抑壓セラルルトキ其不快感情ガ觀念ト分離シテ本人ニハ知レズ理解シ難キ他ノ觀念ト結附キ、茲ニ本人ニハ何故斯ク執拗ニ強迫症トシテ現ルカ、力强キ本症ヲ現スカ判

ラヌ強迫症トシテ現ルノ說アリ(フロイド一派ノ說)。他ニ本症ヲ發ス機轉トシテ聯合不良說・意志薄弱說等アリ。又、本症ハ同性格ノ人凡テニ發スル者ナラズ、同病トナルニハソノ他ニ或何等カノ決定的體驗ガ必要ナリトモ云フ。尙、強迫症ヲ完成スルニハソノ原因トナル機會直後ニ於ケル發生期トソノ後ニ於ケル反應期トノ2者アリトスル説明モアリ。而モ同症ガ特ニ甚、執念深ク固着スル機轉ニ就キテハ意識外機轉、就中、疲勞・衰弱等ヲ必要ナリト考フル人モアリ。

尙、本症ノ本態ヲ限局性精神發達不全トスル說アリ。又、躁鬱病・或ハ精神分裂病トノ關係アリトスル說モ多シ。他ニクレペリンハ小兒ニハ常兒ニテモ不安・疑惑・質問癖等之ニ類スル現象普通ニアルモノナレバ本病ハソノ時期ニ精神發達ガ制止セシモノナリト解釋シ、本病ヲ一種ノ低格現象ト考ヘタリ。

〔原因〕 本病ハ精神神經病負荷者ニ多ク、而モ本病ノ發現ニハ直接ソノ原因トスベキ或機會ノ存在アリトシ、後者ヲ體驗 Erlebnis ト名ヅク人アリ。フロイド等ハ本病ヲ幼年時代ノ性的侵害ニ基クトノ說ヲ樹ツルコト既ニ說キシ如シ。

東大精神科ニテ田村幸雄教授ノ調査ニヨレバ同患者家系ニ精神病アルモノ16、六酒家25、神經質12、神經病・神經症10、強迫症6、ひすてりー4、變人2、即、精神病性負荷計67%アリ。男女割ハ男81、女19。本人性格ニハ内氣・苦勞症8、勝氣・苦勞性4、勝氣・快活4、短氣4、感情變化シ易キモノ4、大膽1。學校成績ニハ良11、中31、不良12ナリト云フ。

〔類症鑑別〕 本病類似ノモノハ神經衰弱、神經質、進行麻痺、ひすてりー、精神分裂病等ニモ現ル。殊ニ躁鬱病、就中、其ノ抑鬱狀態、精神分裂病、殊ニソノ初期ニハ多シ。癡愚ニモ合併シテ現ル場合多シ。サレド後者ノ多數ハ單ニ過價觀念ニ止マリ眞ノ強迫觀念タルコトハ少ナシ。尙、ソノ多數ノモノニハ強迫症狀以外ニ他ノ各病ニ固有ナル症狀アリテ純粹ノ強迫症ト異ナルコト普通ナルノホカ同症狀ノ生ゼル理由・ソノ病的ト自ら考フル理由ヲ問ハレテモ解答明白ナラズ、病感判然

ト存セズ、而モ他ノ一面ニハ無暗ニ怒リ易ク、人ニ會フヲ厭ヒ、或ハ茫乎タルコトナドノ他病ノ症状アリテ區別セラル。

〔療法〕 精神療法ヲ主トス。但、患者ノ苦シメル恐怖症ヲ蔑ミ嘲リ以テ同症状ヲ輕減セムト考フルモノガ世ニ往々アレド是ハ結果ニ於テ頗、悪ルシ。寧、一般ノ生活ヲ規則正シクシ、一定ノ作業ヲ與ヘ專念セシムルヲ可トス。クレペリンハ作業療法ヲ推賞ス。遊山・娛樂、亦、可ナレドモ一時的效果アルノミ。根本ノ療法トハナラヌ場合多シ。説得療法・精神ぎむなすちく・催眠術療法モ用キラルレド、是、亦、效果乏シ。丸井博士ハ本症ニ對シ夙ニ精神分析法ヲ稱揚シ、森田博士ハ氏獨特ノ森田療法ヲヨシト云フ(神經質療法ノ同項参照)。

心因精神病

### 第十九章 心因精神病

#### Die psychogenen Psychosen.

〔定義〕 精神原因ニヨリテ發生スル精神病ナリ。

〔病理〕 感情ハ元來、一種ノ生理的反應ニ屬シ、ソレヨリ身體・竝ビニ精神界ニ於テ該表情運動トシテ生理的ニモ既ニ分泌機能、錐體・外錐體道症状、及、ソノ他種々ナル精神反應ヲ惹起スルモ、ソノ甚シキモノハ病的ト認ム可キナリ。殊ニソノタメ普通無キ意識濁濁、錯亂、興奮、制止、健忘、諸妄想、幻覺、失語、聾、盲、啞、感覺脫失、癱瘓等ノ諸症状、乃至ハ状態 Syndrom ヲ現シ、殊ニ經過ガ稍、長キニ至ラバ是

ハ病的トシテ狹義ノ心因病的反應 Psychogene pathologische Reaktion ト稱シ得可キナリ。更ニソノ經過ガ一層長ケレバ獨立セル精神病

トスベク心因精神病 Psychogene Psychosen 卽、是ナリ。

コノ心因精神異常ノ病型ニハ色々アリ、原因ヨリ別タバ、甚シキ心痛・苦慮、過勞、宗教惑溺、迷信、暗示、靈動術、オビリチス等ノ心的影響ニヨリテ發スル病的な心因反應ニシテソノ状態ニハ興奮、昏迷、朦朧状態、強烈ナル感動發作、躁病様・緊張病様状態等アリ。時ニハ妄想病・幻覺症等ヲ發ス。ソノ度更ニ重キ

心因病的反應

心因精神病

ニ至リテハ心因精神病トナル。本症ハ原因上ヨリ又、戰闘精神神經症、祈禱精神病、魅惑譫妄等ノ種類アリ。災害神經症モ其ノ1トス。他ニ感傳精神病、重聽者ノ心因精神病、過感性關係妄想、豫期神經症、拘禁精神病等存ス。

#### 第一 病的感動 Pathologischer Affekt.

病的感動

或種ノ激シキ感動ニ伴ヒテ一時性ナル意識濁濁、錯亂、昏迷、沈鬱、悲觀、めらんこり様・躁病様・緊張病様・乃至ハ妄想病様状態ヲ發スルコトアリ。

但、是等ノ經過ハ概、短ク、固有精神病トハ云ヒ難キモノナリ。是ガひすてりト異ナル點ハ同人ノ平素ニ於ケル病前性格ガ必シモひすてりニ性ナラズ、症状ニモひすてりト異ナル點多キニヨル。

#### 第二 戰闘神經症 Kriegsneurose.

戰闘神經症

戰闘ニ因リテひすてりニ症状、殊ニ振顫・拘攣・痙攣・吃吶・麻痺・感覺異常等ノ身體症状ヲ強ク示スモノアリ。精神症状ガ主ナルトキニハ意識喪失・興奮・錯亂・朦朧状態・自傷・自殺ソノ他ノ病的本能ヲ顯著ニ示ス病型アリ。若、ひすてりニ症状ノ特ニ著明ナルトキハ戰闘ひすてり-Kriegshysterie ナル名モアリ。

戰闘ひすてり

#### 第三 祈禱精神病

祈禱精神病

森田博士ガ祈禱ニ因リテ發スル 普通ハ 2—3 週ノ經過ヲ以テ終ル心因病的状態アリトシ祈禱精神病ト命名セリ。ソノ症状ハ興奮、昏迷、錯亂、妄想ヲ主トスル型多シ。古來既ニ魅惑朦朧状態 Faszinationsdelirien ト稱セラレシモノノ一種ナル可シ。

魅惑朦朧状態

#### 第四 好訴妄想病 Der Querulantenwahn.

好訴妄想病

或種ノ病質者ガ或法律關係ニテ己ノ意ノ如クナラヌ事アルトキソレニ就キ公平ナル判斷ヲ失ヒ、自己ニ都合ヨキヤウニノミ考ヘ、茲ニ或ハ法官ガ不公平ナリ 裁判官ハ反對者側ヨリ買収セラレタリナドト妄信シ終ニ好訴妄想ヲ發スルモノアリ。時ニハ之ニ次ギ被害・心氣妄想ヲ明

ニシ己ハ毒殺サレント謀ラレ居ルト邪ムモノアリ。

コノ際、若、他人ガソレニ對シテ反證ヲ擧ゲ辯駁セバ患者ハ毫モ之ニ耳ヲ藉サザルノミナラズ、時ニハ却テ其ヨリ自己ノ考ヘ違ヒ一層眞實ナリト確信スルモノアリ。但、ソノ際、患者ノ訴訟ニ關スル事實ノ陳述ハ極メテ詳細ヲ極メソノ精密ナル實ニ驚クベキモノアリ。

記憶ハ一般ニ好良ナルモ自己ニ都合ヨキヤウナル追想錯誤アルヲ免レズ。又、之ヲ信ズルコト甚、厚シ。意識ハ常ニ明清ニシテ見當識ニモ缺クルトコロナシ。一般ノ理解モ亦、故障ナシ。而モ絶エズ自己ノ訴訟ニ關シテ同様ナル話ヲ爲スヲ以テ思想内容ガ同形トナルヲ免レズ。應答ハ普通。叙述ハ極メテ緻密。病覺ハ全ク無シ。自家感覺概ネ充進ス。感情ハ興奮性ニ富ミ、冷靜ニ考フルノ力失セ、行爲ハソノ妄想ト感情トニヨリテ影響セララルコト頗、大ナリ。ソノ他ハ全ク普通トス。

〔経過〕 久キニ至レバ、言語ノ内容一層同形症ヲ示シ、聯絡ノ粗トナルコトアルヲ認めラル。尙、多少平氣トナリ、御シ易スクナリ、啼泣性トナルモノアリ。サレド永久ニ自己ノ考ガ病的ナリト思フニハ至ラズ、又、決シテ著明ナル癡呆ニハ陥ラヌモノナリ。

〔原因〕 本病者ハ少ナシ。多クハ 50 歳以上ノ人ニ發ス。發病ノ機制ニハ本人元來ノ性格ト同病ヲ起スニ都合ヨキヤウノ機會・驗體アルニヨル。但、年齢ノ進ムト共ニ頑固トナル生理的精神機轉ニ關係アリトモ見ユ。

〔治療〕 在來ノ環境ヨリ遠ザケ、ソノ爭論ヨリ早く身ヲ避ケシムベシ。時ニハ精神病院ニ入ル要アルコトアルモ病勢靜マレバ成ル可ク早く退院セシムベシ。久キ間 在院セシムルハ不得策ナル例往々アリ。

在監者ノ心  
因精神異常

### 第五 在監者ノ心因精神異常 Die psychogenen Geistesstörungen der Gefangenen.

〔定義〕 拘禁、殊ニ刑務所等ニ入レルナドノタメニソノ後發スル精神原因ニ基ク心因精神異常ノ總稱ナリ。

〔歴史〕 入監後精神病ノ發生スル事實ニツキテハ古來既ニ夙クヨリ注意セラレ。而モソノ症狀・本態ニ關スル學說ノ發達・確定ハ比較的近代ノコトナリ。今、

ソノ變遷ヲ尋スレバ第 1 ニハ刑務所ニ入レバ其ノ内ニテノ生活變化ガ精神病ノ原因トナルモノアリト考ヘラレ、ソノ後ニ至リテ同病發現ノ原因ハソノ人ニアリテ拘禁ハ直接ソノ原因トハナラズトセラレ。從テ刑務所内ニ發スル精神病ニハ特殊ノ精神病ナク刑務所内ノ精神病ト刑務所外ノ精神病トハ全然同種ナリト説ケリ。然ルニソノ後、所説マタ變ジテ一部元ニ戻リ、刑務所内ニ發スル精神病ニハ刑務所外ニ發スル普通ノ精神病アレドモ之ト共ニ刑務所内ニ發スル固有ノ精神病モアリトセラレ 後者ヲ心因性原因ニ因ル病ナリト云ハルルニ至レリ。

斯クシテ刑務所内ニ發スル普通ノ精神病ニハ酒精精神病、精神分裂病、癲癇精神病、進行麻痺、老耄癡呆、妄想病等ガ主ニシテ其等ノ病ハ刑務所内ニ居住セルタメ固有ナル色彩 Färbung ヲ帶ブルコトアレド、眞ニ刑務所内ニシテ發スル特殊精神病ハ之ト全然異ナリ凡テ心因性疾患ナリトス。

〔症狀〕 在監者ノ心因精神病ニハ多クノ型アリ。

I. 第 1 種ノモノハ常人ガ刑務所ニ入レバ誰ニモ發スベキ感動變調ガ特ニ烈ク發現セルモノニシテ而モ精神病ト云フベキホドノ程度ナラヌモノナリ。病的拘禁反應 Pathologische Haftreaktion ト通稱セラレ 拘禁反應ルモノトス。

之ニモ多クノ亞型アリ。1 ハ暴行・沈痛・昏迷ノ狀ガ著シキモノ、2 ハ一時ノ妄想ト之ニ都合ヨキ幻覺ヲ發シ、言語經マリ悪ク矛盾ヲ呈シ、時ニハ供述ノ變化サヘ現ル、往々被害妄想又ハ罪ヲ犯サズト信ズル無罪妄想ヲ示スモノアリ。3 意識濁強ク中ニハ當意即答・幻視ヲ發シ夢ノ如キ恐怖ニ襲ハルルモノニテガンゼル症狀是ナリ。以上ハ何レモ經過短ク特殊精神病ト認メ難キモノトス。

II. 第 2 種ノモノハ症狀複雜經過長クシテ特殊精神病トスベキモノナリ。尙、ソノ折ニ抱ク思想ハ入監ニ關係アルモノト限ラズ、ひすてり一性症狀サヘ伴フコト往々アリ。

クレベリンガ永續朦朧狀態 Protrahierter Dämmerzustand ト名ヅケタルモノ 永續朦朧狀態ハ即、是ニシテ、昔、在監者妄覺病 Gefangenenwahnsinn ト稱セラレルモノノ多數ハ之ニ相當スト云ハル。

〔症狀〕 本病者ノ示ス症狀ハ個人ニヨリ差アルモ大體ハ入所直後、

速ニ發ス。即、先、氣鬱シ食思不振トナリ不眠ヲ伴ナヒ、忽、心氣・被害・追跡・又ハ誇大思想ヲ發シ、幻視・幻聽ヲ生ズ。殊ニ己ハ胃ガ惡ルシ肺病アリ食事ニ毒アリ役人ハ皆己ヲ窘ム己ニハ罪ナシ無罪ナリト云ヒ、後、大發見ヲナセリナドト喋ル。サレド其等ノ妄想ハ概、長ク續カズ、又、飽マデ自説ヲ主張スル力ナク自己人格ノモノトハナラズシテ、境遇ニヨリテ變ジ易シ。即、妄想様空想ノ性質ニ止マル。時ニソノ言ニ戯レ様ノ色彩ヲ帶ブルモノアリ。

ソノ間見當識普通、意識明清、應答明瞭ナルモ、時ニハ人ヲ誤マリ、間違ヘル姓名ヲ以テ人ヲ呼ビナドスル街奇的・故意的ノ行爲モアリ。思想ニハ輕キ錯亂アリテ纏マラストコロ存ス。氣分ハ多ク轉換シ易ク苦悶性・爽快性又ハ不快ナル感情ヲ交ヘ、時ニ卒倒・自殺行爲アリ。

ソノ間烈キ興奮ヲ示ス例モアリ。殊ニ外界ノ刺戟ニ應ジテ興奮ヲ増シ、唄ヒ踊リ器物ヲ破壊スルナドノ行爲ヲ示ス。サレドマタ其ノ間茫然、無言、佇立スルコトアリ。時ニハ全ク答ヘナク著明ナル昏迷ニ陥リ強梗症ヲ呈シ、刺針ニ對シテ反應ナキコト多シ。尙、妄想ニ基ク行爲ヲ示シ或ハ理由ナク顔ヲ歪メ、人ノ近寄ルトキ身ヲ屈ガメ、獨語、空笑、問ニ答ヘズ、故意ニ文書ヲ以テ用ヲ便ズルモ文意更ニ不明、内容著ク錯亂シ當意即答アリ緊張病ニ酷似スルモノアリ(第187圖參照)。

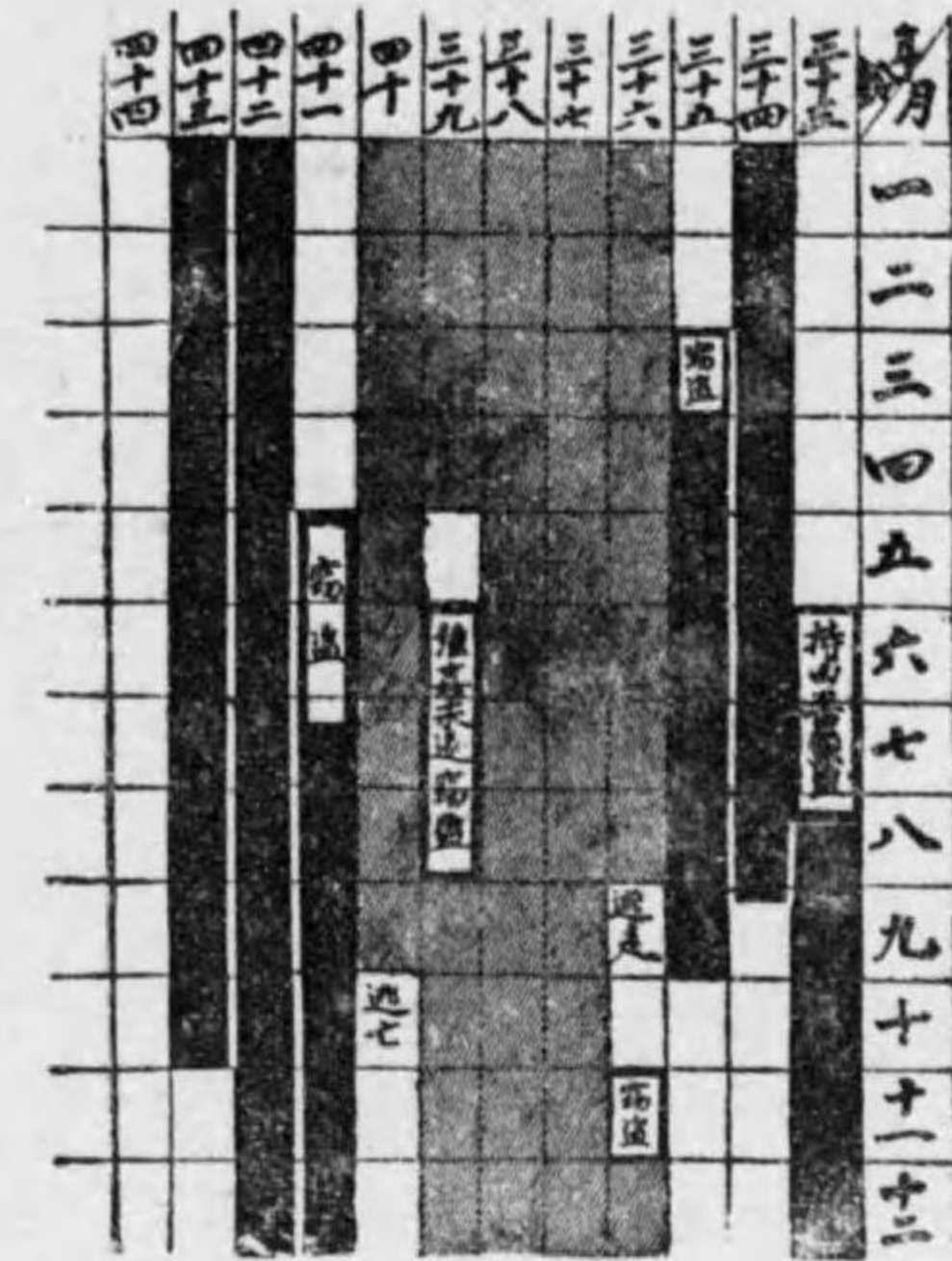
〔身體症狀〕 幼時ニ夢中遊行アリ。現症ニハ眩暈、頭痛、痛覺脫失・減退。ひすてりー球、視野狹小、角膜・咽頭反射減退、振顫、睡眠不良、失神、痙攣等ノ諸症狀ヲ示ス例アリ。

〔經過〕 以上ノ如キ狀況ガ相當久キニ互リテ續ケルモノガ自由生活ニ戻ラバ忽、在來ノ状態ニ復歸スルモノアリ。殊ニ久ク刑務所ニ在リテ茫然タル風ヲ示セシ者ガ巧ミニ逃走シ犯罪シテ再、入所セバ、直グ復、元ノ如キ茫乎トナルモノアリ(第188圖參照)。經過ハ全クソノ環境ノ差ニヨリテ異ナルモノトス。

〔病型〕 本病ノ經過中、症狀ノ變化ガ多ク、爲ニ病型ヲ別ツコト難キ



第187圖 累犯者ニシテ拘禁後、輕キ意識濁濁・多數ノ幻聽・妄想ヲ生ジ、精神病院ニ入レバ全快スル例



第188圖 或犯人ノ犯罪後入監シ(黑色)テ、後、拘禁精神病ヲ發シ精神病院ニ送ラレ(斜線)、同所ヲ逃走シテハ復、直グ犯罪シ。捕ヘラレテハ再、精神病院ニ入り、復、逃亡・犯罪ヲ繰返ヘシテ永年刑務所ニ居タル例

モ、興奮、昏迷、錯亂、幻覺、妄想ヲ主トスル亞型アルノ外特

ニ緊張病様・躁病様・街奇性錯亂様興奮ヲ呈セル型アリ。妄想病様症狀ヲ主トスル型ニハ變質者ノ空想性類妄想症 Phantastische wahnhafte Einbildung ト名ツケラルルモノアリ。中ニハ妄想性空想ノタメニ個性ガ容易ニ變換セラルル型モアリトス。

野村章恒博士ガ松澤病院ニテノ調査ニヨレバ氏ハ本病々型ヲI. ひすてりー性反應型(感情ノ異常反應ガ特ニ顯著ニシテ時ニ夜間譫妄・昏迷ニ陥ルモノ)、II. 躁病様反應型、III. 妄想病様反應型、IV. 分裂病様反應型ニ別ケ、ソノ數ハIガ38.7%、IIガ9.6%、IIIガ6.4%、IVガ43.3%アリタリト云フ。

〔病理〕 同型ノ中ニハ明ニひすてりーニ似テひすてりート思ハルルモノアリ。サレド是ハひすてりート異ナル點モアリテ寧、只、コレニ近似セル或種心因精神病トスル方ガ正シト考ヘラル。要スルニ本症ハ1種ノ反應疾患ナリトス可キナリ。

〔原因〕 生來ノ本人性格ニハ幼時ヨリ意志弱ク、空想深ク、怒リ易ク、頑固ナル性癖、病的虚言アルモノ多シ。發病ハ20歳頃ヲ多シトス。

同ジク野村博士論文ニヨレバ、同例 38 例中、治安維持法違反者 26 例、窃盜 2 例、傷害殺人 2 例、男 27 例、女 3 例、發病年齢ハ 20 歳代 80%、30 歳代 16.6%、拘禁ヨリ發病迄ノ期間ハ 1—2 年ノモノ 30.0%、殊ニ 6 ヶ月—1 年 26.6%、6 月未滿、及、2 年以上ノモノ 20% ナリシト云フ。

III. 第 3 種ノモノハ多ク長期刑ニ服セル囚人ニ認メラル可キ病型ニシテ經過長ク、被害・被毒・心氣・追跡妄想、殊ニ放免サレ居ルニ拘ラズ拘禁セラルト考フ赦免妄想・又ハ犯罪セズト信ズル無罪妄想、好訴妄想ヲ主トスル拘禁好訴病 Haftquerulanten 等ヲ抱クモノナリ。

多クハ意識明清、己ヲ蔑ム人アリ・叱ル言葉ヲ聞クト云ヒ、幻聴様ノ事實ヲ述ブ、サレドコレガ果シテ眞ノ幻聴カ追想異常カ、將、又、單ニ夢幻性思考ナルヤハ判定シ難キトコロアリ。感情ハ茫然タラズ、苦悶性ノコト多キモ時ニ興奮シ、又ハ自殺企圖アリ。睡眠不良多ク、不良ナル時ニハ食事セヌ例トス。

初老期  
赦免  
妄想病

男子、殊ニ中年以後ノ男子ニ多シ。赦免妄想型ハ高齢ノ人ニ多シ、初老期放免妄想病 Präseniler Begnadigungswahn ノ名アリ。

〔経過〕 數週ヨリ數年ノ間ナリ。刑務所ニ在リテ精神束縛ノ存スル間ハ病勢常ニ増進ス。殊ニ獨房ニ在ル間ニ於テ然リトス。獨房ヨリ雜居房ニ移リ・又ハ病室ニ入ル時ニハ症状良好トナル例多シ。殊ニ精神病院ニ入りテハ一層好良トナル場合多シ。サレド完全ニ病覺ヲ生ズルニハ至ラザルモノ多數ナリ。

〔治療〕 同病發生ノ豫防ハ刑務所等ニ捕ハレタルモノニ許容シ得ルダケノ自由ヲ與へ、一般ニ習字・讀書・身體運動ヲ課シ、吏員ノ囚人待遇ニ人情味ヲ加フコト必要ナリ。殊ニ本病發現ノ初期ニ留意シ、若、本症ノ初期ト思ハルル症状ヲ認メバ一層待遇ニ意ヲ用キ早く病室ニ移シ、又ハ精神病院ニ入レ、未決ノモノハ早く裁判ヲ確定スベシ。

感應精神病

### 第六 感應精神病 Das induzierte Irresein.

同一ノ場所ニ親シク生活スル人ノ間ニハ精神感作行ハレテ、互ニ影響アルコトハ必然ナリ。若、ソノウチノ或人が精神病者ナレバ同人ノ示ス精神症状ハ之ト接近セル人ニ傳播スルコトモ當然ナリ。特ニソノ際、兩人ガ甚、親密ナル關係アル人ナルトキニハ一層然リトス。ソノ際、精神感傳ヲ受ケテ發病セル精神變調ガ精神病ト名ヅクベキ程度ナルトキニハ特ニ感應精神病ト稱ス。

〔症状〕 妄想病者ノ有スル誤解・迷信・病的思想・妄想ガソノ近クニ居ル人ニ傳染スル場合ガ多ク、殊ニ妄想ノ感傳ト見ルベキモノニハ病者ノ抱ケル著明ナル追跡・誇大・宗教・豫言・好訴・憑依妄想等ノ諸妄想ガ接近セル健康者、就中、病質者ニ感應スル場合多シトス。ソノ時ハ病者ノ示ス感情・行爲ヨリ姿勢・顔貌・表情・歩行ニ至ルマデ凡テ皆、病者ト同様ニナルコトアリ。時ニハ幻覺・興奮・苦悶・錯亂・ひすてりー發作迄モ感應ス。

〔経過〕 病者ト離スコトニヨリ治ルコト常ナレド時ニハ妄想ガ久ク殘ル例アリ。

〔病理〕 人間相互ノ間ニ被影響性アルコトハ上述ノ如ク普通ノ現象ナレバ此ノ性質ガ特ニ強ク現レタルトキ本病トナルモノト思ハル。

〔原因〕 被感應者性格ハ本病發生ニ於テハ重要ナル關係アリ。即、同人ノ性格ガ興奮症・輕信症者等ナレバ感應上ニハ最、都合ヨキモノニシテ本病發生ハ甚、容易ナリトス。斯クテ婦人・低格者・ひすてりー性ノ人ニハ本病ガ多ク 30 歳以下ノ人ニモ多シ。尙、感應セシムベキ病者ノ病症ガ輕クシテ常人ト思ハルル程度ナルトキニハ一層容易ニシテ、ひすてりー性僻見者・迷信者・偏執病様癡呆者、乃至ハ之ニ近キ輕躁病者、偏執病者、又ハ之ニ類似セル妄想病者ナルトキニハソノ思想感染ガ頗、好都合ナリ。

〔診断〕 單ニ同一家族中ニ多數ノ精神病者アリトモ其ノ病ガ明白ニ躁鬱病、精神分裂病、ひすてりー、ばらのいあ等ナレバ本病トハ爲シ難シ。本病ハ發現ニ感應作用ヲ認ムベク、心因精神病タル可キナリ。

似タル症状ヲ有スル病者ガ多數アリテ何レガ原發精神病者ナリヤヲ定メ難キ場合アリ。コノ時ニハ症状ノ頑固ニテ引離シテモ不治ナルヲ原發者トス可シ。

〔療法〕 隔離スベシ。ソノ他ニハ普通ノ鎮靜劑・就寢法・精神療法等ガ用キラル。説得療法・作業療法良シ。本病ノ豫防ニハ斯カル病ヲ生ジ易キ人ヲ豫メ病者ヨリ離シ置クニアリ。

心因妄想形成

## 第七 心因妄想形成, Psychogene Wahnbildung.

精神原因ニヨル妄想形成ノ總稱ニシテ之ニ多クノ型アリ。反應性偏執病, 過感性關係妄想症 Sensitiver Beziehungswahn, 重聽者ノ追跡妄想, 變質者ノ好訴妄想, 抑鬱性妄想病様精神異常等ガ凡テ皆, コレニ屬ス。似タル種類ノ嫉妬妄想モマタコレニ屬スベキナリ。

今, 重聽者ノ被害妄想形成ヲソノ代表病型トシテ茲ニ記サム。

重聽者追跡妄想

## 重聽者追跡妄想 Der Verfolgungswahn der Schwerhörigen.

重聽者・又ハ聾者ニシテ聽力不良ナルトキニハ, 外界ノ事情ヲ明カニ聽取スル能ハズ, 爲メニ邪推ヲ多ク發スルヲ免レズ。況ヤ同人ノ素質ガ病的者ナレバ苦悶, 刺戟性, 妄想, 幻覺ヲ發シ易ク, 甚シキ折ニハ僅ノ音・微ナル響・無關係ナル光モ意義アルモノト曲解シ, 感情興奮, 終ニ他人ヨリ妨害セラルト邪ミ或ハ苦メラルト考ヘ, 終ニハ逮捕セラルトマデ信ジテ疑懼・不安トナリ人ト争フニ至ル。日常ノ動作ハ全ク常人ニシテ只, 上記ノ如キ不安・苦悶アル時ニノミ不安・興奮ス。睡眠・記憶・理解・見當識等凡テ尋常ナリ。

〔經過〕 慢性ナリ。但, 病勢ニハ消長アリ。殊ニ外界ノ影響ニヨリ病勢ニ差ヲ示スモノ多シ。感情ノ興奮ニヨリテ一般狀態増悪スルモノ多シトス。

〔原因〕 多數ハ婦人, 殊ニ久ク孤獨生活ヲ續ケタルモノ, 高年者ニ多シ。

〔療法〕 懇切ニ取扱ヒ, 淋キ感ヲ起サシメザルヤウ注意ス可シ。興奮時ニハ之ニ對スル處置ヲ講ジ, 入院シテ經過好良トナラバ早く退院セシムベシ。

豫期神經症

## 第八 豫期神經症 Erwartungsneurose.

〔定義〕 將來ノコトヲ恐レルコト烈キタメニ, 種々ナル病的症狀ヲ發スル一種ノ病的的精神障礙ナリ。

〔症狀〕 普通人ニテモ將來ノ事ヲ考ヘ或事ヲ期待スルコト烈キ場合ニハソノ爲メニ落付カズ不安トナルコト多ケレド, 甚シキ時ハ苦悶ヲ覺エ, 稀ニ幻覺, 乃至ハ幻覺ニ近キ症狀ヲ發スルモノアリ。或種病的者ニテハコノ種ノ機轉特ニ著甚ニシテ常人ニテハ何等心配ノ種トハナラヌコトヲ氣ニシ心配ノ種トナシ考

フルニ及バザル事モ不快ノ原因トシ延ヒテハ身體症狀ヲ起スニ至ル。例之, 讀書セムトセバ眼界朦朧, 文字ノ見エザルヤウニナリ, 或ハ眼華閃發・熱感ヲ覺エ, 音響ヲ聞キテハ雜音・疼痛ヲ感ジ, 寫字・食事・睡眠・歩行等ヲナサムトセバ之ニ要スル筋肉ニ疼痛・麻痺, 或ハ痙攣ヲ發シ, ソノ極, 終ニハ甚シキ不安ニ陥リ, 發汗・心悸等ノ諸病的症狀ヲ催スニ至ルモノアリ。又, 或モノハ交接セントセバ陰萎・苦悶ヲ發シ, ソノタメ一層心氣症トナリ, 終ニ抑鬱シ, 外出ヲ厭ヒ, 齧居スルニ至ル例アリ。メービウスガ疼痛運動不能 Akinesia algera ト稱セシ病症疼痛運動不能ノ大部ハ之ニ屬ス。

ソノ他ノ精神症狀ヲ缺キ, 病覺存ス。記憶・領會共ニ普通。時ニハひすてリ一特徴アルコトアレドソハ主ナル症狀タラズ。神經衰弱, 神經質ニ本症狀ヲ加フルモノ多ク殊ニ輕症ナルモノ多シ。

〔經過〕 長キヲ例トス。本病ヲ治サムトシテ強ヒテ焦セリ急ニ同症狀ヲ去ラントスレバ病症益々不良トナル者多シ。何レニシテモ全治多シ。

〔療法〕 精神療法ヲ主トス。殊ニソノ本態ヲ説明シテ安心セシメ(說得療法), 暗示性訓練法ヲ施スヲ可トス。輕キ催眠術モ效アル例アリ。精神分析モ試ムベシ。作業療法ハ最, 佳ナリトセラレ。

## 第九 災害神經症 Unfallsneurosen.

災害神經症

災害後ニ發スル心因精神神經症ナリ。

〔歴史〕 外傷神經症ナル名ハ夙ニ人口ニ膾炙セシモノナルガ之ニハ學說ニ多クノ變遷アリ。最初ハ之ヲ單ニ災害直後ニ發スル突然ノ驚愕ニ基ク精神神經症トナセシモノナルガ, ソノ後, 同病ニ關スル經驗ガ豊富トナリ同病ニ多種アリ發生機制ニモ自, 差別アルヲ覺リ, 殊ニソノ本態ニ就テ, 一時ハ腦ニ實質變化アル病ト考ヘシ時代モアリシガ, 後ニ至リ精神原因ニ因ル病トナスニ至ル。之ニモ初期ニハ災害ノ折ノ驚愕ニ基ク病ト考ヘ, ひすてリトナセシ時代モアリ。然ルニソノ後, 同病者ノ數殖ヘ, 殊ニ賠償法發布以來, 頓ニソノ數激增シ, ウチ或モノニハ明白ニ賠償金獲得・欲求ニ基キテ徐々ニ發病セシモノアルヲ知り, 之ヲ外傷直後, 突然起ル病ト全然別種ナルモノトシテ, 本症ニ色々ノ種別ヲ設クベキモノトナセリ。即, 少ナクモソノ1ハ災害直後ニ發スル急性疾患ニシテ



外傷時ノ驚愕ニ基ク病トナシ、ソノ2ハ災害後徐々ニ發生シテ外災時ノ驚愕以外ノ他ノ精神作用、殊ニ將來ノ心配・心氣症・賠償金獲得等ノ焦慮・欲求ヨリ發生・又ハ助成セラレル病トセリ、茲ニ本病ノ名稱モソノ本態ニヨリ區別サレ前者ヲ驚愕神經症、後者ヲ外傷神經症トセラレルニ至レリ。

驚愕神經症 甲 驚愕神經症 Schreckneurose.

〔定義〕 突然ナル或事變ニ遭遇シタルソノ直後ニ於テソノ折ノ恐怖・驚愕ニ基キテ發スル精神神經症ナリ。主徴候ハ意識濁濁・興奮等ニシテ稀ニ制止ヲ主トスルモノアリ。何レモ病的本能・病的表情ト考ヘラレル身體・精神症狀ヲ顯著ニ示スコトヲ固有トス。

〔原因〕 災害、例之、地震・落雷・海嘯等ノ天災、又ハ火災・強盜・侵害等ニ基キテ發病ハスレド本人ノ體質ガ之ニ少ナカラザル影響ヲ與フルモノナリ。從テ本病ハ小兒、無教育者、殊ニ意志訓練ノ足ラヌ人、就中、平素ヨリ神經力ノ健全ナラザル人ニ多シトス。

〔症狀〕 發病ハ其等事變ノ直後ナリ。ソノ示ス症狀ハ個性差異ガ大ニシテ輕キモノハ見當識喪失、殊ニ時ニ關スル見當識喪失、領會困難、注意散亂、忘レ易ク、疲レ易ク、不機嫌、氣六ケ敷キ位ノ程度ニ止マルモ稀ニハ爽快トナルモノアリ。重症者ニ於テハ談話心迫、思想湧出アリテ種々ナル話シヲナシ、而モ纏マレル話ハ出來ズ、或ハ觀念粘着・作話症ヲ呈ス。時ニハ話ス可キ言葉ヲ想起シ得ズ、或ハ失讀ヲ呈スルモノアリ。更ニ一層重症ナルモノトナリテハ昏迷、興奮、譫妄狀トナリ、幻覺・妄想ヲ伴フナヒ、衝動性興奮ヲ示シ、錯亂狀トモナリ、人物誤認、易怒、緊張、元氣無キ状態ニ陥ルモノモアリトス。

身體上ニハ植物神經系症狀顯著ニシテ就中、心悸、脈數增多、發汗、下痢、多夢ヲ多シトス。

〔經過〕 最、烈キ時期ハ數時間ヨリ1—2日、長クモ1週ニ止マルモ稀ニ1月ニ達ス。後、其等ノ急性症狀ガ去リテ恢復期トナラバ久キ間、元氣ナキ疲レ易キ状態、又ハ頭痛・眩暈・振顫・心悸・胸内苦悶・發汗等ノ諸症狀ト災害ヲ蒙リタル地震・鐵道等ヲ嫌フ症狀トヲ殘シ時ニハ罹病時ノ事ヲ追想スルコト相當困

難ナル場合モアリ。經過ハ之ガ原因タル複錯ニヨリテ永引クコト常ナリ。

〔診斷〕 ひすてリーニ似ルモひすてリー特徴ハ少ナク、經過モ短ク、精神内ニハ事變ニ關係アル思想ノミガ往來シ、同一ノ思考ガ過價觀念トシテ現ルコト多シ。反之、ひすてリーニテハひすてリー症狀アリ、殊ニ原因タルベキ事變ノ既ニ消滅セシ後ニモひすてリー症狀ガ長ク續キ、事變以外ノ觀念ガ存在スルコト多キヲ以テ區別セラレ。

〔療法〕 安靜、慰藉、身體症狀ノ看護等ガ必要ナリ。

乙 外傷神經症 Traumatische Neurose. 災害神經症 Unfallsneurose. 外傷神經症

〔定義〕 頭部外傷ノミニ限ラズ、他ノ災害後ニモ續發スル心因精神異常ナリ。

〔症狀〕 工場ニテノ負傷、列車衝突、墜落、打撲等ニ遭ヒタル折ニハ一時甚、驚愕・恐怖シ、時ニ失神スルコトアルモ、ソハ忽、消散シテ舊態ニ復スルヲ例トス。但、時ニハ僅ニ負傷・打撲部ニ疼痛ヲ覺ユル位ノコトアリ、其ノ後、時經テ種々ナル症狀ヲ徐々ニ現スモノトス。

即、外傷ノ際ニハ甚、愕ケルモコハ間モナク落着キ其ノ晩又ハ翌日ニ至リテ頭痛ヲ覺ユ。コノ頭痛ハ數日・乃至、1ヶ月間續キ、時々増進ス。或ハソノ後ニ至リ身體ニ疼痛ヲ覺ユ、更ニ其等ノ諸症狀ガ増惡スルコトアリ。殊ニ頭痛募リテ起居平常ノ如クナラザルモノ多シトス。茲ニ種々ナル苦惱ヲ伴フニ至ル。就中、平常ノ仕事ヲ爲サムトシ或ハ工場ニテ負傷セシ職工ナレバ工場ニ出勤セムトシテ疼痛増シ職ヲ執ル能ハズ、或ハ就牀ノ止ムナキニ至ラバ茲ニ精神ガ攪亂セラレ不安・苦惱、果テハ氣鬱ギ興奮シ、己ハ如何ニナリ行クベキカ、若、職ヲ離レテハ何トシテ生計セム、如何ニシテ妻子ヲ養フベキカナドト考ヘ苦ミ、煩悶シ、睡眠不良、食慾減退、元氣衰へ、茲ニ心氣性トナリ、臥褥シテ重キ神經衰弱様状態ニ陥ルモノ常ナリ。斯クシテ本病患者ニハ神經衰弱・又ハ心氣症ノ如キ病型ヲ呈スルモノガ多シトス。

若、之ニひすてリー症狀顯著ナルトキニハ外傷 ひすてリート名ヅケ、本態ヲひすてリーニ編入ス可シトノ説モアリ(ひすてリー項參照)。

斯カル際ニ若、友人・知己・醫師ヨリ同人ノ疾病ガ甚、些細ナリトテ

慰撫セラレ、勇氣ヲ鼓舞セラルレバ、患者ハ氣勵ミ苦痛ヲ忍ビテモ仕事ヲナサムトス。コレニテ事無クバ安心シテ恢復ニ向フモ、不幸、ソノ際、其ニヨリテ疼痛・頭痛等ヲ増セバ、最早、己ハ作業ニ堪ヘスト感ジ、元氣消沈、病症ヲ過大ニ感ジ、抑鬱シ、言葉少ナクナリ、人ト語ルヲ好マズ、不快・懊惱、自己・及、家族ノコトヲ憂慮シ、ソノ念常ニ去ラズ、時ニハ之ニ執着シテ支配觀念トナリ心氣性トナリ、己ノ病ハ最早恢復スル途ナシト取越苦勞シ、甚シキハソノ苦慮ヨリ自殺ノ念サヘ生ズル例アリ。斯テ本病ガめらんこりー・抑鬱病ニ似ル型ヲ示スニ至ル。

然ルニ我漫シテ作業セムトスル際若、人ガ過度ノ而モ誤レル同情心ヨリ本人ノ意志ヲ弱クスルガ如キ言ヲ發セバ、多少ノ頭痛・ソノ他ノ症状ガ勢ヲ得テ愈、氣腐リ、將來ヲ憂フニ至ル。尙、他人ガ災害事故ヨリ賠償金ヲ得タル例ヲ聽カバ、意識下ニ欲求現レ、之ヲ當然ナル權利ナル如クニ思ヒ、終ニ之ヲロ外ス。而モ談判意ノ如ク抄ラザレバ思ヲ僻ガメ、反對側ナル當事者ヲ恨ミ、己ノ處置ハ偏頗ナリト考ヘ、進ムデハ自己ノ氣ニ入ラスコトハ凡テ敵意アルタメノ所作トシテ曲解シ、憤リ、更ニ同様ノ事故ニヨリ他人ガソノ會社・又ハ他ノ會社ヨリ賠償ヲ得タリトキケバ之ヲ美ミ、其ノ極、好訴症状ヲ發スルニ至ル。

然ルトキハ無關係ナル醫師ヲ對手ノ同類ナルガ如クニ思惟シ、果テハ凡テヲ妄想様ニ曲解シテ妄想病様状態ヲ呈スルニ至ル。時ニハ其ヨリ被害妄想・追跡妄想、幻覺マデモ生ジ、關係ナキ人ニモ攻撃的態度ニ出デ、怨嗟・忿怒ノ眼ヲ以テ臨ムモノアリ。斯クテ終ニ著明ナル系統アル好訴妄想ヲ形成スルニ至ル。外傷賠償好訴病 後妄想病 Posttraumatische Paranoia ノ名アルモノ、又ハ賠償好訴病 Rentenquerulanten ノ名アルモノ是ナリ。

〔身體症状〕 頭痛、眩暈、睡眠不良、記憶減退、睡眠障礙、多夢等多シトス。

眩暈ニハ眼前暗黒、地面ノ動ク如キ感、頭ヲ前方ニ下ゲントスル時ノ眩暈ヲ多シトスルモ時ニハ地面動搖感ト嘔吐トヲ覺ユルメニエール Menière 症状モアリ。他ニ背痛、腰痛、脊椎棘状突起ノ疼痛、關節痛、皮膚痛覺過敏、疼痛點ヲ壓

スレバ脈數ガ1分間ニ20モ増スコト (マンコッフ Mannkopf 症状)、光覺過敏、音覺過敏、感覺脱失、瞳孔左右不等、全身ノ穴ナル動搖、閉目ノ際ノ輕キ睫毛ノ振顫、運動遲徐、運動ニ脱力セルコト、振顫ヲ伴フ假性强直、不全麻痺、歩行異常トシテ徐歩・倒レントスル如キ感、閉目佇立困難、小腦失調ニ似タル症状、烈キ膝反射亢進、大胸筋ノ器械的刺戟ニ對スル昂奮性亢進、言語遲徐、爆發言語等アリ。脈管運動異常トシテ心悸、皮膚紋畫アリ。他ニ蛋白尿、糖尿等モ存スルコトアリ。若、全般ノ病症ガひすてり一様ニ見エテ麻痺・萎縮・拘攣等ヲ生ズルモノハ本病ト異ナル別種病型ト考ヘ、或ハひすてり一ガ外傷後ニ起リタル外傷ひすてり一トスルヲヨシトスル説アリ (クレペリン)。

小峰茂三郎氏ノ東大精神科ニテノ調査ニヨレバ本病者 61 例中、主觀症状ニハ頭痛 41、眩暈 38、物忘れ 26、睡眠不良 24、耳鳴・異常感覺各 17、感情刺戟性 16、憂鬱 14、作業ニヨル症状増悪 13、感覺鈍麻 11、客觀症状ニハ膝反射亢進 34、著キ不満・憤怒 20、震顫 18、ロムベルグ症状 15、皮膚紋畫 13、筋肉刺戟性興奮 13、心悸 11 等アリト云フ。

〔病型〕 本病ニテ 1. 神經衰弱様ノ訴ガ主ナルモノハ外傷神經衰弱トシ、2. ひすてり一症状ノ著シキモノニハひすてり一ガ外傷ニ基ツキテ發セル外傷ひすてり一トシ、ソノ他ニハ、3. 外傷めらんこりー、4. 外傷ひぼこんでりー、5. 外傷妄想病、6. 外傷好訴病ノ型ヲ設クルヲ便トスル説アリ。而シテ外傷妄想病トハ外傷神經症ノ上ニ妄想・幻覺ヲ發セル病型ニテ多クハ外傷後ニ適當ナル處置ヲ受ケザリシトキ、殊ニ外傷ニ對スル患者ノ陳述ガ虚偽視セラレ不正視セラルル際ニ生ジ、或ハ災害ニ對スル損害ヲ求メテモ醫師・組合・會社等ヨリソノ主張ガ迅速ニ解決セラレザルトキナドニ發スルモノトス。ソノ多數ハ好訴病様状態ニシテ、ソノトキニハ同病者ハ甚、不安トナリ、或ハ會社ノ者ヨリ絶エズ附ケネラハルト感ジ、人ニヨリテハ之ヲ避ケントシテ諸所ニ居ヲ轉ジ、又ハ旅行スルモノアリ。所謂、追跡性追跡妄想ト云ハルル病型是ナリ。

〔經過〕 發病ノ初期ニ適當ナル處置ガ講ゼラルレバ經過比較的短クシテ濟メド然ラザル場合ニハ治癒ガ數箇月・乃至ハ數年後ナルコトアリ。中ニハ全治セザルモノサヘアリ。心氣症ノタメニ自殺ヲ遂グルモノモ存ス。サレド問題サヘ解決セバ長年月ヲ經タル本症患者ガ意外ニ

マンコッフ  
症状外傷性妄想  
病

速ニ治愈スルコトモ亦、稀ナラズ。

〔原因〕 本症ハ工場事故・交通事故ニ多キモ、毆打セラレタル者ニ發スル例モアリ。年齢ハ41歳以上50歳未満ニ多ク、頭部ノ外傷ニ多シ。血壓高キモノ・微毒アルモノトノ關係モ深ク、營養良キ人ニハ本病ガ多シトモ云ハル。

〔本態〕 最初、中樞神経系ノ器質疾患トセラレタル時代アリ。1888年、エリックセン當時ニハ本病ヲ脊髄・ソノ被膜ノ病變ニ因ルトシ、オッペンハイム(1888)ハ大脳皮質ニアル微細ナル分子性病變ニ因ルト考フ。ソノ後ジャルコーハ官能疾患殊ニひすてりーナリトシ、ソノ機制ヲ外傷ニ基ク精神激動ノ久キ間消エズニ續クモノト思ヘリ。サレドソノ後ニ至リ災害直後ニ現レル外傷當時ノ驚愕ニ因ル驚愕神経症ト災害後時ヲ經テ始メテ現ハルル本病・即、外傷神経症トハ共ニ同ジ外傷後ノ精神原因ニ基ク病ナリトモ、症狀・機制ニ於テ大差アリ。前者ハ災害時ノ感情激變ニ基ク病、後者ハソノ他ノ精神的機制ガ之ニ加ハル病ト考ヘラルニ至レリ。損害賠償ノ欲求 Kampf um Rente ハ本人ガ之ヲ知ラズ自覺セスト云フモ、意識下ニテ明ニ働キ居ルコト明白ナル場合アリ。少ナクモ之ヲソノ主要ナル原因ト爲ス可キ型モ確ニアリトス。

ストリュムベル Strümpell ハ殊ニコレヲ高調シ、本病ヲ欲求觀念 Begehrungsvorstellung ニ因ル病ナリトセリ。サレド本病ノ凡テガ皆單ニコノ欲求機轉ノミニヨリ生ズルモノニハアラザルベク他ノ精神原因ガ加ハルコトアルベキナリ。例之、自己ノ身體的苦痛ヨリ將來同病ガ全治スルヤ否ヤノ焦慮、其ヨリ生計不安ニ陥ルコトナキヤノ不安、要求金額ヲ得ラルルヤ否ヤノ苦心、見舞ニ來レル親戚・知己ノ慰藉、殊ニ似而非同情ヨリ相手方ガサモ無理ニシテ自己ノ要求ガ正當ナルカノ如ク考ヘラレ、偶々自己ノ主張ガ容レラザルトキニハ焦慮ヲ増シ、慰問者ガ己ノ心ニ滿タザル仕打チヲ爲セバ不平・憤滿ヲ激加シ、之ニ目下ノ貧苦・將來ニ關スル焦躁・同様ノ災害ヲ蒙リ過分ノ賠償ヲ得タル人等ニ對スル嫉視・憤怒・無念、ソノ他アラユル凡ノ事情ガ加ハリ、積リ積リテ本病ヲ發スルモノナリ。特ニ妄想性病型ヲ形成スル型ハ賠償金ヲ求メテ得ラズ、訴訟長引キ、自己ノ欲スル結果ガ得ラザル時ニ發スルモノ多シトス。然ラバ本病ノ眞因ハ其等ノ多數ナル諸原因ガ加ハルモノニテ決シテ1—2ノ原因ヨリ生ズルモノニハ

アラザルベシ。

斯クテ本病ノ症狀ハ個性差ト環境差トニヨリテ大差アリ。似タル原因ニテモ人ニヨリテ本病ノ症狀ガ甚、異ナリ、時ニハ全ク現レザルコトサヘアリ。例之、己ガ好ミテ爲セル試合・決闘ニテ負傷セシ者ニハ本病ヲ起スコトナク、大ナル負傷ニテハ却テ少ナク輕微ナル外傷ニ於テ多シ。尙、汽車衝突ノ際、同車セル親ニノミ本病ヲ發シ、子供ニハ何ノ異常ナク、或列車衝突ノ際ニハ15名ノ負傷者アリシウチ唯1名ニ本病ヲ發シ、他ノ汽車脱線ノ場合ニハ13名ノ負傷者中、僅ニ6名ガ本精神異常症ヲ發セリトノ古キ報告アリ(ゼンゲル Sängler)。又5500人ノ災害者中、僅ニ1000人對7人ノ割合ニ外傷後精神異常ヲ發シタリト云フ事實モ存ス(アインスタイン Einstein)。尙、甚、重大ナル負傷ヲ蒙リシ者ニハ本病ヲ發セズ、ソノ所以ハ恐ラク其ノ間、殆、夢中ニ暮ラシテ本病ヲ發セシムベキ精神猶豫ヲ與ヘザリシガ爲メトノ説明モアリ。斯クテ本病ハ本人ノ性情・外傷後ノ一般狀況等ニ因リ大差アルモノトシテ學者ニヨリテハ之ヲ疾病トハ認メズ、只、或種ノ反應ト考ヘ、タトヒ病トシテモ假性疾病 Pseudokrankheit ナル名ヲ與フベシトノ説サヘアリ。

〔類症鑑別〕 腦震盪後ニ現レル腦震盪性精神異常、殊ニ急性腦震盪後精神異常、腦震盪後遺殘状態ト區別スベシ(同項参照)。但、實際ニハソノ兩者ノ合併ガ少ナカラズ。即、腦震盪後遺殘状態ノアル上ニ本病ヲ併發セル例ハ多シトス。ひすてりー症狀著明ナルハ外傷ひすてりートシテ區別スルヲ良シト考フ説アリ。後者ハ身體症狀頗、複雑ニシテ精神症狀亦、多型ナリ。殊ニ朦朧状態・痙攣發作ノ來襲アリ、然ルニ外傷神経症ニテハ心氣性情念ガ主ニシテ、仕事ノ不能・作業減退、感情ノ不快ガ著キヲ例トス

鑑別ニハ心理試験、殊ニ作業試験ガ大ナル役割ヲ演ズ。即、本症者ニハ作業能力頗、不良ナルモノ多ク、殊ニ腦震盪後胎症ヨリモ一層烈キヲ例トス。作病トノ區別ニツキテ、從來ハ視野ノ狹小、脈搏亢進、マンコップ症狀、瞳孔散大、腱反射亢進、營養不良等ノ客觀症狀ニ重キヲ措カレタルモノニテハ之等ハ共ニ確實ナル區別點トセラレヌ場合多シトス。作病ト思ハレタルモノノ多クハ却

テ本病ノ症狀タル場合ガ多シ。殊ニ症狀ノ誇張ハ本病ノ一特徴ト考フベシ。本病者ニハ體力衰へ、甚シキ不眠ニ陥リ、作業試験ニハ作業力減退ガ著ク現レ、伴病者ニテハ故意ニ作業試験ノ成果ヲ誤リ、作業不能ヲ強ク見セシメムトスル狀アリ。尙、本病診斷ニハ賠償程度ニ關スル診斷モ必要ナリトス。之ニツキテハ腦實質ニ變化アル病ノミヲ疾病トシテ賠償ノ責任アルモノトシ、精神變化アリトモ二次的ニ發セル本病ニハ賠償ノ義務ナシトノ説モアリ。參考トス可シ。

〔治療〕 災害後直チニ元氣ヲ振興セシムルコトハ最、必要ナリ。從テ氣ヲ腐ラシ不平ヲ抱カシムル處置ハ害アリ。外傷神經症ヲ發セバ意志ヲ強メ、心氣症ニ陥ラサヌヤウ心掛クベシ。ソレニハ早く職ニ就カシ、榮養ヲ充メ、まっさーじ、體操、電氣療法、空氣療法、臭素劑、鐵劑等ノ藥品投與ヲヨシトス。慰籍料ヲ興フ可キモノニハ外災直後早く、且、十分ニ與ヘ時期ヲ失セザルヤウニス可シ。但、之ニヨリ災害ハ必、賠償サル可シトノ思想ヲ培ヒ殊ニ其ノ規定・法律ヲ作ルガ如キハ本症發現ノ基トナリ有害ナルコト甚、多シト知ル可シ。

支拂ノ規定ニツキテハ本邦ニ於テモ既ニ各所ニ相當ノ規約アリ。工場法ヲ參照セラレヨ

## 第二十章 精神病質者 Psychopathen,

別名, 精神病的人格 Psychopathische Persönlichkeiten,

變質者 Der Degenerant oder Entartete,

精神病的中間者 Psychopathische Grenzzustände.

〔定義〕 普通人ノ性格トシテハ相當強キ異常アリ。而モソノ異常性格ノ爲メ本人自己ノ生存ハ損害ヲ蒙ムリ、環境・他人ヘノ加害モ亦、相當大ナルモノトス。斯クテ同人ハソノタメ社會共同生活ヲ營ムコト難シ。サレドソノ異常程度ハマタ精神病トハ認メ難キモノナリ。依テ病的性格・病質者等ノ名ガアルモノトス。

古クハ之ヲ病的負荷ニ基ク變質性ノモノト思ヒ、一時、變質者ナル名稱ガ興

ヘラレ。又、常人ト病人トノ中間ニ位スル人トシテ中間者トモ云ハレタリ。一派ノ人ハ之ヲ病的ノモノトセズ或種變異ト考フルモ多クノ人ハ從ヒ難キ説トス。

〔歴史〕 コノ種ノ研究ハ前世紀ノ初頭、既ニ英國ニ於テ始マレリ。後、佛國ニテ熾トナル。之ニ關シテハマニヤン Magnan ノ名ガ最、高シ。獨逸ニ於テハ前世紀ノ終リニ近クコノ種ノ論著續出スルニ至レリ。就中コッホ Koch ノ精神病的低格 Psychopathische Minderwertigkeiten ナル小冊子ハ世ニ持唯サレ、今、尙、參考トナス可キ良書ナリ。氏ノ説ニヨレバ、後者ハ精神病者ト健康者トノ間ニ位ス可キモノニシテ、各境界ハ漸進的ナレバソノ間ニ種々ノ移行型アリ。コレヲ程度ニヨリ別タバ病者ニ近キ者・健康者ニ接スル者・及、ソノ兩者ノ中間ニ位スベキ者トニ大別サル可シ。健者ニ近キ中間者ハ平素ハ常人ノ如キモ或機會ニ於テハソノ異常狀態ヲ發揮スルモノニシテ、必竟、タダ抵抗弱キモノト解ス可ク精神病的素質者 Disposition ノ名アリ。第2位ノモノハ平素ヨリ病的症狀ガ既ニ多少存在スルモノノ度尙、輕ク、敢テ精神病トハ見做シ難キモノナリ。例之、神經過敏、強迫觀念・恐怖症、衝動發作等ヲ明ニシ、或ハ強キ自我心、自恣、奇行、甚シキ言行不一致、時ニ智能發育不平等アリ。即、一方ニ卓越セル點アルト共ニ他方ニハ甚、劣レルトコロアル人等之ニ屬ス。而シテ此ノ種ノ性格異常ハ凡テ時折ノ消長ヲ示シ、時ニ週期性消長ヲ明ニス。是等ノ人ハ平素ヨリ既ニ病的傾向多少存スルモノトシテ傾性者 Belastung ナル名興ヘラル。更ニ進ミテ重症トナレバ病者ニ最、近キモノトナリ、或ハ道義心甚、缺ケ又ハ微智發達著ク不良ニテ狹義ノ變質者 Degenerant ト稱セラル。尙、氏ハ以上ノモノニハ生來性ノモノト・後天性ノモノトアリ。後天性原因ニハ中毒、精神過勞、妊娠、月經、身體病、精神苦勞等ヲ舉ゲ、斯クテコッホノコノ主旨ハ中間者ヲ程度ヨリ横ニ別ケタルモノニテ類型別ニハアラヌモ實際ノ運用ニハ便ナルコトアリ。責任能力推定ノ場合ナドニ於テ殊ニ然リトシ棄テ難キ説ナリ。

從來コノ種病質者類型分類ニハ多クノ試ミアルモ實際ニハ各型トモソノ示ス諸性行ガ混在シアルモノナレバ嚴正ナル分類ハ到底行ヒ難シ。從テ學者ニヨル分類ハ皆異ナル。茲ニハ普通用キラルル重要分類 2—3 ヲ舉ゲム。

I. クレペリシハ症狀ニ消長アリ。全狀態ガ病ニ近キモノヲ生來病的狀態 Originäre Krankhaftezustände ト名ヅケ、之ニ神經質、強迫症等ヲ容レ、ソノ他

ニハ一生略、同様ナル状態ヲ持續シ終始異常人格ト考ヘラル可キモノナリ。之ヲ病的な人格 Krankhafte Persönlichkeit ト稱シテ病的虚言者、意志薄弱者、反社會者等ヲ之ニ編入ス。II. クレッチユメルハ本書 85 頁ニ既述セシ如ク循環病質、分裂病質ヲ大別シ、他ニ癲癇様、ひずてり様、妄想病様病質等ヲ追加セリ。

然ルニ、III. ブムケ Bumkeハ本症ヲ精神病性素質 Psychopathische Anlage ト通稱シテ之ニ次記セル如キ精神病質類型 Psychopathische Typen ヲ細別セリ。即、1ハ分裂病質 Schizoide トシ、之ガ亞型トシテ分裂病質狂信症 Schizoide Fanatiker、感情冷酷症 Gemütskalte、反社會症、一名、悖德狂 Gesellschaftsfeinde、Moral insanity ヲ容レ、2ニ病的氣分症 Thymopathen ヲ設ケ、之ニ爽快者・氣分昂揚症 Hyperthymie、不快症 Dysthymie、氣分易變症 Stimmungslabile、不機嫌症 Mißmutige、共調症 Syntone、氣弱キ自我症 Weiche Egoisten、心弱キ自閉症 Gemütsweiche Autisten、心配症 Geängstigten ナル亞型ヲ區別シ、他ニ 3. 自己懷疑症 Anankasten、4. 妄想病様人格 Paranoide Persönlichkeiten、5. 自我顯示性 Geltungsbedürftige、6. 不全症 Insuffizienten、7. 意志不定症 Haltlose、8. 興奮性・及、刺戟性病質 Erregbare und reizbare Psychopathen ヲ別テリ。尙、此等ノ各病質類型ハソノ體質異常、年齢、身體・乃至精神原因ニヨリ一時、精神病様状態ヲ招來スルコトアリ。之ニ精神病的状態 Psychopathischer Zustand、精神病的態度 Einstellungen、及、發展 Entwicklungen ト名ヅケ、コノ代表型トシテ i. 神經質、ii. 心氣性病型 Hypochondrische Bilde、iii. 強迫状態 Zwangszustand、iv. 心因反態 Psychogene Reaktion、v. ひずてり態度 Hysterische Einstellungen、vi 妄想病様發展 Paranoide Entwicklungen ヲ擧ゲタリ。

V. シュナイデル Schneider ハ 1. 爽快型・氣分昂揚症 Hyperthymische、2. 沈鬱症 Depressive、3. 自己不安症 Selbstunsichere、4. 狂信症 Fanatische、5. 自我顯示症 Geltungssüchtige、6. 氣分易變症 Stimmungslabile、7. 爆發症 Explosible、8. 無情症 Gemütslose、9. 意志缺乏症 Willenslose、10. 無力症 Asthenische ナル 10 型ヲ別ケ、本分類ヲ現象的・心理的分類トナシ、尙、ひずてり性・癲癇性ノ如キ不純性ノモノナラズ要素性分類ナリトシ、クレッチユメル分類、即、分裂病質・循環病質ノ如キ臨牀的・體質的 Konstitutionelle 分類

的分類ニモアラズトセリ。

諸テ以上列記セル如ク病質者ノ分類ハ學者ニヨリテ採ルトコロ甚、統一セズ、各人各好ムトコロニヨリ全然異ナル如シ。從テ余ハ茲ニハ只、諸分類ヲ通ジテ主要ナル類型ヲ列記スルニ止メム。

### 第一 氣分昂揚症・爽快症 Hyperthymie.

氣分昂揚症  
爽快症

一生涯並外レテ明朗・快活ニシテ行動ハ異常ニ活潑ナルモ往々無責任・不謹慎ナルトコロアリ。時ニ注意散亂、跳躍性思路、手前勝手ナル領取、思想涌出、眞實性乏キ空想ヲ口外シタメニ病的虚言ニ類スルモノアリ。思慮一般ニ淺薄、殊ニ未來ヲ慮ル深謀・熟慮ニ乏ク、判斷偏頗ナル感アリ。智能發達ハ時ニ良キモ稍、劣レルモノ、手工・文藝等ニ器用ナルモノ多シ。尙、人ニヨリ自我感情強ク、氣儘ノ振舞多ク、時ニ自己ノ不良ヲ感知セズ、己ノ非行ヲ棚ニ上ゲテ人ヲ譏リ、同情心薄ク、人ニ與ヘタル恩惠ハ容易ニ忘レザルモ借リタルモノヲヨク忘ル入アリ。尙、人ニヨリテハ大言壯語シ、企業多ク、多種ノ事業ニ手ヲ出シテハ失敗シ、家計ヲ顧ミズ、政治ニ狂奔シ、宗教ニ惑溺シ、放蕩・賭博シ、正業ニ就カズ、意ニ滿タヌコトアレバ忽、亂暴・狼籍スル型モアリ。

從テシュナイデルハ本型ニ均整性、興奮性、好争性、意志薄弱性、虚言性ノ亞型アリトシ、又、酒精中毒、精神薄弱等ノ合併多シト説キ、クレベリンハ本型ヲ躁鬱病ノ基本状態トナシ同人ノ家系ニ同病者アルカ又ハ斯カル病質者ガ將來同病ヲ發スルモノアリト説キ、コレヲ躁鬱病ト密ナル關係アルモノトセリ。サレドシュナイデルハ然ラザル人ニテ本類型者モアレバトテ同説ニ賛セズ。尙、氏ハ原因ヲ討査セズ單ニ心理的ニ考査シテ爽快型トナセリト云フ。

〔治療〕 本症ハ 7-8 歳頃ヨリ初兆ヲ示スモノアレドモソノ性癖ヲ破瓜期ノ頃ニ至リ始メテ顯著ニ示ス例多キヲ以テ、ソノ頃ヨリ注意シテ環境ヲ良クシ、惡友ヲ遠ザケ、殊ニ酒色ニ親シマザルヤウ馴致シ、適當ナル作業ヲ課シ、訓育・看護・保護・鍊成ヲ意ラヌヤウ心掛ク可シ。

### 第二 憂鬱症 Depressive.

憂鬱症

生來、沈ミ勝テニテ勇氣乏ク、自己能力ハ劣ルト考ヘ、大ナル失策アリト思ヒ(劣等感)、一切ノ責任ガ凡テ皆己ニアリト感じ、ソノタメ

過度ノ心痛・憂愁・苦慮・煩悶ヲナスニ至ル人アリ。智能ハ普通ナルモ時ニ學力優リ優秀ナル者アリ。コノ種ノ人ハ責任感大ニシテ小心・綿密ナルタメ勉強家デアリソノタメ成功家タル例多シ。斯カル性格ハ一生ニ互リ同様ナルモ其ノ間多少消長スルモノアリ。殊ニ破瓜期、更年期ニ於テ特ニ顯著トナリ、躁鬱病ノソレニ移行スルモノアリ。

シュナイデルハコレニ元氣ナキ型 Schwermütige, 不機嫌型 Mißmutige, 妄想型 Paranoische ナル亞型ヲ別チ、合併症トシテ酒精中毒、神經質、輕キ精神病アリト云フ。

身體上ニハ往々頭痛、頭壓、全身倦怠、疲勞感、食慾減退、不快感覺、不眠、嗜眠、震顫、筋肉搖擗、胃腸異常、殊ニ慢性消化不良ヲ覺ユルモノアリ。タメニ神經衰弱・又ハ神經性消化不良ト誤診セラルル場合モ甚、多シトス。

〔治療〕 早クヨリ不要ノ心配ヲ避ケシメ、安心シテ働クヤウニ訓育シ、適度ナル作業ヲ課シ、性情ニ叶ヘル教育・職業ヲ興フ可シ。合併症ノ現ハルトキニハソレニ對スル適當ナル處置ヲ怠ル可カラズ。

### 好爭症 第三 好爭症 Die Streitsüchtigen.

〔定義〕 クレベリンハ僅微ノ事ニモ不滿ヲ感じ、ソノ折ハ少シノ我慢モ出來ズ人ト爭フコトノ烈キ病質者トシテ本型ヲ特設セリ。サレド、他ノ學者ハ似タル特徴ハひすてりー、神經質、躁病性病質等ノ人ニモアリ、要素性類型トシテハ之ヲ特ニ區別セザルヲヨシトスル旨ヲ説ケリ。

〔症狀〕 智能ハ略、普通ニ發達スレド他人ノ缺點ヲ指摘スルニ妙ヲ得、記憶ハ概シテ確實ナルモ、感情ニ支配セラレ易ク、殊ニ己ガ氣ニ入ラヌコトハ凡テ己ニ都合ヨキヤウニ考ヘ込ミ、ソノ爲メ意外ナル追想錯誤ヲ招クモノアリ。判斷ハ無關係ナル事ニハ普通ナルモ自己ニ關係セル事柄ニハ公平ナル能ハズ、殊ニ自己ニ不利益ナル事ニ對シテハ忽、感違ヒラナシテ憤リ、不平ヲ鳴ラシ、ソノタメ時ニハ不當ナル權利ヲ主張シ、復讐ノ念ヲ構ヘ、些々タルコトニモ放任スルコト能ハヌモノアリ。

氣質ハ感情ニ馳セ、激シ易ク、疑ヒ深く、己ノ考ニ悖ルコトニハ深クモ考ヘ

ズシテ忽、排斥ス。時ニハ他人ガ故意ニ己ヲ陷穿スト邪推シ、自己ノ主張ヲ飽マデ提ゲテ喧嘩・論争スルニ至ルモノアリ。コノ場合ニハ義理外間ヲモ辨ヘズ、人前ヲ憚ラズシテ盲進シ、或ハ利害ヲ打算セズ自己ノ財産ヲモ擲チテ爭議スルモノアリ。又、往々ソノ考ガ妄想ニ近キ考ヘトナルコトアリ。斯カル場合ニハ假性好訴病 Pseudoquerulanten ナル名アリ。

〔経過〕 是等ノ性癖ハ一生ヲ通ジテ略、同様ナルベキモ、新境涯ニ移ルカ、靜養セシメラルカ、殊ニ信賴セル人ヨリソノ不心得・迷誤ヲ徐々ト説キ論サルレバ一時安穩トナルコトアリ。

〔診斷〕 短時日ノ觀察ニテハ神經質、輕躁病、ひすてりート區別シ難キモ、一生ヲ通ジ觀察スレバ上記ノ如キ特異ナル個性トシテ察知セラルルモノナリ。

〔療法〕 早ク病的ト氣附ケバ少年ノ頃ヨリ特殊ノ療法トシテ教育的處置(治療教育 Heilpädagogik)ヲ受ケシム可シ。興奮烈シキトキニハ一時入院ノ止ムナキコトアリ。サレド餘リ久シキニ亘ル入院ハ却テ不得策ナル例多シ。

### 第四 興奮症 Die Erregbaren. 爆發症 Explosive.

興奮症  
爆發症

〔定義〕 或刺戟ニ對シ激ク興奮シ、ソノ折ニハ行動常規ヲ逸シ、往々自他ノ危險ヲモ招致スルコトアル異常性癖者ナリ。

クレベリンハ特ニ平素ハ甚、溫和ナルニ關ラズ激怒スレバ烈キ興奮ニ陥ルモノノミヲ興奮性トシ平素ヨリ多少興奮シ居ルモノハ體質性興奮、慢性躁病ナドトシテ本型ヨリ別ニスルヲヨシトセリ。

〔症狀〕 理解力ハ普通ナルモ時ニハ劣リ、稀ニハ優レタル者アリ。本症ニ固有ナル點ハ感情激シ易ク、激スレバ甚、烈ク、ソノタメ意識濁濁シ、人ヲ傷害シ火ヲ放ツナドノ行動ニ出ヅルコトアリ。殊ニ婦人ニテハ嫉妬ニ驅ラレ、激シテ夢中トナリ暴行スル例多シ。ソノタメ犯罪行爲トナリ處刑セラルル例少ナカラズ。但、ソノ興奮ハ時間短ク、長クテ數時間ヲ出デザルヲ例トス。平素ノ氣分ハ勝レズ不快ナルモノアリ。サレド善惡ノ差別ヲ缺ク悖德症ト異ナリ自己ノ行ヘル暴行ガ不良ナリトノ認識ヲ缺クモノナシ。時ニハ 1—2 ノひすてりー症狀、夜間ノ幻覺、昏倒、發作、皮膚感覺異常、視野狹小、興奮、半身麻痺等アリ。

斯クテヒテリトノ區別ハナシ難キ例多シト云フ。

本症者ヲ興奮セヌ穩ナル時ニハ人ニ接シ溫和ナルモノトシ、平素ヨリ興奮セル者ハ體質興奮症トシ區別ス可キ旨ヲ説ク人ト之ヲ區別セヌ人トアリ。

〔合併症〕 酒精中毒、精神薄弱、殊ニ重症癡愚、病的意志薄弱トノ合併多シ。

〔原因〕 クレペリンガ本症トセルモノニハ男4女6ノ割ニテ女子ニ多ク、殊ニ25歳前後ノ女子ニ多シ。40歳以後ノ人ニハ著ク減ズト云フ。

〔診断〕 激シ易キ點ハヒテリ、躁鬱病、ソノ他ノ變質者ト似テ時ニハ其等ノ境ヲ定メ難キ例アリ。

〔治療〕 幼時ヨリ本症ナリトノ診断ヲ確メラレバ適當ナル教養ヲ施ス可シ。平素ノ生活ハ安穩ニシ、身體ヲ強健ニスベシ。激怒セル時ニハ外界ノ刺激ヨリ遠ザケ、出來得可クンバ隔離・就褥セシメ、或ハ持續浴・ひおおちん注射等モ試ミラル。一時入院ノ要アルコトモアリ。

無情症 第五 無情症 Gemütslose. 悖德狂 Moral Insanisty. 反社會症 Antisoziale

〔歴史〕 1825年リチャード Prichard ガ初メテ獸智ノ缺損ナク道德感情ノミ悖德狂 缺クモノアリト思ヒテ悖德狂 Moral Insanisty ト名ヅケ、之ヲ光神アリテ色神ノミヲ缺ク色盲ニ一致スト唱ヘタリ。ソノ後、同名ハ弘ク世ニ喧傳セラレスカル人ノ存在ヲ注意セラル。但、ソノ後、徳力ノミ缺ケテ智能全ク不足ナキモノガ存在スルヤニツキテ疑惑生ジ、又、悖德狂ナルモノヲ一種ノ病型トシテ認ムベキコトニモ疑起リ、是ハ他ノ變質者・精神病ニ現レル1症狀ニ止マコトヲ認メラルニ至レリ。偶々ロムプロゾー Lombroso ガ犯罪者中ニハ生來性ナルモノ多ク、之等ニハ身體ニモ特殊異常型アリトシ生來犯罪人 Delinquente nato ナル名ガ興ヘラル。斯クテコノ種ノ異常性格者ノ存在ハ愈、學者ノ注目スルトコロトナリ。クレペリンハ之ヲ反社會症 Antisoziale ト名ヅケ他ノ學者ハ道義感情ノ鈍キモノトシテ感情鈍麻症 Gefühlstumpfe 又ハ無情症 Gemütslose トモ名ヅクルニ至レリ。即、同情心・羞恥心・名譽心・後悔心ナク、良心缺乏スルモノトセリ。コノ類型ニ屬ス可キ人ノ性行ハ個人ニヨリ異ナレルトコロ六ナルモ大略ハ以下記述スルガ如キ特徴ヲ示スモノナリ。

〔症狀〕 普通ノ領解・記憶ニハ缺クルトコロナク、判斷モ多少偏レル

トコロアレド、普通ノ智能ハ痴愚ノ合併ナキ限り略、尋常ナリ。サレド高等ナル能力ニハ足ラヌトコロ多キガ如ク殊ニ全般的・綜合的・概念的の智能、先見ノ明・深慮等ニハ缺點アルモノ多シ。只、頻々繰返ヘシテ行ヘル犯罪所業ニハ練磨・感興ノタメ巧妙ナルモノアリ。尙、ソノ多數ハ小兒期ヨリ學校ニ行クヲ嫌ヒ怠ケ者ナリ。

感情界ニハ善惡ノ感乏ク、自己ノ不良ヲ感セズ、同情ノ念薄ク、往々他人ノ苦シムヲ見テ樂ミ、タメニ同僚・動物ヲ虐待スル癖アリ。從テ自由・放逸ニシテ道義・廉恥・報恩ノ情ナク、幼時ヨリ父母・兄弟ヲ蔑ニシ、鞭撻ニヨリ一時ハ長上ニ服從スル風ヲ示スモ永續セズ。慚愧・改悟ノ情ハ有ル如ク見エテモ外面上ニ止マリ内心ヨリソレハ無キヲ例トス。ソノ爲メ一度ビ爲セル犯罪ハソノ後トモ頻々ト行ヒ一生涯獄内生活ヲ繰返スモノ多シトス。又、或モノハ復讐ノ念強ク、誘惑ニ對スル抵抗少ナク、正業ニ就クヲ好マズ、自家ノ生計ヲ意トスルノ念乏シ。中ニハ謝恩ノ念ナク、他人ヨリ受ケタル親切ヲモ衷心ヨリ感謝スル情無ク、時ニハ却テ恩ニ報ユルニ仇ヲ以テスル行動アリ。尙、往々虚榮ニ富ミ自己ノ不良行爲ヲ深く誇リ、親分肌ヲ示シ、僅ナル事ニ不滿不機嫌トナリ、怒レバ忽、暴行ス。濫費癖相當ニ多シ。サレド行動ハ常ニ粗野・獍猛ナリト限ラズ、時ニハ却テ從順、一見處女ノ如キモノアリ。又、心氣性ニテ己ガ病ヲ苦ニシ身ヲ大切ニシテ憶病・細心ナルモノモアリ。

〔身體症狀〕 從來、犯罪者ニハ特別ノ人相アリト云ハレタルモ、之ハ畢竟スルニ低能、精神分裂病ニ多キ變質徵候ニ過ギザルナリ。時ニハヒテリ一症狀、就中、感覺異常・痙攣・膝反射亢進・足間代等ノアルコトアリ。

〔合併症〕 本症者ニハ精神薄弱・意志薄弱・酒精中毒（シュナイデルハ本症者ノ64%ニ之アリト云フ）・興奮症・自己顯示症トノ合併多シ。

〔經過〕 斯カル人ノ多クハ幼時家出ス。殊ニ父母ヨリ己ノ意ニ適ハヌヤウノ言辭ヲ以テ訓戒サルレバ慚ラズトシテ家出スルモノ多シ。ソノ後ハ諸所ニ寄寓シ果テハ轉々流浪シ、乞丐・掏摸・小盜群ニ入り、或ハ犯罪シ、殊ニ感情ニ驅ラレテ殺傷、乃至ハ之ニ類スル暴行ヲ敢テスルモノ多シ。而モ入獄シテハ溫柔ナル

職業性犯罪者

者アレド、又、不遜・抵抗勝ノ人トナリ、或ハ外見上遊惰、意志弱ク、殊ニ身體上ノ苦痛ニ對シテ耐エ忍ブ力ガ甚、弱ク、常ニ己ノ病ヲ苦ニシ、心氣性トナルモノ・ひずてりー性ナルモノアリ。斯カル人ガ一旦、犯罪セバソノ後ハ累犯性強ク所謂、**職業性犯罪者** Berufsverbrecher ナル型ヲ示スモノ多シ。斯クテ本症者ハ少年期ニテ感化院ニ入ルモノ多キモ感化院ニ入レル者ガ皆此種ノ人ニハアラス。感化院ニ收容セラレ居ル者ノ  $\frac{3}{4}$  乃至  $\frac{1}{2}$  ハ病的ニシテソノウチ教化不能者ハ僅ニ  $\frac{1}{10}$ — $\frac{1}{12}$  ナリト云ハル。尙、幼年犯罪者ノ多數ハ低格・癡愚ノ被動性犯罪者ニシテ、特ニ孳猛・危険ナルモノハ興奮性癡愚、體質性興奮症、乃至ハ此種徳性缺乏症者ナリ。

日本指導會橋本勝太郎中將主宰ニテ自昭和 12 年 1 月至同 13 年 8 月期間ノ内ニ荻野博士ガ主トシテ調査セル少年 100 名ノ調査報告ニヨレバ病的な人格 46%、魯鈍・兼、病的な人格 25%、魯鈍ニテ性格異常著シカラヌモノ 2%、明白ナル癡愚 5%、殘餘 23% ハ多少性格缺點アルモ直チニ病的ト斷ズルヲ得ヌモノトサレ更ニ智能ガ甚、劣ルモノ 32%、誰ガ診斷シテモ精神薄弱ト容易ニ見做サルモノ 5%、鈍感型意志不定症ハ智能劣等者ニ多ク、懦弱性?意志不定症モ智能低劣者ニ多シ。即、魯鈍・癡愚各 40% ニコレヲ見ル。然ルニ智能正常ナル病的な性格異常者中ニハ同症僅ニ 7.3% アルノミ。更ニ生物學上類型トシテハ、癡癩體質 8、分裂病質 1、腦炎後後胎症? 1、類癡癩體質? 2、分裂病質? 3、循環病質? 2、犯罪ガ素質ニ因ルモノ(A)30%、主トシテ素質ニヨルモノ(Am)48%、素質ト環境ニヨルモノ(A+M)13%、主トシテ環境ニヨルモノ(a+M)8%、環境ノミニ因ルモノ(M)1%ナリ。而テ環境ニ主因ヲ認ム可キ少年ハ稍、異常?乃至ハ精神薄弱ニ限ラル云々。

〔原因〕事實トシテ父母ニ穴酒多ク、精神病者ハ少ナシ。私生兒ハ多シ。不完全ナル教養ヲ受ケタルモノ、所謂遺棄兒 Verwahrloste モ多シ。本態ハ精神界ノ最高等ニ位ス可キ徳性ノ發達足ラザル精神發育不良者ト解セラル。双生兒研究等ニヨリテモ性格ノ遺傳關係ハアルヲ免レヌ如シ。

〔診斷〕幼時ヨリ長上ニ從ハズ、好シテ婦女・動物ヲ虐待シ、虚言ヲ弄シ、悔悟ノ念ナキモノハ概ネコノ種ノ人ナリ。他種ノ悖徳者、例之、癡愚・腦炎後等ノ性格異常、他種病質者、及、無教育ノタメノ不良少年トハ區別ス可シ。マタ教育

ナキ爲ニ不良少年トナレル者トモ差アリ。即、本症者ニテハ悖徳症狀夙ク、且、自然ニ現レ、不良性・猛悪性殊ニ顯著ニテ賞罰ヲ以テ訓フルモ效ナク、ソノ教化不能ハ年ト共ニ進ミ、時ニハ智能多少缺損アリ、身體ニ變質徴候、痙攣・遺尿等ノ神經症狀ガ存在スルコトヲ以テ特徴トス。但、本症ハ癡愚、癡癩、ひずてりー等ト合併・又ハ移行シテ病質類型ヲ判然ト指定シ難キ場合頗、多シ。又、成長シタル人ニテハ病的な詐欺者、體質性興奮、意志薄弱症、癡愚、慢性酒精中毒、單一癡呆、老耄癡呆、悖徳症トノ鑑別ヲ要ス。之ニハ本悖徳症ニテハ生來性ニ徳性ノ缺乏ガ著キコト、他症狀ガ悖徳性ニ比シテ著明ナラスコト等ヲ以テ區別セラルモノトス。

〔豫後〕本症ハ一種ノ發育制止者ト考フベキ病的な性格ナレバ同一性格ガ一生涯ノママ續クモノニテ普通ノ教育・訓戒・刑罰等ニテハ本來ノコノ病質ハ治ラザルモノトス。殊ニ刑務所ニ入りテハ他人ノ惡感化ヲ受ケ易ク時ニハ自己ガ囚人タリシヲ得意トスル弊ヲ招キ易キ點アリ。斯クテ斯カル人ヲ取扱フニハ幼時ヨリ夙ク其ノ境遇ヲ良クシ一生涯ヲ善良・安穩・無事ニ送ラシ専ラ作業ヲ課スラ可トス。即、之ニヨリ初メテ同人ヲ犯罪ニ陥ラシムルコトナキヤウ未然ニ防ギ得ルナリ。不良行爲中、窃盜・虚言ハ比較的治リ易シ。誘惑ニ因ル不良行爲・衝動ニヨル不良行爲モ豫後良シ。無情症ニシテ眞ニ同情心ノ發露ナキモノ、殊ニソレニ智力不良ヲ伴フモノ、20 歳以上ニ達シテモ尙、精神發達不全ナルモノ、環境ノ不善・飲酒癖等アルモノ、精神病の負荷ガ濃厚ナルモノ、殊ニソノ近視者ニ精神分裂病・癡癩、又ハ白癡アルモノハ豫後不良ナリト云フ。後者ヲ Parathy-mie ト稱シテ特殊精神異常型ト解スル人アリ。

〔治療〕生來犯罪者ノ 70-80% ニハ父母ガ大酒家ニシテ、本人私生兒ナド多ケレバ此等ノ豫防對策ガ第一義ナリ。即、本人ハ早クヨリ寛嚴宜キヲ得タル教育ヲ施スヲ肝要トス。餘リ嚴キ所罰ハ善良ナル行爲ヲ稱揚スルコトヨリモ結果惡シト考フベシ。一般ニ境遇ヲ善クシ同情ヲ以テ善導シ、他人ト共同作業ヲ爲スベキヤウニ訓育シ、虚言・自恣ノ念ヲ抱カシメザルヤウニ仕込ミ、必要アラバ若年ヨリ不良ノ徒ト交ハラヌヤウ特定ノ場所ニ收容シ、必、職業ヲ興へ、氣質ガ陶冶スルマデ保護スルヲ必要トス。犯罪ニ對シ短期所刑ハ何ノ役ニモ立タズ、單ニ



禁錮ヲ繰返スノミニテ效果ナキコト多シ斯クテ不定期刑合理的トス。酒癖不良ノ人ニハ酒ヲ飲ムコトヲ絶對ニ禁ズベシ。優生法モ或種ノモノニハ試ミラル。

意志薄弱症  
意志不定症

#### 第六 意志薄弱症 Willensschwäche, 意志不定症 Haltlosen.

〔定義〕 生來性ニ意志ノ頗、弱キ者ニシテ、主徴ニハ努力心ナク何ヲセムトスルノ意志・慾望甚、乏キ型、仕事ニ根氣ナク、長續キセス、耐忍力乏シキ型、移氣甚シク、周囲・環境ソノ他ノ狀況ニヨリ容易ニ影響ヲ蒙リ、意志轉ゼラレ易キ型ナドアリ。

〔症状〕 叡智ノ障礙ハ主ナラズ、時ニ空想ニ富ミソノ爲メ容易ニ虚言ヲ弄スル人ナドアレド普通應對ニハ變ルコトナシ。理解・記憶モ尋常ナリ。只、高等ナル智能ニ缺點多ク、就中、判斷ガ淺薄・偏頗、概念ノ構成不充分ニシテ、算數ノ念・深キ道理ヲ辨フル力ニ足ラス所多シ。觀察・思考ハ粗漏・輕卒ニシテ、深キ洞察心ヲ缺クモノモ多シトス。

氣分ハ尋常ナルモノ多キモ、氣樂・爽快ナル人モ多シ。但、時ニ悲哀性ニシテ不仕合ト強ク感じ、煩悶・苦悶・自殺ヲ念フモノアリ。尙、一般ニ感情變化シ易ク、時ニハ感激性・刺戟性、又ハ原因ナキ抑鬱ヲ示シ、明白ナル動機ナクシテ衝動行動ヲ敢テスルモノアリ。殊ニ僅微ナル動機ヨリ突然家出シ自殺スルモノナドモ多シトス。性行ハ自恣ナルモノ多ク、獐猛ナル行動ハ興奮症・悖德症ノ合併ナキ限り少數ナレド同症トノ合併ハ多數アルモノナリ。

〔身體症狀〕 神經衰弱様症狀、殊ニ膝反射亢進、睡眠障礙、振顫、神經性消化不良、眩暈、失神等モ多ク、ソノ他ニひすてりー性發作、ひすてりー性特徴モ亦、少ナカラズ。

〔經過〕 幼時學校ニ居ル頃ヨリ早くモ注意散亂、輕卒ナル風ヲ現シ、忍耐ヲ要スル仕事・規則正シキ作業ニ堪ヘ難ク、秩序ナキ・根氣ナキ懶怠者トナルヲ例トス。但、短時間ノ觀察ニテハ小伶俐ナル人・才物ト見ユルモノアリ。サレド久ク交際セバ意志薄弱ナルヲ容易ニ看取セラル者多シ。長ジテ後モ同様ナル性格ヲ以テ世ヲ送り、ソノ間、外界ノ誘惑ニ乘ゼラレ易ク、目前ノ考ニ身ヲ處シ、將來ヲ慮ルコトナク、而モ外觀ヲ飾リ金錢無キニ不要ノ物品ヲ購ヒ心ノ向クママ

ニ遊山シ、當テモナキ借財ヲナシ、人ニ驕リ、身分不相應ノ贅澤・濫費ヲ敢シ、ソノタメ生活苦ク容易ニ犯罪ニ陥ル例多クタダ僅ニ良キ保護者アリ監督宜シキヲ得ル所ニ居住シ、就中、適當ナル仕事アル時ハ穩ナル生活ヲ爲シ得可シ。然ラズバー生ヲ過ツモノ多シトス。又、斯カル人ニハ往々心氣症著キモノアリ。即、ソノタメ身體故障ヲ深ク感じ、之ニ打勝ツ勇氣ナク、我慢出來ズ、穴袈裟ニ言ヒ立テ、僅ノ病ヲ口實トシテ職ヲ休ムモノ多シ。同様ニ僅ノ事故ヨリ職ヲ變ヘ、ソノ後一時ハ新シキ仕事ニ熱中スルモ久キニ堪ヘズ、殊ニ少シ困難ナル仕事・責任アル境遇ニ遭遇セバ忽、コレヲ退避ス。從テ初メニハ非常ナル決意ヲ以テ始メタル仕事モ直グ飽キテ顧ミザルモノ多シ。又、斯カル人ハ保養ト稱シテ目途定カナラヌ不要ノ旅行ヲ企テ、酒ニ親シマバ容易ニ習慣トナリソノ癖去ラズ。殊ニ多クハ忽、大酒ニ進ミ酒癖悪クナリ酒ノ上ニテ亂暴シ、時ニ假性酒病ノ狀ヲ呈スルモノアリ。又、女ノ味ヲ覺エテハ之ニ悻ミ、荒淫・惑溺、時ニ多數ノ婦女ニ關係シ、金ノアル間ハ蓄妾シ。或者ハ特ニ女子ノ甘心ヲ求メ之ヲ誘惑スル術ニ巧妙ナルモノアリ。從テ働カズシテ女ニ養ハルルモノ多ク、而モ嫉妬心深ク、男女間ノ爭論絶間ナキモノ亦、多シトス。

斯クテ本症者ノ一生ヲ末期ヨリ觀察スレバ纏マリナキ經歷ヲ辿ルモノ多ク、境遇不良ナレバ失業者・懶惰者・流浪者・常習窃盜者・詐欺者トナリ、女子ニテハ不身持・不行跡ノ行爲ヲナシ淫賣婦ニ身ヲ落スモノ多シ。更ニ自殺ヲ企テ、時ニ狂言自殺、笑談半分ノ情死、相思者ヲ笑談半分ニ絞殺セントスル試ナド屢認メラル。斯クテ本症者ニ情死多クソノ方法ニハ中毒死・縊死ヲ多數トス。

〔合併症〕 本症者ニハ濫酒、異常酩酊、病的虚言癖、神經質、ひすてりー、殊ニ爆發症ナドヲ合併スルモノ多シ。犯罪シテ刑務所ニ入レバ心因精神病ヲ發シ、昏迷・錯亂等ニ至ルモノモ多數アリ。

〔豫後〕 適當ナル管理者ノ有無・環境ノ如何、家庭ノ狀況ニヨリテ本症ノ豫後ニハ大差アリ。若、家庭不良・境遇不可ナラバ容易ニ犯罪シ、又、一旦、犯罪セバ反復・繰返シテ累犯性ヲ帶ビ、女子ニテハ本症ノタメ賣笑婦トナルモノ多シ。概シテ飲酒ニヨリテ不良ナル性格ニ陥ルコトヲ普通トス。

〔病理〕 本症ハ一種ノ生來發育不全ト解スベシ。

〔治療〕 早くヨリ嚴格ニシテ規則正シキ生活ニ身ヲ慣ラシ、義務・責任ノ感

ヲ育成シ、自我心ヲ抑制スベシ。同ク身體ノ抵抗ヲ昂メ、作業能力ヲ増進スルニ努メ、不良ナル誘惑ニ誘ハレザルヤウ、又ハソレニ溺レヌヤウ注意シ、放埒ナル生活ヨリ遠ザカリ、環境ヲ良クシ、模範タルベキ人ニ接觸セシムベシ。時ニハ永久他人ノ監督・社會ノ監視ヲ要スルモノアリ。

### 病的虚言者 第七 病的虚言者 Die pathologischen Lügner.

〔定義〕 デルブリュック Delbrück ガ空想性虚言症 Pseudologia phantasticaト記シタル或種病質者類型ニシテ主徴候ハ異常ニ旺盛ナル空想ト其ノ考ガ眞實ナリヤ否ヤノ識別乏ク時ニ是ガ全然不能ト見エ、或ハ人ヲ欺カムトスル興味モ多少ハ存在スルカノ如クニ見ユルモノナリ。クレペリンハ本症者ニハソノ他ニ意志不安定症ヲ伴ナフト云フ。但、本症ヲ爽快型又ハ自我顯示型ノ一亜型トシテ獨立セル要素性類型トハ認メザル人モアリ。

〔症状〕 一見伶俐・又ハ才人ノ如クニ見エ、殊ニ對話ノ仕方ハ活潑、言語ハ流暢ニテ淀ミナク、中ニハ嘗テ讀ミ覺エタル歴史・地理・工業・藝術ナドノ事實ヲ語り、ソノ話ニハ往々術語ヲ交ヘ或ハ文學句調ヲ使用シ又ハ外國語ヲ操リ、文辭相當巧妙ニシテ文筆才幹アル人ノ如クニ見ユル例アリ。サレド深ク之ト對話シ又ハ永ク交際シテ同人ノ動作ヲ穿鑿セバ以上ハ單ニ皮相ノ外觀ニ止マリ、其ノ實ハ無學ニシテ不消化ナル言辭ヲ無意味ニ混合セテ話スニ過ギズ、知識内容甚ハ淺薄ナガラ存シ、時ニハ小説ヲ書キ、文章ヲ綴ルニ稍、堪能ナルモノアリ。少年時代、就中、就學時代ニハ物ヲ覺ユルコト容易ナルモ並強セズ、根氣ナク、疲レ易ク、努力スル意志乏ク、注意散リ易ク、困難ナル作業ニ打勝チテ遣リ徹ス根氣ナキモノ多シ。從テ學校ニテハ試験ヲ避ケ、世ニ出デテハ責任アル職務ニ従事セズ、タトヒ素質ニ於テハ多少優レタル點アルモ之ヲ利用シ・努力セムトスル念ヲ全く缺クモノアリ。

他ノ固有ナル點トシテハ空想力ノ異常ニ豊富ナル點ナリ。即、之ニヨリ常ニ空想シ、空想ノママニ想ヲ馳セ、而モ忽、之ヲ事實ト信ズ。時ニ虚事ナルヲ自覺シ愚ナル事ヲ考ヘタリト思ヒテモソノ反省永ク續カズ。忽、元ノ空想ト事實トヲ混ゼ合シテ話スモノナリ。時ニハ事實ト空想トノ間ニ位スベキ特殊ノ考ヲ持ツモノアリ。要スルニ同人ノ考ヘ方ニハ一種固有ノ形アルモノト可シ。コノ病

的思考ノ發現ニハ感情ノ影響モ大ト見エ、自己ニ關係アルコト己ノ考ヘタル事柄ニハ虚言多ク、ソノ際、己ヲサモ偉大ナル人ト伴リ見セシムル場合多シ。例之、或地ニテ何々ノ講習ヲ受ケ、何々ノ修業ヲナシ、學位ヲ得、醫師・外交官ナリト欺キ、或ハ多クノ發明ヲナセシト詐稱ス。尙、ソレニハ確信アル如ク述べ、中ニハ妄想様色彩アリト見ユル場合モアリ。但、眞ノ系統アル妄想ハナク、寧、妄想様空想、又ハ内容ノ雜然タル法螺ニ過ギヌ如キ觀ヲ呈ス。サレド眞ノ妄想トノ境界ガ判然セヌ場合モ多キナリ。

氣分ニハ爽快、諧謔、おどけ、人ヲ喜バス風アリ。時ニ演劇様、乃至ハ誇大性言辭ヲ弄シ、或ハ狂言自殺ノ企圖ヲ示スモノアリ。感情ハ概シテ變化シ易ク、而モ往々感情ニ脆ク、僅ノ事ニ怒リ、忽、我儘・輕卒ナル行動ヲ敢シ、義務・責任ノ感ニ乏ク、時ニ物腰丁寧ニシテ交際上手ナル態度ヲ現シ、又ハなまいき・無恥・粗暴ナル動作ヲ示ス人モ多シ。ソノ一生ハ常ニ安逸ヲ求メテ落付キナク、一箇所ニ暮スコトナク、常ニ職ヲ換エ、定職ナシ。更ニソノ甚シキハ一定ノ職ニ就クコトヲ嫌ヒ、種々ナル計劃ヲ企テ、一定ノ収入ナキニ濫ニ人ニ驕リ、贅澤ヲ盡シ、勢ヒ金錢ニ窮シテ犯罪ニ陥ルモノ多ク、概シテ流浪ス。

〔經過〕 多數ノモノハ幼時ヨリ家出・窃盜シ、男子ニテハ詐欺・窃盜・詐欺取財・公文書偽造・偽誓・脅喝・風俗壞亂・抵抗・侮辱・家庭不和・無錢遊興・濫買・無錢飲食・家賃不拂・保證金詐欺・結婚詐欺・病院詐欺・慈善會詐欺ナドノ犯罪ヲ行フモノナリ。色情ノ盛ナルモノ亦、少ナシトセズ。ソノタメ異常ナル嫉妬心・病的性慾倒錯ヲ示スモノモアリ。尙、經過中、僅ノ原因ヨリ心因精神病ヲ發シ易ク、サナクトモ感情ニ激シテハ忽、興奮・意識濁濁・錯亂ヲ呈シ、或ハ夜間ニ幻覺ヲ感ズコトアリ。但、之ニハひすてリーノ合併多シ。從テガンゼル症狀・癡癩様狀態ヲ示スモノモアリ。殊ニ拘禁後ニハ幻覺、追跡妄想、誇大妄想、好訴性色彩、興奮、昏迷狀ヲ示スモノ多ク、ひすてリー發作、痙攣、失神發作、痛覺脫失、視野狹小、突然ノ麻痺ヲ示シテひすてリートノ合併アリト考ヘラレル場合モアリ。

〔豫後〕 變質者ハ一般ニ老年トナルニ從ヒソノ病的症狀減ズルモノ多ケレバ本症モ亦、然カルベク推測セラルレド一生同様ナルモノモナキニアラズ。

### 第八 色慾倒錯症 Die geschlechtlichen Verirrungen.

色慾倒錯症

〔病型〕 本症中、不自然ナル方法ヲ以テ性慾ヲ充タスモノニハ病的手淫、陰

部暴露, 身體・物品・分泌・行動ニ對スル性慾異常, 同性愛, 殘忍ナル諸種行動ヲ以テ色慾ヲ助ケ・又ハ補フモノ, 動物ニ對シテ色慾ヲ滿スモノ (獸姦 Bestialität, Sodomie), 屍體ヲヨリテ色慾ヲ覺ユルモノ (屍姦 Nekrophilie)等アリ.

病の手淫

I. 病の手淫 Pathologische Onanie ニハ發スル時期ガ異常ニ夙キカ, 又ハ其ノ度ガ烈キカ, 乃至ハ之ガタメ時ニ自然ノ交媾ヲ嫌ヒ手淫ノミニヨリ性的快樂ヲ貪ルモノ, 或ハ淫事ヲ空想シテ快感ヲ覺ユルモノアリ (精神性手淫 Psychische Onanie). 或モノハ自己ノ身體ニ對シテ性的快感ヲ覺ユルモノアリ, ソノ1ニ己ガ姿ヲ鏡面・水面等ニ寫シ之ヲ視テ喜ブモノアリ (Narzismus).

精神性手淫

陰部暴露

II. 他ニ陰部暴露 Exhibitionismus トテ己ガ陰部ヲ露出シテ之ヲ他人ニ示シ喜ブモノアリ, ソノ機會ニ手淫ヲ行フモノモアリ, 殊ニ婦人ノ居ル場所ニテ斯カル所業ヲナスモノ多シ. 白癡, 精神分裂病, 癡病ニ多ク, 殊ニ後者ニテハ朦朧状態ニ多キモマタ意識清明ノトキ他ニ何等症狀ナクシテ本症ノミヲ示スモノ病質者ニモアリ, 類スルモノトシテ婦人ノ集合席上ニテ淫猥ナル言辭ヲ弄シ, 淫猥ナル書物ヲ音讀スルモノアリ.

ふちしすむす

III. 對物品淫樂症, 即, ふちしすむす Fetischismus ニハ a. 身體ノ一部, 例之, 婦人ノ眼・手・足・毛髮等ニ接觸シテ喜ビ, b. 身體ニ觸レタル物, 例之, 下着・手帛・靴等ニ對シテ性的快味ヲ覺ユルモノ, c. 分泌物, d. 姿勢・動作, 例之, 跛ヲヒキ歩ク姿, e. 異常ナル形態, 殊ニ畸形ヲ見テ性的快樂ヲ覺ユルモノナドアリトス. 尙, 時ニハ殘忍性色慾異常ト合併シテ途上ニテ少女ノ髻ヲ切り美裝セル婦人ノ衣服ヲ大便ニテ汚シ, 精液ヲ灌ギ, 或ハ婦人ノ所持品ノミヲ竊盜スルモノ等アリ.

精神兩性症

男性相愛症  
女性相愛症

IV. 同性愛・同性相愛症 Konträre Sexualempfindung od. Homosexualität トハ同性人ニ對シ異性人ニ對スル如キ性的興奮ヲ覺ユルモノナリ. 之ニハ異性人ニ對スル快感存スルト共ニ同性人ニ對シテ性的快樂ヲ覺ユル兩性的ナルモノ (精神兩性症 Psychischer Hermaphroditismus, Bisexualität)ト, 同性人ノミヲ慕ヒ異性人ニ對スル快感全ク無キモノトアリ. 男子ニシテ男子ヲ慕フヲ男性相愛 Urning, 女子ニシテ女子ヲ戀フヲ女性相愛 Tribadie ト名ヅク, 鷄姦 Paederastie ガ之ニヨリ生ズルモノアリ.

斯カル性慾異常ハ生來性, 殊ニ病的ノモノト, 地方的風俗・傳說的嗜好トシテ

現ルモノ, 竝ビニ代償性ニ現ルモノトアリ. 例之, 兵營・遠洋航海・寺院等ニテハ男性愛, 尼寺・女優・花柳界等ニテハ女性愛多シ. 但, 其等ハ代償的ノモノ多ク, 少數ニ生來性・又ハ病的ノモノアルノミ.

本病質者ノ多クニハ他種性格異常ヲ伴フ. 例之, 或モノハ感情ニ脆ク, 飽キ易ク, 感情過敏・意志薄弱, 空想ニ耽ルナドノモノアリ. 又, 甚シキニ至リテハ受身トナルベキ男子, 即, 女子ニ代ハルベキ男子 (被動性色慾倒錯者 Urning)ガ往々婦女子ノ如キ舉動・粉飾ヲナス者アリ (變性女裝者 Effeminitio). 變性女裝者尙, 之ニハ單ニ外見上ノ粉黛・裝飾ニ於テ女子ヲ裝フノミナラズ, 體格ニ於テモ女子ノ如キ體格ヲ具ヘテ骨細ク脂肪ニ富ミ腰圍ノ大ナルモノアリ (變性女子 變性女子 Androgynen). 之ト同ク女子ノ能動性色慾倒錯者 Urninde ニシテ男子ノ如ク聲音太ク言葉荒々シク肩ヲ怒ラセ人前ニテ煙草ヲ煙ラセ酒ヲ飲ミ大言壯語スルモノナドアリ (變性男裝者 Viraginität, Mannweib). 尙, 時ニハ外見ノミナラズ體格マデモ男性化シ筋骨逞ク髯ヲ蓄フルモノアリ變性男子 Gynandrier コレ 變性男子ナリ(第 160 圖參照).

男子ニテ男子ヲ戀ヒ, 又ハ男子ニ慕ハルル場合, 或ハ女子ノ互ニ思ヒ思ハルル間ニハ恰モ異性ノ人ノ間ニ行ハルルガ如キ熱情・戀愛ヲ示スモノアリ. 中ニハソノタメ痴情・喧嘩・嫉妬ニ因ル犯罪ヲ敢テスルモノモマタ往々アリトス.

V. 性行爲ノ際ニ殘忍ナル行動ヲ以テ之ヲ代償シ, 又ハ補助スルモノアリ. 殘忍色情症 Algolagnie ト云フ. ソノ1ハ對手ヨリ殘忍ナル行爲ヲナサレテ悦ブモノニシテ被働性殘忍色情症, 一名, まぞひすむす Masochismus ト云フ. まぞひすむす同症者ハ交媾ノ前・後, 或ハ其ノ間ニ於テ對手ヨリ打タレ, 捻ラレ, 噛マレナドシテ喜ビ(第 161 圖參照), 又ハソノ變型トシテ男子ニテ婦人ノ不潔部ヲ嘗メ甚シキハ婦人ノ尿糞ヲ口ニシテ喜ブモノアリ (Koprophagie). 婦人ガ己ヲ愛スル男子ヨリ虐待セラレテ喜ブモノモ, 亦, 此ノ種ニ屬ス. 之ニ反シテ對手ヲ虐待シテ喜ビ, ソレヲ以テ性的快味ヲ覺ユルモノハ Donatien Alphonse Francois, Marquis de Sade ノ示セシ症狀ナレバトテソノ名ヲ採リざちすむす Sadochismus ト稱ス. 能動性殘忍色情症ト名ヅケラル. 後者ニアリテハ交媾ノ際對手ノ婦人ヲ打チ, 噛ミ, 傷ケ, 以テ己ガ色慾ヲ充タスモノアリ. 尙, ソノ爲メニ人ヲ殺シ (Lustmörder), 途上ノ少女ヲ傷クモノサヘアリ (Mädchenstecher).



第189圖 兩性者ニシテ男子ノ如ク、又ハ女子ノ如キ體ヲ示ス圖



第190圖 ふえちしすむす患者ノスクアリ度キ希望ヲ表現セル圖。即、患者ハスク打タルヲ快樂トスルノ意ナリ(ヒルシフェルド圖)

本症者ニハ他ニ多クノ精神異常ヲ示ス場合多シ。即、感情興奮シ易ク、意志弱ク、疲勞シ易ク、刺戟性・空想性ニシテ、智能ノ發育、亦、不良ナルモノ多シ。時ニハ一般智能普通ニシテ文才・畫才・樂才ニ優レタルモノモアリトス。

〔診斷〕 本症ハ同人ノ自白ニ依リテ知ラルルノミ。サレド經驗アル人ハ同人ノ舉動ヨリ大凡ハ然ルベキモノカト察知セラルルコトアリ。殊ニ神經質者ノ訴ヲ聽クウチニ本症ノ存在ヲ發見セラルル場合往々アリ。

鑑別ニハ同症狀ヲ伴フ白癡、癡愚、癡病、慢性酒精中毒、精神分裂病、老耄癡呆ナドト區別スベシ。

〔豫後〕 治シ難キモノナレド從來人ガ考ヘシホド不良ナルモノニアラズト説ク人アリ。

〔治療〕 小兒ノ間ヨリ本症ノ存在ヲ留意シ、斯カル傾向アル人ハ早クヨリソノ教育ニ注意シ、殊ニ空想ニ耽ケルコトヲ避ケシメ、身體ヲ練リ、體育ヲ盛ニシ、安靜ナル睡眠・殊ニ就眠ヲ早クシ、手工ヲ興ヘ、水浴ヲ勵行シ、主トシテ意志ヲ鞏固ナラシムルヤウニ調育スベシ。成年後ニ於テ本症ヲ現スモノニ於テハ催眠術ガ效果アルコトモアリト云ハル、而テ同法ヲ本症者ニ行フニハ、先、色慾亢進症ヲ除クヲ第1義トシ、次イデ手淫・同性愛、其ノ他ノ色慾異常症

ヲ抑ヘ、第2段ニ於テ異性ニ對スル色情ヲ催起セシムルノ順序ニ從フベシ。而モコハ極メテ根氣ヨク、久キ間、引續キ行ヒテ始メテ奏效スルモノ多クシテ、其ノ間、男子ニハ然カルベキ女子ヲ配シ、他性ノ交購ガ可能ナルヲ自覺セシムルヲ可トスル場合多シ。精神分析法、亦、效果的ナリト云ハル。

第九 衝動精神病 Das impulsive Irresein.

衝動精神病

氣分易變症 Stimmungslabile.

氣分易變症

〔定義〕 深キ考ヘナキウチニ突然トソノ時ノ意識ト關係乏キ或種ノ行動、殊ニ反社會性行爲ヲ行フモノナリ。ソノ多クハ放火・殺人・窃盜・預カリ子殺シ・毒殺・無用ノ物品購入・不要ノ借金・人ヲ怒ラス如キ無名ノ文書ヲ何ノ考ヘモナク發スルモノナドナリ。

斯カル衝動行爲ガ生ズル折ニハ誘發條件トシテ同人ニ發作性ニ發來スル感情違和ガ先、存スルモノトシテ之ニ重點ヲ置キ本症ヲ氣分易變症 Stimmungslabileト名ヅク人アリ(シュナイデル)。サレド後者が著明ナラヌ例アリト思ハレ兩者ヲ別個トスル人モアリ。從テ此處ニハ兩者ヲ並列記述セリ。

〔症狀〕 ソノ現ルル衝動動作ニヨリテソノ人ガ示ス型ニモ多少ノ差アリ。

I. 窃盜狂 Kleptomanie. 病的盜癖アルモノニハ何等ノ理由ナク、只、何トナク窃盜スルモノナリ。サレバソノ盜ル物ガ本人ニ必要無ク價值モナキ物ナルコト多シ。從テ本人ハ貧キニアラズ、之ヲ購フ財力モアリ、又、取リテモ何等利益無キモノ多シトス。

クレベリンハ實際上ノ經驗ニ基キ、更ニ斯ク動機全然無キ眞ノ衝動ニヨル窃盜ノミナラズ時ニハ之ヲ止メムトシテモ止メ難キ心迫・強迫行爲ニヨル窃盜、又ハつまらなき理由ヨリ生ズルモノヲモ之ニ編入セリ。

コノ種ノ窃盜ガ病的ナルコト、殊ニ衝動性窃盜ト診斷スルニハ本人ノ陳述、就中ソノ窃盜ノ動機ニ關スル陳述ガ必要ニシテ之ヲソノ行爲狀況ト照合シテ診斷スル外ナシ。本症ハ年少者、殊ニ精神發育ノ不良ナル兒童、就中、重症癡愚程度ノモノニ合併スルモノ多ク、大人ニテモ智能發育稍、不良ナルモノニ多シ。ソノ他、感情ニ偏頗・激シ易ク、引込ミ勝チ、乃至ハひすてりー性格ノモノニモアリ。婦人ナレバ月經ニ關係アルモノ多ク、時ニハ色情異常ト關係アリト云ハル。又、發作性ニ時々發現シ、酩酊時ニノミ現ルモノモアリ。ソノ他一般ニ破瓜期前ノ人ニ多ク、精神ノ圓熟スルニ至リテ消散スル例多シ。

II. 放火狂 Pyromanie. 病的放火トハ深キ考ナク放火スルモノニシテ時ニ短放火狂期間ノウチニ數回同様ノ方法ニテ放火ヲ續行スルモノアリ。ソノ際、其ノ放火ノ動機ヲ本人ニ問亂セバ或ハ深キ考ナク放火セシト述べ、又ハ内部ノ衝動ニ

驅ラルト考ヘラレル場合アリ。マタ中ニハ愚ニモツカマ淺薄ナル動機ニ因ル旨ヲ述ブルモノモアリ。稀ニハ放火シ度キ欲望・心迫、乃至、放火セネバ居ラレス強迫症ニヨルト云ヒ、尙、異常性慾ニ關スル思ヨリ放火シ、家ヲ離レ居ル少年・少女ガ望郷ノ念ニ迫ラレテノ放火スル衝動モアリ。マタ飲酒後ニ限リテ現ルル放火衝動モ往々認メラル。

婦人・小兒期・破瓜期ノモノニ多ク、殊ニ婦人ニテハ月經期・妊娠期ニ現レ、癲癩・精神發育不良者、ソノ他ノ種々ナル性格異常、ひすてりー等ニ於テ殊ニ屢々之ヲ見ル。斯カル放火癖ヲ發スルニハ少ナクモソノ折一部精神内界ニ興奮セルトコロアリト考フベキ場合多キコト余ノ經驗ニテモ是認セラル。

〔豫後〕 少年ニ現ル者ハ年ヲ重スルニ從ヒテ同癖ヲ減ズルコトヲ普通トス。

殺人狂 III. 殺人狂 Mordlust. ウチ貫ヒ子・預リ子ヲ原因ナク衝動性ニ殺スモノアリ。但、ソハ稀ニシテソノ多數ハ單ニ其ノ子ノ泣クノガ五月蠅シト感ズルヨリ深キ考ナク、殆、衝動ニ近キ動機ニテ突嗟殺害スルモノナリ。斯カル人ハ後日之ヲ悔ムルコト全然ナキニアラネドモソノ情ハ頗、薄ク見エ、眞ノ後悔・不良ナリト思フ感想ハ生ゼスカ又ハ頗、乏キカト見ユ例多シトス。

IV. 之ト同ク原因無クシテ人ヲ毒殺スルモノアリ衝動性毒殺症ト云フ。之ニハ平素嫌ヘル人ノミナラズ、時ニハ却テ愛人ヲ衝動的ニ毒殺スルモノサヘアリ。其等ノ人ノ性格ニハ他ニ惡性無キヲ例トス。

〔診斷〕 本症ニ固有ナル點ハ其等ノ動作ガ衝動性ニシテ、動機不明、本人ニモ事後何故斯カル動作ニ出ダタルヤヲ理解ニ苦シムコトアルヲ以テ主徴トス。時ニハ發作性ニ同症ヲ現スモノアリ。ひすてりー、精神分裂病、躁揚病、進行麻痺、癲癩、體質性興奮症、癡愚等ニモ本症狀ヲ現スコトアリ。注意スベシ。

〔合併症〕 低能、ひすてりー等ニ本症ヲ合併スルモノ亦、多シ。

〔治療〕 一般ニハ榮養ヲ良クシ、身體ノ強壯ヲ圖リ、禁酒ヲ行ヒ、適當ナル教育ヲ課シ、一定ノ保護ヲ加フベシ。必要アラバ自由ヲ拘束スルノ止ムヲ得スコトモアリトス。

#### 放逸症 第十 放逸症 Die Triebmenschen.

〔定義〕 クレペリンハ熟慮無ク、又ハ有リテモ之ニ從ハズシテタダソノ折ノ欲望ニノミ驅ラレ放縱ナル行動ヲ敢テスル一種ノ病的性格異常者アリトテ本型

ヲ特設セリ。但、學者ニヨリ本型ヲ別ニスルヲ肯ゼズ。シュナイデルハ同性行ヲ感情ノ原發性變調ニ基クモノトナシ、前掲、氣分易變症中ニ編入シ、之ニ病的彷徨癖、周期性嗜酒症、異常ナル浪費・盜癖・放火癖等ヲ加ヘタリ。

〔症狀〕 最、普通ナル型ハ前後ノ慮ナク、深キ考ヘナク、タダ氣ノ向クママニ金錢ヲ浪費シ或ハ濫ニ小切手ヲ書キ與ヘ、女ニ惑溺シ、無意味ナル旅行ヲ企ツノ類ナリ。實ニ是等ノ人ハ其ノ願望起ラバ、忽、何ヲ考フル違ナク・前後ノ慮ナク、只、思ヒノママニ行動スルモノニシテ、其ノ間、意識ニ少シノ變化ナク、後日、當時ノ狀況ヲ明ニ知ル。サレド時ニハソノ動機ヲ明ニセザルモノアリ。尙、本症者ノ行動ハ常人ノ爲ス行爲ニシテ、衝動性精神病者ノ其ノ如クニ奇行・又ハ反社會的ノモノナラズ。只、餘リニモ非常識ナル放縱ト、ソレガ抑制ヲ全ク缺ケルコトニ特異ナル點アリトセラルベキナリ。

智力ハ尋常ナルモ時ニ一方ニ秀デテ卓越セル技能ヲ有スルモノアリ。殊ニ空想ニ耽ケルモノアリ。感情ハ個人差アレド一般ニハ感ズ深ク無遠慮ニシテ争ヒヲ好ミ、刺戟性・不勉強ナルモノ多シ。時ニハ感情ノ變化甚シク、往々悲觀性トナリ、自殺ヲ企テ、或ハ原因ナク・外界ノ刺戟ニモ依ラズシテ自然ニ鬱ギテ無言トナリ、厭世シ、苦悶ヲ覺エ、考ヘ無キ行動ヲ敢テスルモノモアリトス。

本症ニ屬スルモノノウチニハ發作性ニ飲酒癖ヲ發スルモノアリ。即、同癖ノ起ラバ、數日、乃至ハ數週間止メ度ナク痛飲シ、ソノ間、之ヲ制セムトスルノ念全ク缺ケ、而モ酩酊スレバ忽、暴行シ、時ニハ自殺ヲ企ツ。但、コノ飲酒ハ不機嫌ニ基クタメナラズ、又、一旦飲酒ヲ止ムレバ暫ラクハ飲酒セザルナリ。

#### 第十一 狂信症 Fanatische.

狂信症

自己ノ主張ヲ飽クマデモ徹サムトシ、ソノ際ニハ自己ノ損徳ヲ關ハズ凡テヲ犠牲ニシテモ極力ソノ目的ヲ貫テスル病質者ノ或型トス(シュナイデル)。シュナイデルハコレニ争鬪狂信症 Kampfianatiker ト無氣力狂信症 Matte Fanatiker トノ2亞型ヲ別テリ。サレド多數ノ學者ハ本型ヲ特設セズ、他種病質者ノ亞型中ニ編入セリ。

#### 第十一 自己顯示症 Geltungsbedürftige.

自己顯示症

コハ從來ひすてりー病質ト名ヅケタルモノノ其ニ略、一致スルモノナレドシュナイデル、ブムケ等ハ是等ハ自我中心性性格ガ根本タル特徴ニシテ主徴ト

ス可キニヨリ自我顯示症ト名ヅクヲ良トス。尙、シュナイデルハ自己中心ガ主タル現象ナレド之ガタメ虚榮・病的虚言等ヲ現ク亞型アリトシ、之ニ(イ)並ミ外レ、中心外レナル偏心性 Exzentrische, (ロ)大言壯語・空威張り型 Renommi-stische, 及、(ハ)虚言型 Pseudologische ノ亞別ヲ小別セリ。本症ニ關スル性行異常ニツキテハハ本書既ニヒテリ一ノ項ニ於テ記シタレバ茲ニ再録セズ。

### 自己不安症 第十三 自己不安症 Selbstunsichere.

本症トシテ記スルトコロハ學者ニヨリ異ナルモ、シュナイデルハ本症ヲ内部不安 innere Unsichere ト劣等感 Insuffizient トノ存在ヲ主トスト考ヘ、之ニ過感性自己不安型 Sensitive Selbstunsichere ト自己懷疑性自己不安型 Anankastische Selbstunsichere ノ2 者ヲ別ケ、合併症ニハ抑鬱性ノモノ多ク、前者ハ自己ヲつまらなき人ト思ヒナガラモ一面ニハ名譽心強ク、コノ兩者ノ間ニ葛闘アリテ疑惑ガ去ラズ、ソノ不安ノ極、終ニ妄想、殊ニ過感性關係妄想 Sensitiver Beziehungswahn ラ生ズルモノトシ、後者ハ疑惑・不安ノ念ガ去ラヌタメニ強迫觀念・恐怖症ヲ生ズルモノトセリ。後者ニツキテハ強迫症ノ項ニ記シタルトコロアレバ省ク。同所ヲ参照ス可シ。

### 無力性病質 第十四 無力性病質 Asthenische Psychopathen.

本症ハ大體、神經質・ヒテリ一トシテ記セルモノニ似ルモ、シュナイデルガ記セルトコロニヨレバ、本症ノ特徴ニハ身體・精神ノ無力症ヲ固有トスルモノニシテ、前者ハ願望・苦悶等ニヨリテ身體異常・乃至ハ精神異常反應ヲ現スモノトシ後者ハ主トシテ離脱現象 Enthemmungserlebnis, 即、離人症 Depersonalisation 等ヲ呈スルモノトセリ。サレド是等ハ前掲ヒテリ一、神經質トシテ記セルモノニ略、似、而モ多數ノ學者中ニハコノシュナイデル説ニ賛同セヌ人モアレバ、茲ニハ暫ラク在來ノ説ニ從ヒ置クコトトシテ之ヲ省ク。

### 分裂病質 第十五 分裂病質 Schizoide.

〔定義〕 分裂病ノ示ス症狀ニ似タル性格ヲ強ク有スル病質者ノ或種トス。斯カル性行ハ後日同病ヲ發スル人ニ病前性格異常トシテ現レ、又ハソノ近親・同胞等ニソノ異常性格トシテ現ルコト多シトスルモ、時ニハ之ト全然無關係ニ現ルモノモアリトセラル。

〔症狀〕 個人差多キタメニ皆ガ同様ノ性格ヲ凡テ示スト限ギラザルモ大體ハ之ヲ通ジ無意味ナル強情、頑固(以上分裂病ノ拒絶症ニ似ル)、孤獨、非社交性、

風變リ、奇行性、奇行、冷酷、無神經、悖德性(一種ノ感情鈍麻)、不精、意志薄弱、無氣力(一種ノ意志減退)等ヲ示スト共ニ、他ノ一面ニハ刺戟性ニシテ過敏ナル節モアリ、ソノタメ往々不平家、氣難カシキ人トナリ、又ハ奇異ナル空想ヲ逞クシテ餘リニモ理想ニ過ギ世間ニハ通ゼヌ偏見ヲ持ツ人トモナルナリ。

### 第十六 奇行症 Die Verschrobenen.

奇行症

〔定義〕 本型ハクレペリンガ主唱スル一型ナルモ、追從スル學者少ナシ、而モ氏ノ説ニ從ヘバ或種精神病、殊ニ精神分裂病ノ1 症狀トシテ又ハソノ前驅症トシテデハナク、單ニ生來異常性格トシテ現ル性格異常ニシテ、ソノ特徴ハ或種精神作用ガ他種精神作用ニ比シテ特ニ甚、奇異・不調和ニ感ゼラレ、而モソノ奇異ナル行爲アルガタメ本人ノ全生涯ハ頗、不利益トナル型ナリト云フ。

尙、クレペリンハ斯クノ如キ性行ハ分裂病ニ多キ症狀ナレバ或ハ之ヲ同病ノ初期現象ト考ヘムトセシモ長キ間ノ觀察ニヨレバ、ソノ他ニ同病ノ症狀トスキモノナク、尙、同病ニ比シテ遺傳著ク濃厚ニシテ、且、同病者ニ見ルガ如キ感情鈍麻ナドナキ點ニヨリ區別セラルトセリ。

〔症狀〕 智力ニハ著キ異常ナキモ時ニハ注意散亂・記憶不良ナルモノアリ。感情ハ好機嫌・刺戟性ニシテ變リ易ク、作業ハ纏マリナク、持続性ナシ。而モ常識ヲ以テハ何故ニ斯カル奇行ヲ敢テスルヤ不思議ニ思ハレ、コノ點ニヨリ同人ノ行動ハ到底常人トハ思ヘザルナリ。サレド他ノ點ハ全く常人ニシテ時ニハ却テ優秀ナル人サヘアリト云フ。而テ氏ノ記セル例ニヨレバ平素ハ賢明ナル人ナルガ怒リテハ穴倉ニ入り、自、戸ヲ閉ヂテ久ク外出セズ、或ハ數多ノ小物品ヲ竊盜シ、又ハ異性ノ人ニ奇異ナル動作ヲ敢テシ、尙、他ノ例ニテハ己ノ妻ヲ裸體ニシテ舞蹈セメ、理由ナク首ヲ切ラントスルナドノ奇行アリト例示セリ。

### 第十七 循環病質 Zyklode.

循環性病質

前掲、爽快型・沈鬱型ニ似タル性格異常者ニシテ、前章、躁鬱病ノ處ニ記セルモノト大略似ルヲ以テココニハ省ク(345 頁参照)。

### 第十八 類癲癇症 Epileptoide.

類癲癇症

從來、綿密・激怒等ハ癲癇者ニ認メラルル特殊性癖異常トシテ其等性行ガ特ニ著キモノヲ類癲癇症トセシモ、其等性癖ガ皆同病ト關係アルヤニツキ異議アリ、且、ソノ本質ニツキテモ異説多キモノナリ(318 頁ヲ参照ス可シ)。

## 第二十一章 精神發育制止

Die psychischen Entwicklungshemmungen,  
Oligophrenien.

〔定義〕 先天性ノ畸形、又ハ胎生期・或ハ生後甚、夙ク受ケタル腦病ノタメニ精神發育ガ著シク停止セル状態ヲ云フ。

〔症狀〕 感覺・知覺・領解ノ不良アリ。是ハ感覺器障礙ニ因ル場合モアレド多クハ精神發育不良ノタメナリ。殊ニ皮膚感覺ハ常態ニ近キモノ多キモ高等感覺、就中、聽・視覺異常ハ末梢性難聽・近視ノタメナラヌモノガ多シトス。色神ノ異常、色彩濃淡ノ差別、位置神・空間識ノ不良アリ、コレ等モ判斷不良ナルガタメニヨルモノ多キナリ。注意ハ鈍ク殊ニ轉導サレ易ク、且、容易ニ疲ル。領解ハ殊ニ惡ルシ、就中、複雑・困難ナル事柄ノ理解ハ甚、不良トス。勿論、是等ノ症狀ハ智能發育制止ノ程度ニ由リ差アリ。記憶モ一般ニ惡ルシ。殊ニ重症白癡ニテハ頗、不良トス。輕症癡愚ニテハ器械的記憶ハ差シテ不良ナラヌモ複雑ナル事柄、就中、聽覺ニ因ル記憶・數ニ關スル記憶、殊ニ抽象的ノ事柄ニ關スル記憶ハ頗、惡ルシ。追想ノ誤モ多クタメニ往々虚構症ヲ來タス。直接把持・練習性モ皆、甚、不良ナリ。

觀念ノ發育ハ特ニ不良ニテ手近ニアル具體觀念發育ハ良キモ無形ナル抽象觀念・性狀觀念(概念)ハ發育頗、不良ナリ。思考・推理・判斷・工風モ共ニ著ク惡ルシ、就中、重症ナルモノニハソノ力全ク發育セズ。輕症ノモノニテモ蒼古思想・妄想様迷信多シ。考ヘ方ハ一般ニ目前的ニシテ永遠ノ企計・深慮・遠謀ヲ缺キ、批判ハ表面的・目前性ナル事多シ。聯合試驗ニヨレバ聯合時間長ク、重症者ニアリテハ意味ノ聯合ヲ缺キ、輕症者ニテモ反應缺如・説明型多シ。考慮進行ハ迂遠ニシテ要領ヲ得ズ。判斷ハ不確實ニシテ偏頗・暗示性ニ富ミ、人ニ瞞サレ易シ。斯クテ同症者ノ智識ハ概シテ著ク乏ク、才能甚、貧弱ナリ。從テ就學兒童ニ於テハ學

校成績頗、不良、重キハ就學不能ナリ。

感情ニモ鈍キ點ガ著キモノ多ク、而モ激シ易ク、怒レバ忽、甚シキ暴行ニ出ヅルモノアリ。高等感情、殊ニ博愛・謝恩等ノ發育乏シ。氣質・性格ニハ溫順、御シ易キモノアレド、又、はにかみ・厭入、臆病、遲鈍、泣キ易キモノ多シ。更ニ意地惡ル、理由ナキひねくれ、不機嫌、心配症、喧嘩好き、放縱・盜癖ヲ有スルモノ少ナカラズ。斯カル性行ハ周圍ヨリ感化ヲ受クルコト甚、大ナリ。作業能力モ亦、頗、不良トス。

昔ヨリ本症ヲ性行ガ興奮シ易キカ・遲鈍ナルカニヨリ興奮型 Eretische Form 興奮型ト遲鈍型 Torpide Form トノ2種ニ大別スルヲ例トス。サレドコノ區別ハ必シ遲鈍型モ容易ナラズ實際ニハ兩者何レトモツカヌ中間型多シトス。

特殊教育ヲ受クルコノ種ノ兒童ニツキテノ調査ニヨレバ、理解不良67%。記憶不良20%。怠ケモノ27%。勤勉15%。甚シキ怠惰4.5%アリト云ハレ、又、補助學校生徒ニハ遲鈍型、興奮型、單純型ガ約1/3ヲ占メ、殘餘ノ約1/10ハ反社會性不良兒ナリト云フ(シュレーヂンゲル)。

〔身體症狀〕 全身ノ發育ガ不良ニシテ子供ラッキ顔貌、頭蓋形態ノ異常、殊ニ過大・過小・斜顛・顔面左右不均等、表情ノ遲鈍・茫乎・小兒ラッキモノ、豐頬、脂肪過多、齒列不正、あでのいーど、淋巴腺腫脹、四肢、殊ニ手指ノ運動遲鈍・力弱ク・且、甚、拙劣ナルモノ、顔面筋・ソノ他ニ隨伴運動・失調アルモノ等アリ。言語・歩行ノ發育晚ク、發音不良、就中、吃訥・訛癖・瘡癖等モ多シ。手指關節ハ弛緩セルモノ多ク、時ニハ上下肢ノ麻痺・痙攣・強剛、ソノ他ノ神經症狀アリ。就中、遺尿ノ晚クマデ殘ルモノモ少ナカラズトス。

以上ハ本状態各種ヲ通ジテノ記載ナリ。サレド本状態ハソノ原因ト障礙ノ程度トニヨリテ精神・身體症狀トモ頗、差アリ。タメニ程度上ノ差別ニヨル差異ヲ先、舉ゲ次イデ各種原因ニ基ク其等諸状態ノ差異、並ビニ其等各種状態ニ固有ナル症狀ヲ列記スルコトトセム。

吾人ハ本症ヲ精神發育障礙ノ程度ニヨリ白癡 Idiotie、癡愚 Imbecillität 及、魯鈍 Debilität ノ3者ニ大別スルヲ普通トス。

但、コノ區別ハ學者ニヨル異説少ナカラズ。例ヘバ魯鈍ナルモノヲ特設セザル學者アリ或ハ常人ト病的魯鈍トノ間ニ更ニ或階級ヲ設クル人アリ。殊ニ教育學者ハ低能ト常人トノ間ニ劣等兒ナル階級ヲ定ムルガ如シ。

尙、白癡・癡愚・魯鈍ノ差別標準ニツキテモ意見ノ一致ヲ缺キクレペリシハ白癡トハ如何ニ教育スルモソノ精神發育ガ普通兒童ノ6歳マデニハ達シ得ザルモノトシ、7—8歳位ヨリ13歳頃マデノ精神能力ヲ有スルモノヲ癡愚トシ、魯鈍トハ14歳ヨリ18歳マデノ間ノ精神状態ニ止マルモノトス。然ルニワイガントハ癡愚ヲ7—16歳、魯鈍ヲ17—20歳マデノ智能發育ニ止マルモノトセリ。

又、佛國ビネー Binet ハ智能年齢ニヨリコレヲ區別シ、智能年齢2歳迄ノ者ヲ白癡、3—7歳ノモノヲ癡愚トス。コノ流ヲ汲メル米國ゴダード Goddard、ターマン Terman 等ハ之ニ似タル法ヲ用ユ。更ニチーエン Ziehen ハ以上ノ諸氏トモ異ナル法、即、同人ノ持テル精神能力ヨリ區別シテ白癡トハ具體觀念全ク無キカ極僅少アルノミトシ、癡愚トハ思考力頗、乏ク、魯鈍ハ思考・概念ノ僅ニ貧キモノトセリ。尙、ソノ他ニ言語發育ノ程度、麻痺・痙攣等ノ身體症狀ニヨリ差別スル法モアリ。

サレド元來精神發育制止ノ差別ハ自然ニ於テハ全ク漸進性ニシテ明確ナル區分ハナキモノナリ。之ニ或差別ヲ設ケムトセバ勢ヒ任意性アルヲ免レズ。一面、常態小兒精神ト白癡・癡愚ノ如キ病的精神異常ノ其トハ質ニ於テ差アリ。即、白癡・癡愚ノ如キ病的精神異常ニハ普通兒ノ如ク平等ナル發育不全ヲ示サズ、或種精神ハ普通兒ニ優リ他種精神ハ之ニ劣リ、之ニ病的症狀加ハルモノナレバ兩者ヲ一様ニ同一標準ニテ評價スルハ穩當ナラズトセラル。而モ他ニ適當ナル方法ナキヲ以テ多クノ批難ハアレド不満足ナガラ上記ノ方法ガ用キラレ居ルモノナリ。

又、智能検査ニヨル智能標準ニモ種々ノ差アリ。本邦ニテハ久保良英博士ハ I. Q. 110 以上ヲ優良兒、I. Q. 90—110ナルヲ普通兒、ウチ、I. Q. 100—110ヲ上、I. Q. 100ヲ中、I. Q. 90—100ヲ下トシ、I. Q. 70—90ヲ劣等兒、I. Q. 70以下ヲ低能兒トセリ。ターマンソノ他ノ標準モ多少差アレド略、之ニ似ル。

余ハ以上述ベタル如キ諸説ヲ參酌シテ略、次ギノ如キ標準ニ據ル各種精神發育制止状態ニツキ説明セム。

I. 白癡 コレニハマタ重症白癡ト輕症白癡トヲ別ツヲヨシトス。

(a) 重症白癡トハ生後間モナキ哺乳兒程度ナル甚、漠然タル能力ヲ有スルモノニシテ、行動全ク本能的ナリ。從テ叫喚ハアリテモ言語ハナキ程度トス。

(b) 輕症白癡トナレバ既ニ言語ハアレド、ソノ數20—30ノ少數ニ止マリ、觀念ノ種類ハ1—2卓近ナル身體部位・手近ニアル器具・食物・食器等ノ僅ノ具體觀念ニ止マリ、數・色等ノ性状觀念ハ全ク發達セズ。話ハ單語ニテ多數ノ言葉ヲ聯ネテ話スコトナシ。タトヒ言葉ヲ聯ネテ話シテモ文法正シカラズ。精神發育全狀況ハ好良ナル者ニテモ3—5歳ノ就學前兒童ノ程度ニ止マリ、I. Q. ハ普通50以下ナルヲ例トス。

II. 癡愚 同ジク重症ト輕症トヲ別ツヲ便トス。

(a) 重症癡愚ニテハ言葉ハ既ニ相當發達シ居リ、普通ノ話シハ略、常人ノ如ク爲シ、觀念ノ多寡モ相當ニ存スレド、ソハ只、具體觀念、殊ニ手近ニアル具體觀念、身體部位・器具ナドヲ知ルニ止マリ、緣遠キ具體觀念ニハ知ラスモノ既ニ多シ。性状觀念ノ發達モ尙、不良トス。就中、色・數・方向・時等ノ觀念ハ發達甚、惡ルク、左右ノ別スラ覺ヘラレヌモノ多シ。無形觀念ハ發達、一層不良トス。斯クテ普通兒童凡ソ7—8歳程度ノモノニ比スベシ。之等ノモノノ多數ハ就學前既ニ低能ナルコトヲ明ニセラレ、殊ニ注意深キ親ヨリハ幼時、夙ニソノ精神發育ガ甚、不良ナルヲ注目セラル。I. Q. ハ概、60邊ナリ。

(b) 輕症癡愚ニアリテハ具體觀念ハ既ニ相當發達シ、殊ニ話ハ文章ヲナシ、一見常人ノ如ク見ユルモ、就學シテハ成績不良、中ニ國民學校3年級頃ヨリ學業ガ不良ナルヲ發見セラルル場合ガ多シ。就中、思考力乏ク、算數ノ念貧ク、推理・批判・應用ノ力惡ルク、殊ニ抽象力缺ケ、比較・類推・比喩ノ力等共ニ不能ニシテ抽象概念ヲ缺キ、略、普通兒童ノ9—10歳頃ノ精神發育ニ止マル。尙、本能ヲ抑フル力モ發達不良ニテ感動ノ著ク烈キモノアリ。成長シテモ智能年齢ハ9—10歳ノ發達ニ止マリ成長



スレバ輕症者ハ10—12歳ニ達シ智能指數70—80邊ナルヲ多シトス。

III. 魯鈍. 具體體觀念ハ相當ニ發達シ性状觀念ノ缺陷モ著カラズ。即, 一見, 普通人ノ如キモ詳細ニ検査セラレテ智能不良ナルコトヲ明示シ, 殊ニ思考・推理・工風ノ力劣リ, 理性ノ感情・行爲ニ及ボスカノ發達不良ニシテ制止ノ力モ甚, 鈍シトス。

國民學校卒業期ニ近ヅキ又ハ中等學校ニ入りテヨリ始メテ同入ノ學校成績ガ甚, 不良ナルコトヲ氣附カルモノアリ。尙, 或ハ學ヲ好マズ, 中途退學・異常性格ヲ示スモノモ亦, 多シ。I. Q. ハ80—90邊ニシテ普通兒ト劣等兒トノ中間型・移行型タル可キモノナリ。

教育心理學ニテハ劣等兒ト稱セラルルモノノI. Q. ヲ70—90位トシテI. Q. 70以下ノモノヲ低能兒トセラル, コノ點精神病学ニテノ意見ト必シモ一致セザルハ止ムヲ得ストコロトス。

以下白癡・癡愚・魯鈍ノ各状態ニツキテ解説セム。

白癡 第一 白癡 Idiotie.

〔定義〕 白癡トハ精神發育制止ノ最, 高度ナルモノニシテ, ソノ最重症ナルモノハ初生兒位ノ程度ニ止マリ, 眞ノ精神作用ガ存在スルヤ疑ハシ, 即, 日常タダ叫喚シ攝食本能ヲ示スニ止マル。ソノ度稍, 進メルモノニ至レバ1—2歳位ノ兒童能力ニ比敵シ更ニ進メル白癡ニ於テ漸ク普通兒童3—4歳位ノ精神發達ヲ示スモノトス。

從テ白癡ニハコレニ教育ヲ試ミ教ヘ得ル可能性アルモノヲ教化可能白癡 Bildungsfähiger Idiot トシ, ソノ可能性ナキモノヲ教化不能白癡 Bildungsunfähiger Idiot トシテ別ツ人アリ。

教化不能白癡

甲 最劣等白癡ナル教化不能白癡ハ生レタル許リノ初生兒程度ノ白癡ニシテ, 注意力ハ全クナキカ・或ハ頗ル乏ク, 殊ニ自發性注



第191圖 腦水腫白癡兒ニシテ外界ノ刺激ニ對シ全ク注意ヲ向ケ得ザル狀ヲ示ス圖

意ヲ缺キ, 外界ノ刺激ヲ判然ト知覺・了解スル力ヲ缺ク。時ニ感覺器ヲ利用スルノ道スラ不能ニテ從ツテ記憶・判斷ハ全ク缺如シ, 只, 内臟感覺ヨリ發スル目的不明ノ漠然タル衝動動作ト本能動作トヲ示スニ止マル。日常ノ動作ハ故ナク物ヲ搔キ廻ハシ・壞ス位ノ衝動ト飢エタル時ニ食ヲ求ムル本能性喚叫ニ似タル表情運動アル位ニ止マルモノナリ。而モソノ多クハ恐ルルコトナク, マタ喜ブデモナク, 只, 漠然トソノ日ヲ空ニ暮ラシ, 尿尿ニヨリテ衣服ガ汚レ・濕フモ更ニ介意スルコトナキ状態ナリ。

感情ノ表現ハ多少存在スレド食物以外ニハ感興ヲ惹カズ。時ニ身體ノ烈キ疼痛ニ對シテモ單ナル叫ビヲ發シ又ハ顔ヲ歪メテ不快ナル感情ヲ示スニ過ギスモノアリ。但, 怒ノ表情ハ早ク發達シソノ度強キ者多シ。食物ヲ擇ブ力ハ多少アレド石・白墨・紙等ヲ取りテ口ニスル病的本能ヲ現スモノ多シ。判然タル目的ヲ有スル意志動作ハ殆, 認メラレズ。言語ハ勿論發達セズ。握ル運動・歩行運動スラ缺クルモノアリ。タトヒ其等ガ存在シテモソノ發達ハ頗, 晚キヲ例トス。

全身ノ發育ハ概ネ不良ナレド時ニハ頗, 佳良ナルモノアリ。尙, 種々ナル身體症狀存ス(後條参照)。就中, 麻痺・拘攣・痙攣多シトス。

乙 稍, 進メル教化可能白癡ニテハ外異ノ刺激ヲ領得スル力辛ウジテ存シ殊ニ強大ナル刺激ニハ應ズレド自働性注意ハ頗, 貧ク, 時ニハソノ力ヲ全然缺キ, 他働性注意ノミ存ス而モ同一ノ物ニ注意ヲ長ク保續スル力乏シ。從ツテ外界ノ事物ヲ了解スルノ働キハ皮相的ニ止マリ, 之ヲ把持シ, 記録スル力ハ頗, 惡ルシ。其ノ結果トシテ知レル觀念ノ數ハ甚, 少ナク, 使用シ得ル言語モ僅ニ20—30ヲ算スルニ過ギズ。觀念聯合モ著ク不良ナリ。

感情ハ主トシテ肉體感情ニ止マリ高尚ナル感情ハ發達セズ。サレド感動ガ一度ビ發スルヤソノ力ハ強ク而モ持續性少ナシ。殊ニソノ發動ヲ制止スル力ガ頗, 乏シ。ソノ種別モ簡單ニシテ多クハ食慾ニ對シ甚,

喜び、之ヲ獲ラレヌトキ憤ルコト烈キ位ノ程度ナリ。例之、僅ノ不満・怒ヨリ烈キ感動ヲ現シ之ヨリ忽、暴行シ時ニ放火ヲ企ツモノナドアル如シ。性欲ハ發達セヌモノ多ケレド、又、中ニハ夙ク現レ、殊ニ異常ニ烈キモノアリ。時ニ色情發動セバ人前ニテモ手淫ヲナシテ少シモ耻ヂヌモノ・又ハ性欲發動セバ之ヲ制スルカヲ缺キ前後ノ思慮ナク強姦・其ノ他ノ猥褻行爲ニ出ヅルモノサヘアリトス。

行爲ハ纏マリナキノミナラズ、往々同一運動ヲ反復ス。但、軽度ナル白癡ニテハ教ヘラレタル器械的作業、例之、手細工・細字書寫ナドニ巧妙ナルモノアリ。尙、或一方ニ稍、卓越セル技能ヲ有スルモノ存ス。サレド一般ニハ指先キノ細カキ運動ハ不良ニシテ發音ニ構音異常ヲ認メラルモノ多キナリ。言語ハ單語ニシテ文章ヲ作サズ、殊ニ同一ノ文句ヲ反復シ、ソノ間ニ不明ナル言葉ヲ交フルモノ往々アリ。

〔身體症狀〕 白癡ヲ來スベキ原因ハ1 ナラザルニヨリソノ身體症狀

ニハ頗、差異アリ。而モ全身ノ發育著ク不良ニテ甚、矮小ナルモノ、姿勢前屈・眞直ニ立ツコト能ハヌモノ、小兒ラシキ姿勢、毛髮ノ發育不良、破瓜期ニ至ルモ耻毛ガ發生セズ、來潮セズ、睾丸陰囊ニ下降セヌモノ、頭形ノ異常、殊ニ小顛、前頭ト後頭部トノ割ゲタルモノ (Aztekentypus)、前頭部ノ膨隆、頭頂部ノ横ニ大ナルモノ、耳・眼等ノ形態異常、視力減弱、色盲、難聽、鼻・口腔内ノ腺様増殖、上下肢ノ麻痺・拘攣、殊ニ一部・半身・又ハ兩側ノ麻痺・拘攣・關節弛緩(第193圖參照)、麻痺側ノ



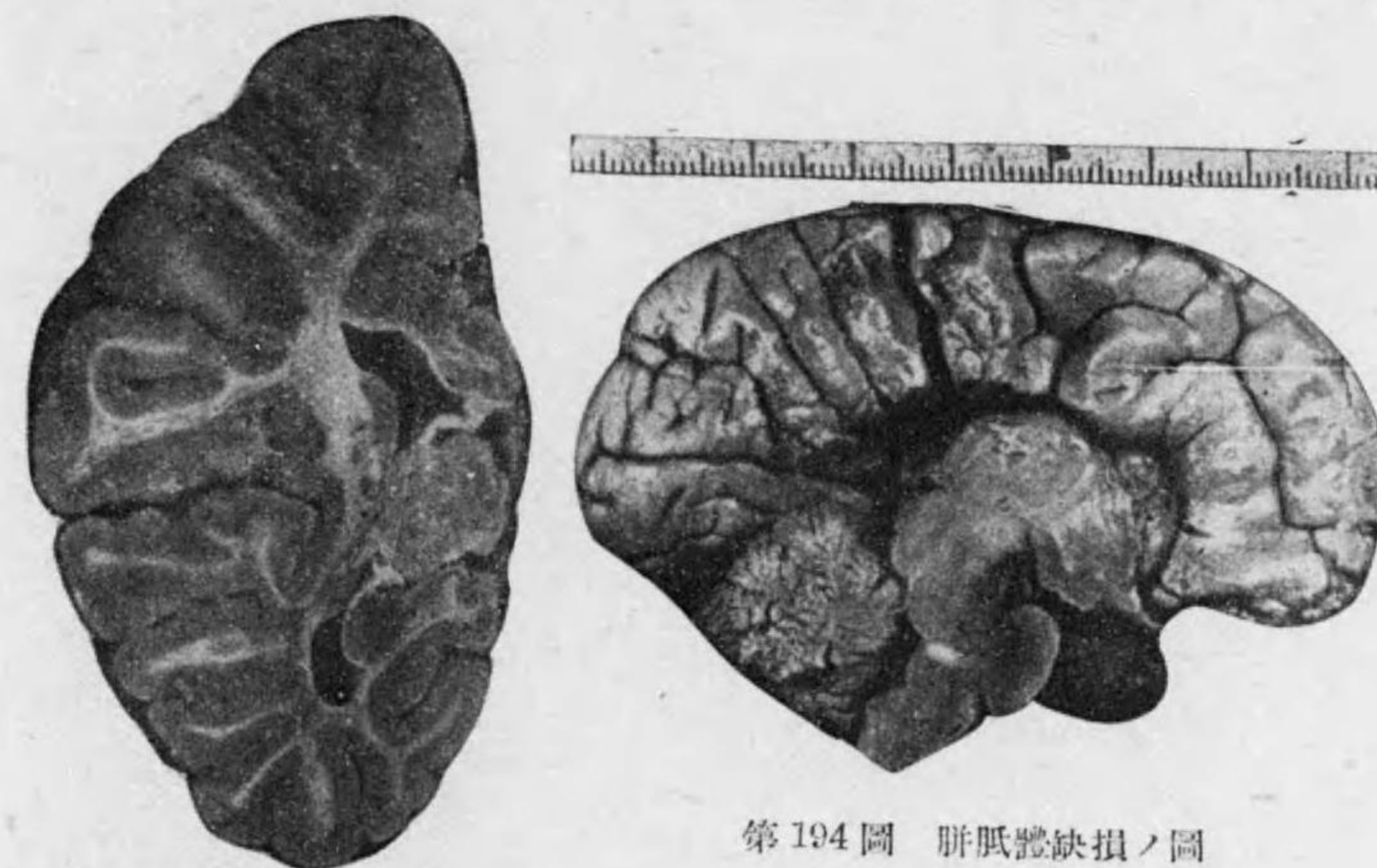
第192圖 白癡患者ノ手指關節弛緩甚シキモノヲ示ス圖

筋肉・骨ノ發育不全、腱反射亢進、種々ナル運動失調、運動不安、振顫、あてとせ運動、舞蹈病様運動、隨伴運動、眼球振盪、齧齒、癲癇發作、失語等ヲ多シトス。癲癇發作マタ頗、多ク、ウキルデルムト

Wildermuth ハソノ 30% ニ之ヲ認ムト云フ。

〔病型〕 白癡ニハ注意ノ轉導セラレ易ク、感情ニ激シ易ク、動作不安・性欲動作ニ富ミ、時ニ殘忍ナル行爲・放火等ヲ行フ型アリ興奮性白癡 Erethische, versa- 興奮性白癡 tile oder erregte Idiotie ト云フ。反之、注意鈍ク、舉動靜穩、無爲・茫然、ソノ日ヲ暮ラスヲ遲鈍性白癡 Anergetische, apathische oder stumpfe Idiotie ト遲鈍性白癡ニテ區別スル人アリ。サレド兩者ノ移行型多ク、區別甚、困難ナル場合多シ。尙、白癡ニハ定期性興奮・抑鬱ノ狀ヲ發スルモノアリ。

〔原因〕 1 ナラズ。胚種ノ異常・變性ニ基ヅク生來性畸形ト病的變化ニヨルモノトノ2者ヲ別ツヲ例トスルモ、是、亦、ソノ區別ハ往々困難ナリ。統計上、白癡ノ或種ニハ精神病性負荷關係多ク認メラル。就中、



第193圖 胼胝體ノ白質發達頗、不良ニシテ、且、白質内ニ灰白質異所存在アルヲ示ス圖 (鯉崎徹博士報告例)

第194圖 胼胝體缺損ノ圖 (吉田五郎博士寄贈ニヨル東大脳研究室標本)

親ノ精神病・大酒・微毒多ク、家系中ニ變質者多キモノアリ。他ニ母ノ妊娠時ノ重病、感動激變、本入出産時ノ難産・假死状態、生後ノ頭部外傷、榮養不良、頭蓋骨化骨異常、急性傳染病、ソノ他ノ腦疾患ヲ認メ

ラルルモノ仲々多シ。尙、重症白癡ニハ胎生期、又ハ生後1-2年ノ間ニ得タル腦疾患ニ因ルモノモ多數アルナリ。

〔病理〕 白癡ノ病理ニハ尙、不明ノ點多キモ若キ時ニ受ケタル腦病ニヨル遺殘状態ト認ムベキモノ多シ。而モ概シテ白癡ノ種類ハ病理學上、頗、多種ニ別タル。普通ハ下記セル如キ種別ガ擧ゲラル。

甲 先天性畸形ニ屬ス可キモノ。

1. 眞性小腦症 Wahre Mikrenzephalie. 2. 結節腦硬化 Tuberosë Hirnsklerose (前出, 第145頁参照). 3. 眞正髓質狹小 Mikromyelia. 4. 小廻轉 Mikrogyrie. 5. 眞正穿孔腦 Wahre Porenzephalie. 6. 胼胝體缺損 Balkenmangel (447頁第195圖参照). 7. 腦表面ニ畸形アル白癡, 例之, 左右不對, 全葉發育制止, 廻轉稀少腦, 無廻轉腦, 猿ノ腦髓ニ似タル裂溝等ヲ有スル白癡, 8. 大脳皮質ニ構造異常アル白癡. 例之, 胎生兒腦型ヲ示スモノ等. 9. 大脳血管ノ發育不全ニ因リテ腦實質ニ變化ヲ來タセル白癡. 10. 腦ノ軟膜・又ハ廻轉ニ先天性あんぎを一ニアルタメノ白癡. 本症白癡ニハ一側ニ麻痺・痙攣等アリ。

大脳皮質構造ニ異常アルモノニモ多クノ種別アリ。

(イ)大脳皮質神經細胞ガ甚, 密ニ存在スルモノ, (ロ)皮質各層ノ分化不良ナルモノ, (ハ)錐體細胞ガ圓錐狀ヲ示サスモノ, 即, 圓形ニ近ク, 染色性淡ク, 突起少ナキモノ, (ニ)カハール細胞多ク, (ホ)切線纖維ニ富ミ, (ヘ)胎生期4-5月頃ニアル大脳皮質第II層近クニ認メラレル疣狀物體ノ殘留状態 Status verrucosus deformis アルモノ等最, 普通ナリ。

乙 腦ニ病的變化アルモノ。

之ニハ 1. 腦炎, 2. 腦膜炎, 3. 腦軟膜出血, 殊ニ出産時ニ於テ腦膜ニ出血セシモノ, 4. 腦水腫, 5. 血管異常ニヨル腦軟化, 6. 穿孔腦ニヨル白癡, 7. 原因不明ナル葉性腦硬化, 萎縮性腦硬化, 假性肥大 Pseudohypertrophie, 巨腦 Megalenzephalie 等アリ。

組織上, 病的變化ノ古ク存在セシコトハ 腦髓當該位置ニ於テ神經細胞稀少, ワイゲルト膠質纖維染色法・或ハビールショウスキー法ニテ認メラレル膠質組

織増殖, 腦膜ノ肥厚, 及, 皮質トノ癒著, 神經纖維發變性等ヲ認メラレルコトアルニヨリテ知ラルモノトス。

シヨルツハ癲癇ガ初生兒ニ夙ク起ル時ニハ, ソノ發作ニ伴ナヒ現ル血管攣縮ノタメ腦實質ニ斷血變化 Ischämische Veränderung ヲ發シ, ソレヨリ腦實質ニ穴ナル瘢痕・萎縮等ヲ生ジ, 一見, 先天畸形又ハ腦炎後胎症ト似タル外觀ヲ呈スルモノアリ。從來, 葉性腦硬化, 萎縮腦硬化ナドト稱セラレシモノニハ斯カル幼時癲癇發作ヨリ生ゼシ變化ト考フ可キ例モ少ナカラザルベシ。

丙 内分泌異常ニヨル白癡。

甲状腺, 生殖腺(卵巢・睾丸), 松果腺, 副腎, 胸腺ノ機能障礙ニヨリ白癡ヲ來スモノアリト思ハル。サレドソノ多數ハ却テ腦ニ異常アル結果, 内分泌腺ニ異常ヲ來セルモノト考フ可キナリ。

〔白癡ノ病型〕 以上列記セル各種白癡ノ病型中, 腦炎, 腦膜炎, 内分泌腺異常, 黒内障白癡, 結節腦硬化等ニヨルモノハ凡テ特殊疾患トシテ前章既ニ述ベタレバ茲ニ省キ, 他ノ病型中特異ナルモノノミヲ此處ニ略述スベシ。

I. 小顛 Mikrokephalie.

小顛

普通, 小顛ト云ハルモノノウチニ病的變化ニ因ルモノヲ假性小顛 Pseudomikrokephalie ト稱セラル。是ハ胎生期ニ早く受ケタル梅毒・腦血栓・腦炎又ハ榮養不給等ニ因ルモノ多ク眞ニ先天性畸形トシテ來ル小顛ハ少ナキナリ。後者ニハ眞性小顛 Wahre Mikrokephalie ナル名アリ。

〔症狀〕 本症ノ多數ハ重症白癡ニ屬シ理解・記憶甚, 惡ルク, 色覺・味覺・嗅覺ノ發育モ亦, 頗, 不十分ニシテ僅ニ周圍ノ人・又ハ物品ノ名稱ヲ覺ユルニ止マル程度ナリ。稍, 進メルモノニテモ辛ウジテ左右ヲ知ルニ過ギズ。從テ多クハ文字ヲ覺エズ。注意ハ被定性ニテ感情ハ一般ニ平氣ナリ。從テ家人ヨリ離レルモ更ニ苦慮セズ。物ヲ眞似ル傾向多ク, 反應遲延シ。色情ハ概テ發達セズ。

身體ニハ前頭部削ゲ後頭部扁平ニシテ側面ヨリ頭顛ヲ見レバあつて一けん形ヲ示ス。表情ハ活潑, 時ニ不安ナリ。言語發達不良, 運動遲鈍, 身長短ク, 指極大ナリ。麻痺・痙攣ハ無キヲ例トス。

〔病理〕 頭蓋骨ハ厚シ。コハ頭蓋腔ノ内壓低キ爲メト解セラル。大脳ハ小ニシテ重量700—800時ニ400瓦ノモノアリ。大脳廻轉數少ナキモ或廻轉ハ異常ニ

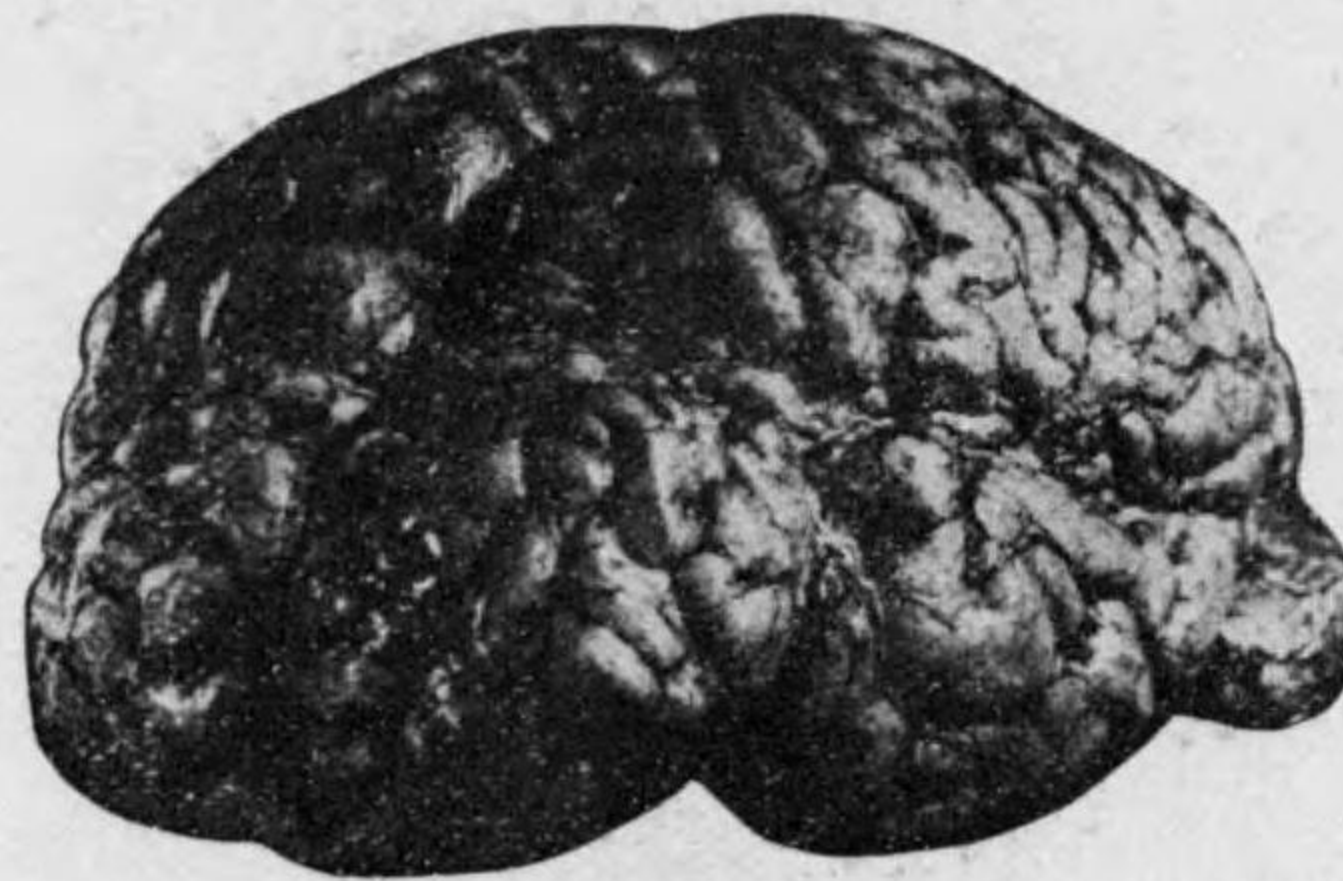


第195圖 眞性小顛腦ニシテ大脳廻轉數少ナク、而モ甚、大ナルヲ示ス圖(池田隆徳博士例)



腦炎ニ因ル白癡

第196圖 前頭部削ゲ、腦頭蓋ハ顔面頭蓋ニ比シテ甚、小ナル假性小顛性白癡ノ側面圖



第197圖 前196圖患者腦ニシテ大ナル瘢痕アルノホカ全腦一般ニ小ニシテ殊ニ左側大脳半球ハ甚、小ナル假性小顛ノ圖

大キク、時ニハ異ナル經過ヲ示スモノアリ。小脳ハ比較的太トス。鏡檢上、病變ノ外ニ大脳構造ニ發育不全ノ像ヲ示スモノ多シ。即、大脳皮質ノ幅狭ク、白質ト灰白質トノ境界ガ明カナラズ。皮質各層ノ細胞分化モ亦、甚、不良ニシテ神經細胞異所存在多ク、神經纖維少ナキ爲メニ細胞ガ密在セル如キ像ヲ示ス。尙、神經細胞ノ發育不全像トシテ核ガ大、細胞體小ニシテ丸味ヲ帯ビ、突起ノ數少ナク、白質ノ幅狭キラ例トス。

II. 腦炎ニ因ル白癡。

腦炎ニ因ル白癡ハ白癡中、最、多數ヲ占メ重症白癡ヨリ輕症魯鈍マデノ差アリ。時ニハ精神症狀意外ニ輕ク、略、常人ニ近キモノサヘアリ。一般ニハ身體症狀ノ顯著ナル割合ニ精神症狀輕キラ例トス。身體症狀トシテ同病ニ固有ナルモノナシ。症狀ハ病竈部位・廣狹ニヨリ差アレドモ、而モ多クハ身體ノ一部・又ハ半身

ニ麻痺・拘攣・痙攣・發育制止・萎縮ヲ示スモノナリ。腦性小兒麻痺ノ大部ハ之ニ屬ス(第200圖參照)。

〔原因〕 發病ハ兒童期ナリ。之ニ2種ノ別アリ。1ハ急性症狀ヲ示スモノニシテ突然ト意識洞濁・發熱・譫妄・痙攣發作ヲ現シ、同時ニ麻痺、殊ニ半身・兩側・一部ノ麻痺ヲ示スコトアリ。而モ斯カル急性症狀ハ數日ニテ止ミ、遅クトモ數ヶ月ニシテ概、去リテ全治ス。但、再發ハアリ。中ニハ10ヶ月間モ癡呆狀ヲ續ケテ後、治リ、僅ニ一部麻痺・拘攣ヲ殘シ白癡トナル例アリ。

2ハ亞急性ニ起ル病型ニシテ、發熱ナク、突然麻痺ト痙攣トヲ發シ、ソノ後ニ異常氣質・性格トシテ刺戟性・憤怒性ヲ示スモノナリ。時ニ斯カル症狀ガ繰返シテ現レルモノアリ。尙、同様ナルコトガ胎生期ニモアルベシ。原因ノ不明ナル白癡ニハコノ種ノモノガ多カルベキナリ。

〔原因〕 急性傳染病、殊ニ猩紅熱・麻疹・いんふるえんざ・あんぎーな・百日咳・天然痘・耳下腺炎・ぢふてりー・肺炎、及、脊髄炎ト同様ナル病原體ニヨリテ發スルコトアリ。他ニ微毒性ノモノモアルベキナリ。後者ハ多ク亞急性ノ型ナレドモ、亦、急性ノ型モアリト思ハル。

〔病理〕 腦ノ病變ハ實ニ様々ニシテ囊胞形成、穿孔腦、縮底、硬化、小廻轉 Mikrogyrie 等アリ。時ニハ腦炎ノ如キ像ヲ示スモノニテ胎生期中毒ト解スベキ腦荒蕪 Hirnverödung モアリ。又、小廻轉ハ皮質下髓炎ニ基ツキテ起ルコトガ多ク、穿孔腦、腦硬化ハ血管異常・又ハ腦炎ガ徐々ニ發主セシ際ノ病像ナリ。

或種ノ腦炎ニハ微毒ト確ニ關係アリト思ハレル病症ナリト雖モソノ確證ヲ得ルコト難シ。東大脳研究室ニテ三友博士ガ家兎ノ實驗遺傳微毒ニテコノ兩者ノ關係ヲ證明ス可キ事實ヲ發見セリ。

III. 腦膜炎ニ因ル



第198圖 外傷ニ因ル癡患者ノ左側大脳半球ニ在リシ變化ヲ示ス圖(野中萬次郎博士例)

腦膜炎ニヨル白癡

白癡 Meningitische Idiotie.

〔原因〕 本症ハ少数ノモノナリ。時ニ流行性・散在性脳膜炎，稀ニ結核性・化膿性脳膜炎ノ結果トシテ來タル。

〔症状〕 臨牀上ニハ重症白癡ニリ輕症白癡・又ハ癡愚多ク，考慮・判斷ノ滯滞，感情ノ刺戟性・不慣性，意志薄弱ヲ主ナル症状トス。時ニハ病的意志薄弱・遲鈍症ヲ示ス型モアリ。

腦軟膜出血ニヨル白癡

IV. 軟腦膜出血ニヨル白癡

〔症状〕 多クハ初生兒ニ發ス。生後直チニ四肢ノ強直アリテ麻痺ノ無キ所謂，リットル病 Little'sche Krankheit トシテ現ル。之ニハマタ智力障礙ヲ缺クモノト著キモノトアリ。鉗子出産ノ場合ニ多シ。

頭部外傷ニヨル白癡

V. 頭部外傷ニヨル白癡

頭部外傷ノ爲メニ腦實質ガ直接ニ破壊サレ又ハ外傷ノ際ニ起ル血管攣縮ノタメ幼兒腦ニ變化ヲ生ズル例アリ(第199圖參照)。

腦性小兒麻痺

VI. 腦性小兒麻痺 Zerebrale Kinderlähmung.

〔症状〕 1. 腦性麻痺，2. 痙攣，3. 智能發達不良ノ三次主徴候ヲ示スモノニテ精神障礙ノ程度ハ時ニ高度ノ白癡ナルコトアルモ，マタ輕症ナルモノモアリ。中ニハ精神發達不良ヲ全然缺クモノモアリトス。

身體症状ニハ麻痺・痙攣ヲ現スホカニ舞蹈病運動，あてとーぜ運動，隨伴運動，失調，眼球麻痺等ヲ示スモノアリ。麻痺ハ半身，或ハ一部ノモノ多キモ，時ニハ兩側麻痺ナルコトアリ(第200圖參照)。尙，時ニハ麻痺ガ輕クシテ單ニ強剛，拘攣，あてとーぜ様運動，隨伴運動ヲ示スノモノモアリトス。

〔病理〕 腦ニハ癍痕，囊胞形成，穿孔腦，硬化像ヲ示ス。硬化癍ハ觸ルレバ固ク，周圍トノ着色異ナリ，鏡檢上ニハ癍痕組織ト變化セルヲ知ラル。

〔原因〕 腦炎，出血，外傷等ニ原因スルモノアリ。一種類ノ病ナラズ。



第199圖 腦性小兒麻痺，殊ニ兩側ニ麻痺ト拘攣トヲ示ス圖

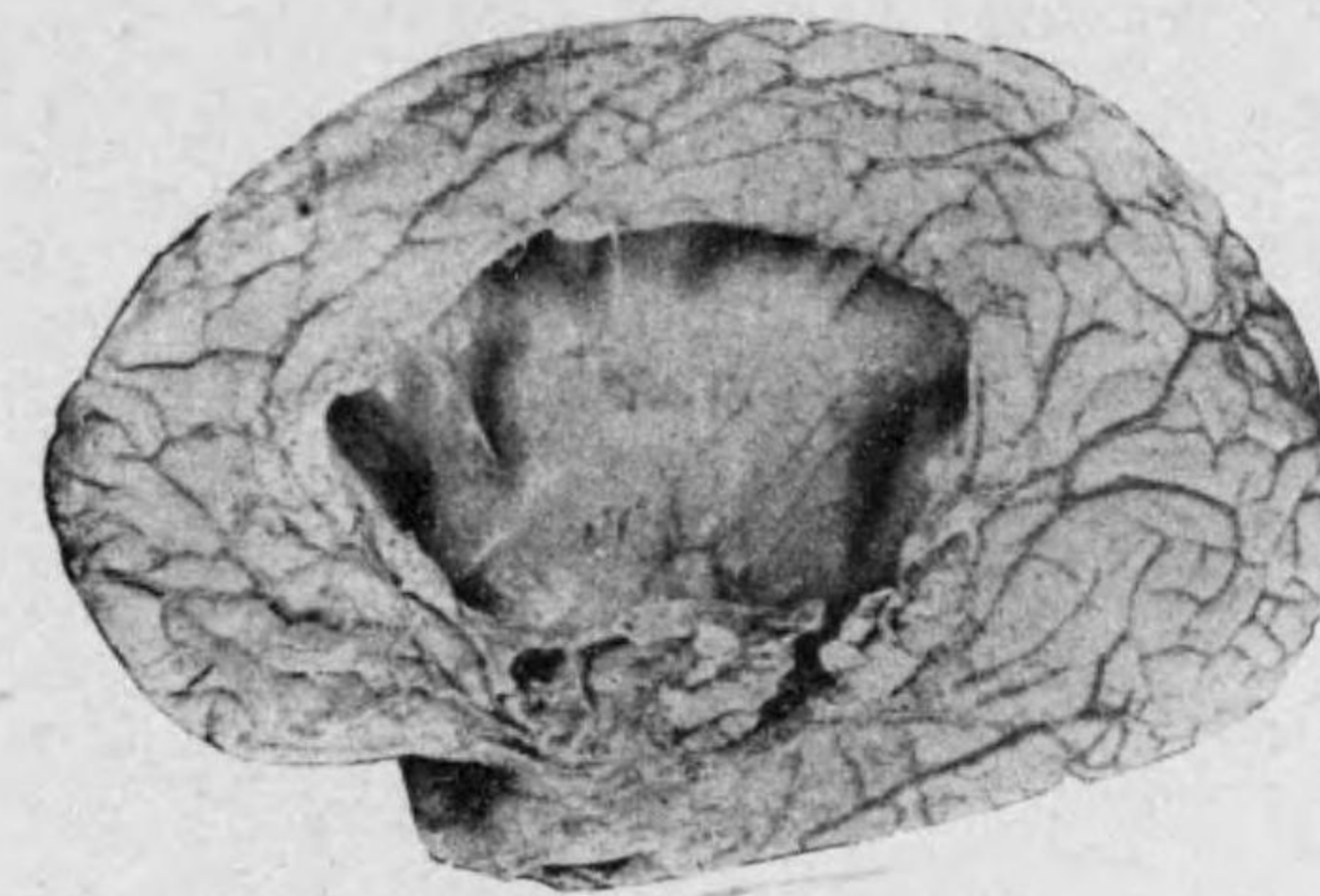
VI. 腦水腫ニ因ル

腦水腫ニ因ル白癡

白癡 Hydrozephalische Idiotie.

〔原因〕 多クハ先天性腦水腫ノ型ヲ示シソノ原因不明ナルモノ多キモ微毒性ノモノアルベシ。

〔病理〕 腦室ハ擴大シテソノ内ニ腦脊髄液ヲ蓄積スルコト多ク，腦實質



第200圖 腦水腫白癡者ノ側腦室ガ甚，擴大セルヲ示ス圖(早尾虎雄教授例)



第201圖 腦水腫性白癡ノ頭顱ノ形態ヲ示ス圖

ハ菲薄トナリ甚シキハ膜狀ニ變化ス。

鏡檢上，大腦皮質灰白質ハ甚，菲薄ナルノミナラズ，神經細胞・纖維共ニ減ジ，鉅體細胞ノ尖突起ハ螺旋狀ニ廻轉セル狀ヲ著ク示スモノアリ。脈絡叢ニモ變化アルコト多シ。

〔症状〕 頭圍ハ大ニシテ，頭蓋ハ著ク膨大ス。斯クテ頭ノ上方ハ膨レ顔ガ小サク見え(第202圖參照)，頭皮ニ現レル靜脈ハ怒張ス。時ニ視力衰弱・視神經萎縮シテ全ク盲セルモノアリ。四肢ノ發育マタ不良ニテ細長・羸弱，枯瘦セル腕・指ヲ示ス。關節，殊ニ手指關節ハ異常ニ弛緩セルモノ多シ。身體諸所ニ搖擗アリ，全身ノ痙攣アルモノモアリ。

精神的ニハ甚シキ重症ノ白癡ヨリ輕症ノ魯鈍ニ至ルマデノ諸階級アリ。中ニハ智力ノ異常輕ク，却テ意志薄弱・虛言・盜癖等ノ性格異常ヲ著ク示ス型アリ。尙，幼時ニハ明確ニ腦水腫アリシモノガ後日ニ至リ智力損喪ヲ著ク示サスモノアレドソノ中ニハ經驗ニヨル智識ガ豊富ナルタメ賢ク見ユルニ止マル例アリ。病勢ガ進行性ナルモノハ豫後甚，不良ナレドモ病症停止スルモノニハ豫後比較的好良ナルモノアリ。

〔白癡ノ豫後一般〕 白癡ノ豫後ハ之ヲ通ジテ不良ナリ。即，如何ニ教育シ又

如何ニ成長シテモ到底、常人ノ域ニ達スルコト不能ナルモノ常ナリ。若、之ニ違フモノアラバソハ診断ノ誤トス。サレド白癡トテ教育ニヨリ幾分カハ精神ノ發達ヲ促スコトヲ得、殊ニ或種類ノ型ニテハ自然ノ發達多少アリ。就中教育ニヨリテ或種ノ機能、特ニ智識ハ進歩スルモノナリ。但、其ノ發達ハ普通ノ人が考フルヨリハ僅微ナリトス。

コノ豫後ヲ定ムベキ據點ニハ白癡兒ニテハ注意ガ喚起サレ注意ノ集中・把持ヲナシ得ルモノ、記憶ノ存スルモノ、言語ヲ覺ユル形跡アルモノ等ハ豫後比較的好良ニシテ、癲癇發作早ク發シソノ後屢々繰返スモノハ不良トス。

白癡ノ状態ガ稍、良好ニ向ヒテモ破瓜期ニ至リ惡化スルモノアリ。是ニハ本來ノ精神發育制止ヲ招來セシ疾病ガ再發・又ハ増悪セシニ因ルカ、或ハ破瓜病・緊張病等ノ精神分裂病ガ合併セシタメトノ解説アリ。殊ニ腦水腫白癡ニテハ病勢進行性ノモノアリ。コノ豫後絶對不良ナレド靜止性、即、病勢ノ中止セルモノハ好良ナリ。幼若進行麻痺ノ豫後ハ最、惡ルク、生命モ亦、短キモノト知ルベシ。白癡ノ生存年限ハ一般ニ短シ。是ハ既往ニアリシ腦病ノ再發・増進、又ハ外界ノ危害ニ對スル抵抗弱キタメト考フ可シ。結核ニテ斃レルモノモ頗、多シ。

〔白癡ノ診断〕 白癡ノ診断ハ幼時ニ於テ特ニ必要ナリ。蓋、之ニヨリテ特殊教育ヲ早く施ス可キ方針ヲ得レバナリ。而テ幼兒ニテ白癡ト思フベキ點ハ注意ガ甚、鈍ク、飢餓・濕潤ニ對スル不快感ヲ示サズ、母ノ近ヅクモ喜バズ、幼稚ナル感情ノ發達スラ缺ケ、一面絶エズ不安・啼泣・異常ナル茫乎狀ヲ示シ、他面頭蓋形態異常、四肢運動障礙、四肢位置ノ不自然ナルコト等ヲ認メラルルモノナリ。稍、長ジテ普通ナラバ既ニ六小便ヲ教ユベキ時期ニ達シテモ之ヲ教ヘズ、言語・齒牙・起立・歩行ノ發育凡テ遅クレ、時ニハ不能ナルカ顛門ノ閉鎖ガ遅ク、尙、長ジテ言語無ク、到底、學校教育ニハ堪ヘザルコト等ノアルニヨリ白癡ト診断ス可キナリ。程度ノ輕キモノニハ智能検査ヲ行フ可シ。其ニハ先、物品ニツキテ言葉ノ數、觀念内容ノ多寡ヲ一々質問シ、次ギニ手近ニアル物品ノ色彩・大小・數等ノ性状觀念ヲ検査スルヲ順序トス。余ハ昔、次ギノ如キ白癡兒ニ用ユ可キ検査法ヲ編ミ、何ノ程度ニ該兒ガ正シキ答ヲナスカラ測レルコトアリ。

白癡兒智能検査法 1. 被檢者ノ目前ニテでんでん太鼓ヲ動カストキ被檢兒ガ之ニ注意スルヤ否ヤ。ソノでんでん太鼓ヲ動カセバ該被檢兒ハ之ヲ見送ルヤ否

ヤ。若シ見送ル場合ニハ同人ノ眼ト頭トノ共同運動ヲ檢ス可シ。同法ニヨリ被檢者ノ注意・視覺トソノ視覺運動トノ關係ヲ知ル。2. 被檢者ノ後ヨリ竊ニ聲ヲ掛クル時被檢兒ガ之ニ對シテ如何ナル態度ヲ示スカ。コハ聽覺、及、聽覺ノ注意ノ検査トナル。3. 或物ヲ被檢者ノ前ニ置ク時、被檢者ガ之ニ注意スルカ、ソノ後、之ヲ注視シ、或ハ之ヲ取上グルヤ、其ノ折ノ運動狀況ヲ檢ス。之ハ意志性把握運動發達如何ト・ソノ折ノ細カキ手指運動ノ検査トナル。4. 被檢者ノ目前ニ食ベ物ト普通人ガ食ベザル物トヲ置ク。然カル時ニ被檢兒ガ如何ニ之ヲ取扱フカ。コハ簡單ナル認識ト差別力トノ検査ナリ。5. 被檢者ノ目前ニテ食物(煎餅類)ヲ紙ニ包ミテ見エヌ様ニスレバ被檢兒ハ之ヲ如何ニスルカ。コハ簡單ナル記銘ト慾望・意志ノ検査トナル。6. 被檢者ニ對ヒテ挨拶ヲスレバ被檢者ハ如何ナル態度ヲ示スカ。之ヨリ模倣運動ノ有無・竝ビニソノ狀況ヲ知ル。7. 身體部位ノ指示。例之、被檢者ニ眼・鼻・口ハ何處カト問ヒ之ヲ指示セシム。之ガ出來レバ稍ヤ困難ナル問題トシテ、同人ノ耳・手・指・腹・眉・肩等ヲ指シテ何ト云フカト問フ。コハ言語ノ理解、具體觀念、殊ニソノ容易ナル身體部位觀念ノ存否ヲ檢シ得ルナリ。8. ソノ上位ニアル手近ナル具體觀念發達ノ検査トシテハ實物ノ稱呼、例之、毬・茶碗・筆・(懷中)時計等ヲ凡テ實物ニテ示シ其ノ名ヲ問フ。9. 更ニ稍ヤ進メルモノトシテ繪畫試驗ヲ用ユ。ソノ i ハ兒童ガ普通觸接スベキ玩具、器具類ノ畫、例之、人形・紙鳶・太鼓・獨樂・帽子・雨傘・土瓶・桶・着袴・机・本等ノ圖ヲ示シテソノ名ヲ問フ。ソノ ii ハ稍、特別ノ經驗ナクテハ知り難キ具體觀念ヲ檢スル法ニテ自然物トシテハ例之、犬・猫・鼠・鶏・鯛・柿・栗・車・川・舟・橋・富士山・太陽・月等ノ畫ヲ示シテ何ト云フカラ問フ。10. 簡單ナル性状觀念・比較能力ノ試驗トシテハ i ハ上・下・前・後ノ觀念検査ニテ、上ハ・下ハ・前ハ・後ハト問フ。ソノ ii ハ大小ノ認識検査ニシテ徑、略、2寸位ノ護謄紙ト1寸位ノ外形同ジ毬ヲ示シ何レガ大ナルカラ問フ。ソノ iii ハ長短ノ検査ニテ、紙上ニ1寸位ト2寸位ノ長サナル2線ヲ1列ニ畫キアル畫ヲ示シテ何レガ長キカラ問フ。ソノ iv ハ輕重ノ差ノ問ニテ、外見同様ナル9匁ト15匁ノ紙箱ヲ手ニ載セテソノ何レガ重キカラ問フ法ナリ。

〔療法〕 豫防ニハ變質者ノ血族結婚ヲ避ケ、父母ノ大酒ヲ禁ジ微毒ヲ治シ、受胎中母體ノ心身ニ激變ヲ來タサザル様ニ努ムベキナリ。小

兒ニハ頭部ノ外傷・傳染病ニ罹ラザルヤウ心掛クル必要アリ。既ニ白癡兒タルコト明白ナレバ原因療法トシテ先天性梅毒ニ基ケルモノニハ驅微療法ヲ行ヒ、甲状腺白癡ニテハちれおいじん類ヲ用キ、腦水腫性ノモノニハ頭部ノ壓迫・又ハ穿刺法ヲ試ムルモ可ナリ。小顛ノ場合ニハ頭蓋骨ノ手術ヲ行ヒテ頭蓋腔ヲ擴ゲントスルノ考案モアレド是ハ腦發育ヲ促スニ足ラス場合多シ。即、ソノ效果ハ顯著ナラヌヲ例トス。對症療法ニハ不安・痙攣ニ向ヒ鎮痙劑・臭素加里類ヲ用キ、麻痺ニハ電氣療法・まっさーじ等ヲ行ヒ、手淫・不潔、其ノ他、發作性ニ現ルル精神症狀ニハ其ニ適スル處置ヲ講ズベシ。主ナル療法ハ教育治療トス。

白癡院 白癡教育ハ其ノ智能程度ニヨリ差アリト雖モ最重症ノモノハ白癡院 Idioten-anstalt ニ送リテ保護處置ヲ行ヒ、稍、輕症ナルモノニハ白癡學校 Idiotenschule ニテ教育スルヲ可トス。若、徳力障礙顯著ナルモノヲ然カラザル白癡・又ハ癡愚ト伍シテ同一ノ場所ニ於テ教育スルハ双方ノ爲メニ甚、不利益ナリ。特別ノ收容所ニ容レテ教育スルヲ可トス。又、コレヲ普通ノ感化院 Reformatory, Besserungsanstalt ニ收容スルコトモ適當ナラズ。蓋、後者ハ智能缺陷ガ無キカ、有リテモ輕症者ニシテ悖德症アルモノヲ容ルベキ場所ニシテ兩者ハ區別シテ教育スルヲ要ス。

白癡院ハ1824年エスキロールノ弟子ペロムニヨリテ其ノ必要ヲ唱ヘラレ、1828年佛國ビセートルニ創立セラレタルモノヲ嚆矢トス。次イデ埃國ザルツブルグニ建設セラレ、19世紀ノ半バニ至リ全歐洲各所ニソノ證立ヲ見ルニ至レルモノナリ。本邦ニテハ石井亮一氏ノ創立ニ係ル瀧野川學園ヲ以テ鼻祖トス。而モ本邦ノコノ種設備ハ外國ノソレニ比シ遙ニ遜色アリ。努ム可シ。

同院ニテノ教育法ハ白癡ノ程度ニヨリマタ教育者ノ經驗ニヨリテ差アルベク一様ニハ記シ難キモ、一般方針トシテハ次ギノ如キモノナリ。即、第一ニ必要ナルコトハ自己ノ身ノ廻リヲ整ヘ、姿勢ヲ正シ、次イデ感覺運動ノ練習、即、手ノ動カシ方、歩キ方ヲ直ホシ、發音・身體ノ運動障礙ヲ正シ、殊ニ發音ノ匡正ヲ行ヒ、身體ノ失調・振顛等ハ訓練ニ因リテ治療セシムベシ。ソノタメ粘土細工・籠細工等ノ手工ガ效果アリ。尙、斯カル作業療法ハ同時ニ精神訓練トモナリ、

又、將來ノ同人獨立ヲ助クベキ職業補助トモナリテ甚、必要ナル教育法トス。授業法ニハ容易ニ覺エラレル一般的ノモノヲ先、最初ニ必要ナル分量ダケ教ヘ、ソレモ直接ニソノ物ヲ見セ、其ノ使用法ヲ示シナガラ其ノ名稱ヲ覺エシムルヤウニ心掛クベキナリ。

之ニハ法則ニ叶ヘル感覺的、即、直觀教授法 Methodischer Empfindungs- oder Anschauungsunterricht トテ必要ナル物品ヲ何回モ視セ、又ハ聽カセ、或ハ觸レシメテソノ感覺・理解ヲ確實ニナシ、次イデ其ノ觀念、及、言語表示ノ教授法 Unterricht in Vorstellungen und Wortbezeichnungen ニ移ル。即、物品ヲ見セ、或ハソノ物ヲ色々ニ動かシテソノ使用法ヲ目撃セシメテ會得セシメ、次イデ其等ノ物品ヲ目前ニ置キソツ其ノ名稱ヲ教ユル法ナリ。目前ニ物品ヲ置カズ、唯、言葉ノミニテ物ノ名稱・使用法等ヲ教フ Reine Sprachübungen ハ白癡教育ニハ害アリテ益ナシ。尙、ソノ教示スベキ物品ハ成レ可ク實用的ナル物ヲ選ムベキナリ。

以上ヲ終ラバ次ギニ同様ノ物品ヲ同時ニ多數見セ、其等物品相互ノ比較ヲ爲サシメ、以テ其等諸物ノ性質中、共通シテ必要ナル一部觀念ヲ自得セシメ、又ハ教ヘ、更ニ偶素タル性質ト要素タル性質トヲ區別セシメ、茲ニ比較・類別ノ念ヲ催起セシム。コハ低級ナル抽象觀念ノ教育法トモナルナリ。形態ノ比較ヲ教フルタメニ特別ニ作ラレタル特殊教材ヲ用ユルコトモヨシ。即、丸・四角・三角ノ形ヲ刻込メル板ト之ヲ嵌込ムベキ同形ノ丸・四角・三角等ノ形ニ造リアル小板トヲ見セ、後者ノ各小板ヲ前者ノ之ニ適當スル場所ニ嵌込マシムル法ナリ。

斯カルコトニ練習ヲ積ミタル上ニテ色・空間・時・數等ノ性状觀念ヲ實物ニ就キテ少數ヅツ教フベシ。ソノ後ニ關係觀念・比較觀念ノ授業ニ進ムモノトス。サレド白癡者ニテハソノ理解ハ困難ニシテマタ其ノ必要モ無キナリ。

以上ノ授業ニハ凡テ之ニ適當セル特殊器具ヲ使用シ、成レバク實物ニ就キテ教フル様ニ心ガクベシ。

次ギニ進ミテ聯想・思考ノ教授法トナル。之ニハ小話ヲ聞カシメ、後、ソノ兒童ニ之ヲ話サス法アリ。此等ノ教育ニ堪ヘ、熟達スレバ、始メテ算數ノ授業ヲ始ムベシ。算數ノ授業ハマタ常ニ實算ノ法ニヨルベシ。單ニ言語ノ上ニテ高級ナル算數ヲ云ヒ現スコトヲ教ユルハ内容ヲ理解セヌモノ多キ故ニ避ク可シ。若、

止ムヲ得ズシテ之ヲ教ヘザル可カラザル時ニハ特ニ教ヘタルコトヲ確實ニ理解シタルヤ否ヲ一々注意シテ吟味スルヲ要ス。

特ニ注意力ノ養成トシテ或物ヲ視フコト・探スコト・傾聴スルコトヲ練習セシムルモヨシ。徳力教育ニハ虚言ヲ弄スルコト能ハザル様ニ仕向ケ、若、偽リヲ言ヘル時ニハ直チニ其ノ事ヲ實地ニ行ハシメ、以テ事實ナラヌコトヲ自覺セシムルヤウニ働キカケ時ニハ自ら悔ユルコトアラシムベキナリ。訓育上、處罰ヲ行フ必要アル時ニハ何故ニ罰セラルルヤヲ自覺セシムルヲ要ス。ソレニハ不良行爲ノ直後之ヲ罰スベシ。之ニハ體罰ノ止ムヲ得ヌコトアリ。サレドソノ折トテ頭ヲ打ツコトハ避クベシ。尙、一般ニ惡レキ所業ヲ罰スルヨリモ善行ヲ賞スル方ガ結果ハ良シ。又、節儉ヲ訓へ、之ヲ獎勵スルタメ白癡院内ニ特殊ノ蓄財函ヲ設置シ、以テ節約ノ氣風ヲ養成セシメ、或ハ特賣店ヲ假設シテ該兒童ニ作業ヲ勸メ、自己ノ勤勞ニヨリテ得タル假想貨幣ヲ以テ自己ノ欲スル物品ヲ購ハシメ、ソレヨリ勞働・金錢・自己ノ希望スル物品獲得ナドノ諸關係ヲ教フルニ適スルコトアリ。

## 癡愚 第二 癡愚 Imbecillität.

〔定義〕 癡愚ト名ツケラルルモノノ中ニハ程度ニヨリ種々ノ階級アリト雖モ概シテ白癡ニ比シテハ精神發育著ク進ミ、殊ニ知覺作用・具體觀念ノ發達ガ進歩シ、日常ノ應對・動作ハ一見、常入ト大差ナク行ハレテモ思考作用ニ缺クルトコロ大ナルモノトス。

〔症狀〕 容易ナル物ハ之ヲヨク理解シ、自動的ノ注意ハ存在スルモ足ラザルトコロアルヲ免レズ。殊ニ注意ハ散亂シ易ク、鈍キモノ多シ。爲ニ複雑ナル事物ヲ領會スルコト難シ。重症癡愚ニテハ觀念内容貧弱ニシテ色・時・數ナドノ性狀觀念、比喻・比較・因果等ノ關係觀念ハ發達惡シ。抽象概念ニ至リテハ明晰ナル觀念ヲ缺キ、理解セヌモノ甚、多シ。記憶モ惡ルク、忘レ易ク、追想ノ誤謬ニ富ミ、虚言多シ。只、器械的暗誦ニハ堪能ナルモノアリ。更ニタトヒ記憶良クトモ之ヲ他ノ精神作用ト結付ケテ利用シ有能的ニ働カス力ハ甚、乏シトス。

聯合ニハ長キ時間ヲ要シ、聯合ノ性質ニハ文章型多シ。談話ハ冗長

ニシテ無駄多ク要領ヲ得ズシテ簡潔ニ言現スコト難シ。思考力、殊ニ工風・應用ノ才ハ一般ニ不良ナルヲ免レズ。判斷ハ大體ニ遅ク、且、甚、不良ナリ。特ニ或事物ノ前後關係・相互關係等ヲ洞察スルノ力ナシ。從テ容易ナル算術モ解キ能ハヌモノ多ク、就中、應用問題ハ判ラヌモノ普通ナリ。日常ノ出來事ニ對スル推理力モ乏ク、行動ハ他人ノ言行ニヨリ左右セラレ易シ。斯クテ就學兒童ニハ成績劣等、殊ニ讀方、綴方、就中、算數ノ成績ガ惡ルキヲ普通トス。幻覺・妄想ハひすてりー其他ノ精神異常合併セザル限り存セザルモ他人ノ言行ニハ乗セラレ易ク、自己ノ期待感情ニヨリテ幻覺ニ近キ思慮・又ハ考違ヲ呈スルコトモ屢々アリトス。

感情ハ溫和、平氣、遲鈍ナルモノ多キモ、又、怒リ易キモノモ少ナカラズ。殊ニ幼稚ナル自尊心強ク、己ノ愚ナルヲ辨ヘヌモノ、謝恩ノ念ニ乏キモノ多シ。尙、時ニハ復讐心ニ富ミ、自我心・利己心ノ熾ニシテ同情・博愛等ノ公共心發育セザルモノ少ナカラズ。動作ハ普通ニテハ常入ト略、大差ナキモ、多少ハ小兒ノ如キトコロアリ。マタ迂遠ナル點アルヲ免レズ。殊ニ飽キ易ク、一事ニ熱心ナルモ久クハ續カズ。輕舉、沈着ヲ缺キ、不安ナルモノアリ。斯クテ平常ノ言動ハ大體常人ノ如ク見エテモ特別ノ出來事、殊ニ困難ナル立場ニ際會シテハ忽、智恵ナキ・愚者ラシキ所作ヲ演ジ、或ハ又、意志薄弱、感情ニ激セラレ易キ爲メ無分別ナル行動ヲ敢テスルコトモ多キナリ。

癡愚者ハソノ性狀・行爲ヨリ興奮性・遲鈍性トニ別ケラレ興奮性ノモノハ感情轉換性ニシテ舉動不安、争ヒヲ好ミ、自己情慾ヲ抑フルノ力乏ク、爲メニ犯罪ニ陥ルコト稀ナラヌモノトス可シ。ウチ徳力ノ不良ガ智力缺陷ニ比シ著キ型アリ悖徳狂ノ一部ハコレニ屬ス。第203圖ハソノ1例ニシテ同人ノ風貌ニハ同症ニ固有ナル狀ヲ示ス點多シ。反之、悖徳狂遲鈍性ノモノハ無爲ニシテ溫良愛スベク御シ易キトコロアルモ、怠惰ニシテ虚言多ク、悔ユル情ハ乏トス。



〔病理〕 癡愚ヲ來ス原因ハ1ナラズト雖モ前記、白癡ノ原因ト大體ハ同ジ。只、前者ニ於ケル病變ノ程度ガ輕キモノナリ。

魯鈍 Debilität.

學者ニヨリテハ魯鈍ヲ癡愚ノウチニ算入シテ之ヲ特別ニ區別セヌ人アリ。サレド多數ノ學者ハ之ヲ特殊ノ狀態トシテ區別シコノ病名ヲ特設ス。



第202圖 悖德性重症癡愚者ノ圖

〔定義〕 精神發育制止ノ度輕シ。殊ニ癡愚ヨリハ輕クシテ、一見、常人ト思ハル程度ナレドモ、詳細ニ検査スレバ思考・熟慮・高等ナル感情ノ發達ガ不良ニシテ、意志殊ニ努力心ノ乏キコトヲ明白ニ示スモノトス。從ツテタトヒ教育サレテモ到底、常人ノ如キ成績ハ得ラレヌモノナリ。

〔症狀〕 具體觀念ノ發達ハ常人ノソレト大差ナシ。日常ノ談話モ亦、常人ト略、異ナラヌモ、談話ハ冗長ニシテ要領ヲ捕捉シ難ク、明瞭ナル抽象觀念・概念ノ發達乏ク、マタ比喩・推理ノ念ニモ暗ク、縱令、文字ニ於テハ高尚ナルコトヲ記スモ其ノ正當ナル眞意義ヲ理解セズ。感情・行爲、亦、之ニ伴ナハヌモノ多シ。

性行ニハ溫良ナルモノアレド自恣・子供ラシク怠惰ノ風アリ。正業ヲ進ルヨリモ浮躁・不良ノ業ニ傾キ、酒色ニ誘レ易ク、他人ノ言動ニ乗ゼラレ易ク、煽動セラレ易キモノ多シ。殊ニ眞意ヲ解セズシテ直ニ衆議ニ附和・雷同スルモノ多ク、或モノハ理由ナキ頑固、烈キ貪慾、吝嗇、意志薄弱、神經質、ひすてりー、悖德症ヲ伴ナフモノアリ。

本症ニモ遲鈍性・興奮性ナル別ヲ設クルコトヲ得。遲鈍性ナルモノハ社會的ニ大ナル危害ナキモ、興奮性ノモノハ感動性犯罪者トシテ容易

ニ毆打・侮辱等ヲ行ヒ、マタ多クハ窃盜・浮浪ヲナシ、進ムデ習慣性犯罪者トナリ、時ニ兇惡囚トシテ社會ニ害毒ヲ流スモノ少ナカラズ。

第九表 1000 人少青年受刑者ノ精神病學的分類 (吉益脩夫博士調)

精神薄弱(7.9%)	意志薄弱症+自我顯示+鈍感性
白癡..... 1	性..... 1
癡愚.....16	” + ” +興奮
癡愚,兼,もるひね中毒..... 1	性..... 1
癡愚,兼,癲癩..... 1	氣分易變性..... 1
魯鈍.....39	興奮性.....17
外傷精神衰弱..... 2	興奮+鈍感性..... 3
いんふあんていりすむす..... 3	鈍感性..... 3
精神薄弱限界.....16	發揚性..... 5
腦炎後性格變化..... 3	憂鬱性..... 2
腦震盪後遺殘狀態..... 5	感情交代症..... 7
癲癩..... 2	自我顯示性..... 1
精神分裂病..... 1	空想家, 虛言者..... 3
躁病..... 1	過敏性..... 4
鬱病..... 1	病的衝動者..... 1
病的人格,及,反應(33.7%)	神經質.....14
反應めらんこりー..... 1	偏執病疑似..... 2
拘禁精神病..... 5	精神分裂病疑似..... 2
神經症..... 3	癲癩疑似..... 1
ひすてりー..... 6	神經衰弱.....40
意志薄弱症(意志不定症)..... 152	もるひね中毒..... 1
意志薄弱症+鈍感性..... 12	酒精中毒..... 1
” +興奮性.....32	ちっく..... 1
” +自我顯示性..... 6	其他..... 7
” +興奮+鈍感性.....12	異常者合計.....439 (43.9%)

茲ニ參考ノタメニ少青年犯罪者中ノ精神異常ノ種別、並ビニ其ノ多寡ヲ表示スレバ第九表ノ如シ。但、斯カル調査ハ本邦ニ於テハ既ニ甚、多ク存シ、調査セル場所モ少ナシトセズ。ソノ調査セル人ト場所トニヨリソノ成績ハ一様ナラヌモノト知ルベシ。殊ニ地方感化院ニテハ低能兒多ク、都會ノソレニハ少ナキ

ナリ。前頁掲ゲタルモノハ吉益脩夫博士ガ東京ニ於ケル 調査ナレバ低能ガ著ク  
少ナキモノカト思ハル(第九表参照)。

[合併] 低能者ニハひすてりー、強迫症、躁病、抑鬱状態、或ハ斯  
ク病名ヲ判然ト決定シ難キ定期性抑鬱・興奮、輕キ精神原因ヨリ發スル  
心因性・又ハひすてりー朦朧状態、ソノ他ノひすてりー症状ヲ合併スル  
モノ多シ。サレド其ガ癡愚ソレ自身ノ症状カ將、又、之ニ合併セル躁  
鬱病等ニ因ル症状カ解シ難キ例モ甚、多シ。癡愚・乃至ハ魯鈍者ガ 14-1  
5 歳以後ニ於テ精神分裂病ヲ發スル場合多シ 接枝破瓜病 Pprophebe-  
phrenie ナル名アリ。

接枝破瓜病

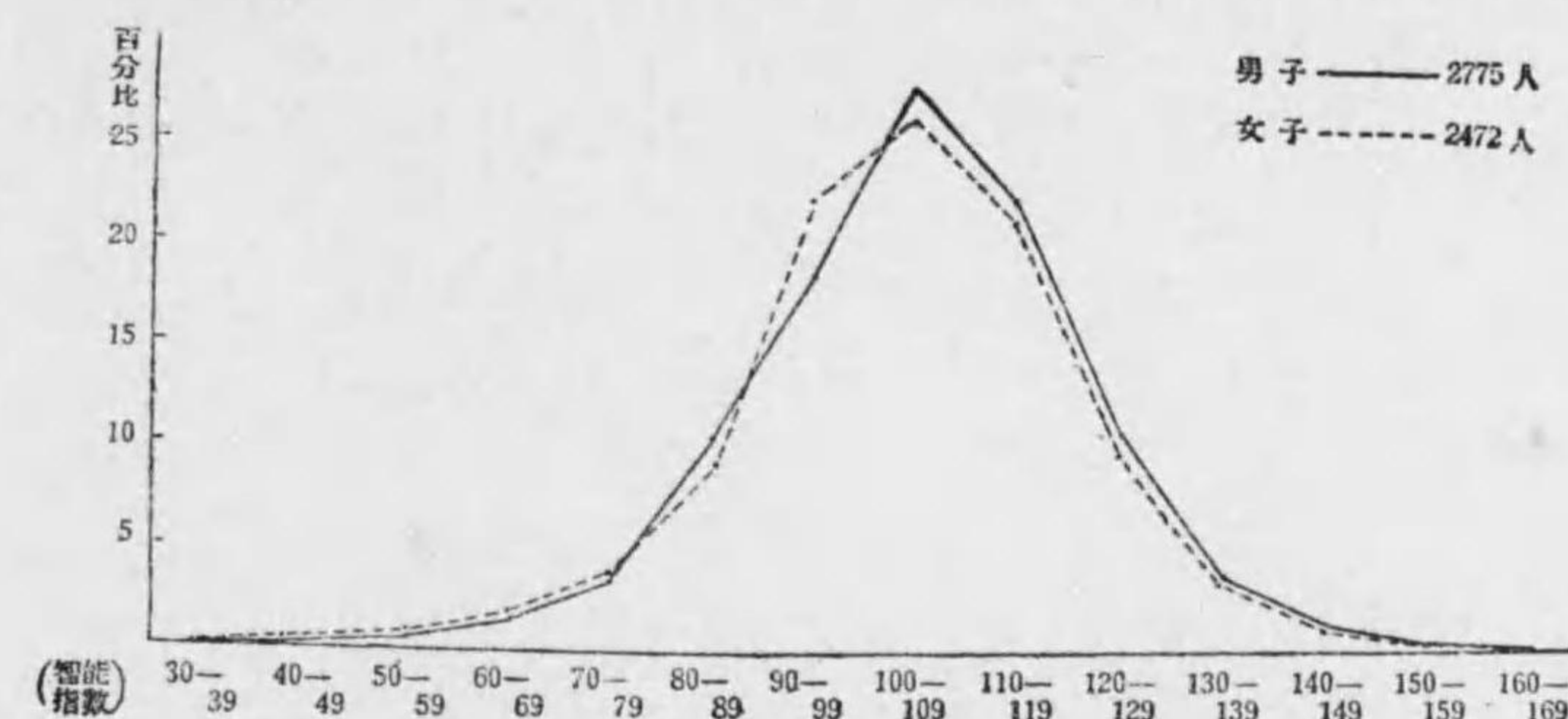
クレペリンハ之ニツキ或種癡愚者ノ精神發達不良ニシテ 癡愚ト思ハレ居ルハ  
幼時、早クモ精神分裂病ニ罹リ居リシガタメト解説セリ。

[身體症状] 全身ノ發育不良 ナルモノ多シ。小兒期ニ於テ頭圍・胸  
圍・身長・體重等凡テ常兒ニ劣リ、頭形異常、變質徴候、重聽、弱視、  
發音不良、殊ニ訛癖、腺様増殖、其ノ他ノ淋巴腺腫脹等アルモノモ多  
シトセラル。

[診斷] 小兒期ヨリ言語・歩行ノ發育遅ク、遊ブニモ年弱ノ子供トノミ遊ビ、  
就學シテモ學業成績面白カラズ。或ハ怠惰ニシテ學ヲ好マズ、又ハ注意散漫・遲  
鈍、理解不良、記憶惡ルク、就中、算數ノ能力薄キコトヲ知ラルル場合多シ。  
稀ニ或種ノ記憶ニ甚、巧ミナルモノアレド應用スルコト出來ズ。性行ニハ品性  
粗野、時ニ不正行爲アリ。斯クテ注意深キ父兄ヨリ夙ニ異常兒ト氣附カルモノ  
多シトス。加之、時ニハ惡戯・虚言・窃盜・放火等ノ不良行爲甚シク、家庭ニ於  
テ父兄ニ心配ヲカクルコト少ナカラザルニヨリ注意セララルモノアリ。尙、智  
能發育不良ガ比較的輕クシテ不良行爲ノミ目立ツモノアリ。斯カル際ニハ入念  
ニ精神検査、殊ニ智能検査ヲ行フベシ。

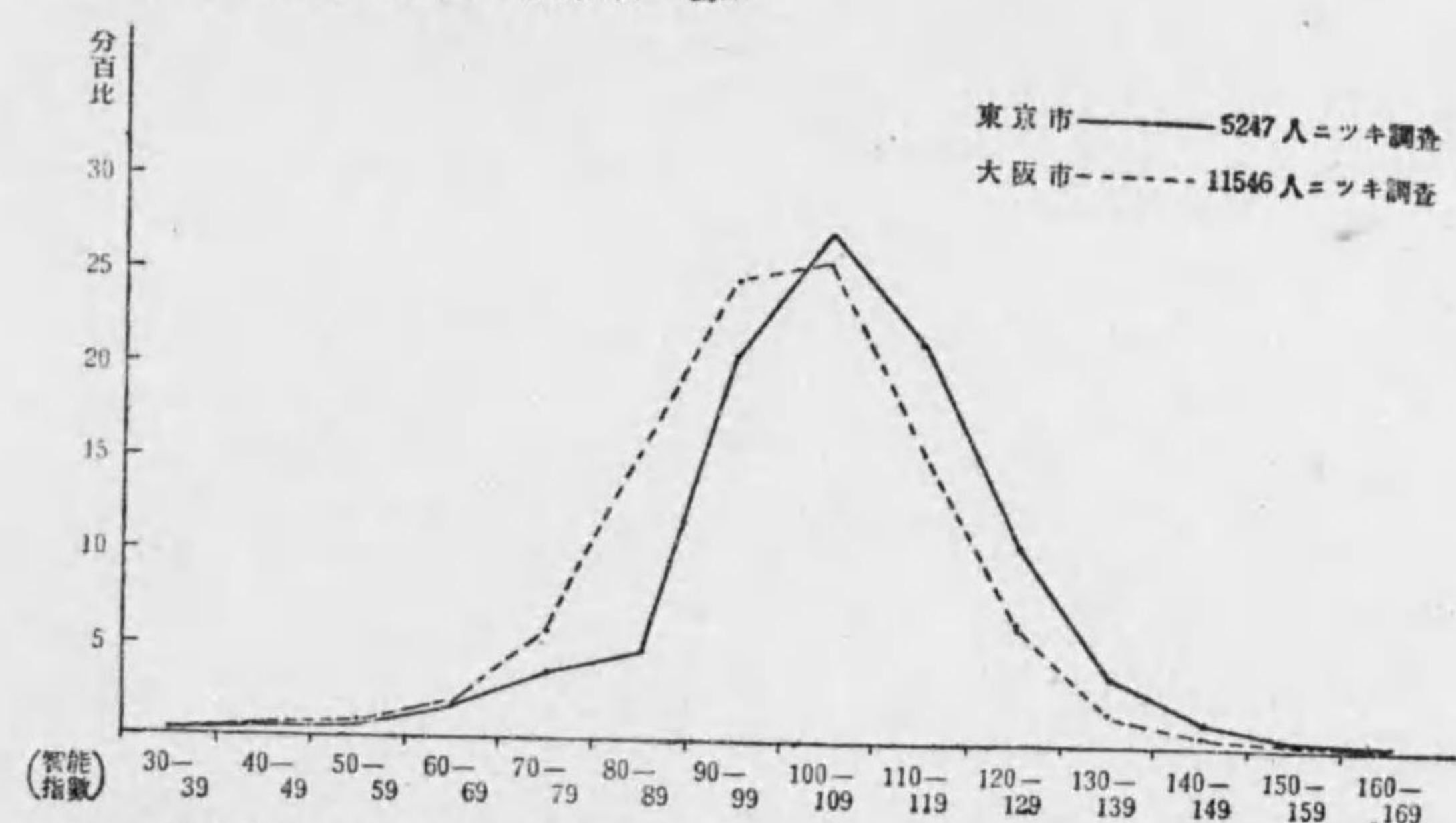
小兒ノ智能検査ニハビネー Binet 式智能検査法良キモ(第二表参照)、大人ノ  
智能検査ニハ余等ノ撰定セル法(本書附録参照)、又ハ腦研式智能検査等用キラ  
ル。前法ニテハ知能得點ガ 20 邊ナレバ魯鈍、15 以下ハ癡愚、5 以下ハ白癡ト  
シ、後法ニテハ 30 點位ノトコロガ常人ト精神薄弱者トノ境トセラル。

大人ニ用ユベキ臨牀的智能検査法ハ主トシテ對話法ニヨル。即、先、指南力  
ヲ檢シ、次ギニ日常彼ノ眼ニ觸レ居ル物ヲ指示シテソノ名稱ヲ問ヒ、以テ具體  
觀念ノ多寡ヲ知り、ソノ後ニ稍、困難ナルベキ性狀觀念ノ問題、例之、色・數・  
時・方向ノ稱呼、人事ニ於ケル續キ合ヒノ問題、地理歴史ニ關係アル質問、政治・  
宗教・倫理・道德ニ關スル抽象事項等ヲ問ヒ、終リニ算術ノ問題ヲ課シ、更ニ



第 203 圖 東京都小學兒童ノ性別智能指數ノ分布狀況比較圖

吉益脩夫博士、喜田正春兩氏ガ昭和14年6月東京都小學校兒童ニ實施  
シタル個別智能検査成績報告ニ據ル



東京市 0.04 0.13 0.42 1.70 3.49 9.74 20.09 27.09 21.63 10.50 3.65 1.24 0.19 0.091  
大阪市 0.03 0.17 0.61 1.96 5.95 15.28 24.73 25.87 16.71 6.50 1.95 0.40 0.08 0.02

第 204 圖 東京都ト大阪市トノ小學兒童智能指數ノ分布狀況比較 同上

應用問題2-3ヲ與ヘテソノ答案ヲ求メ、以テ同人ノ智能ノ大體ヲ探リ、又、同人ガ大凡何歳位ノ普通兒童智能ヲ有スルヤヲ定ムルヲ順トス。

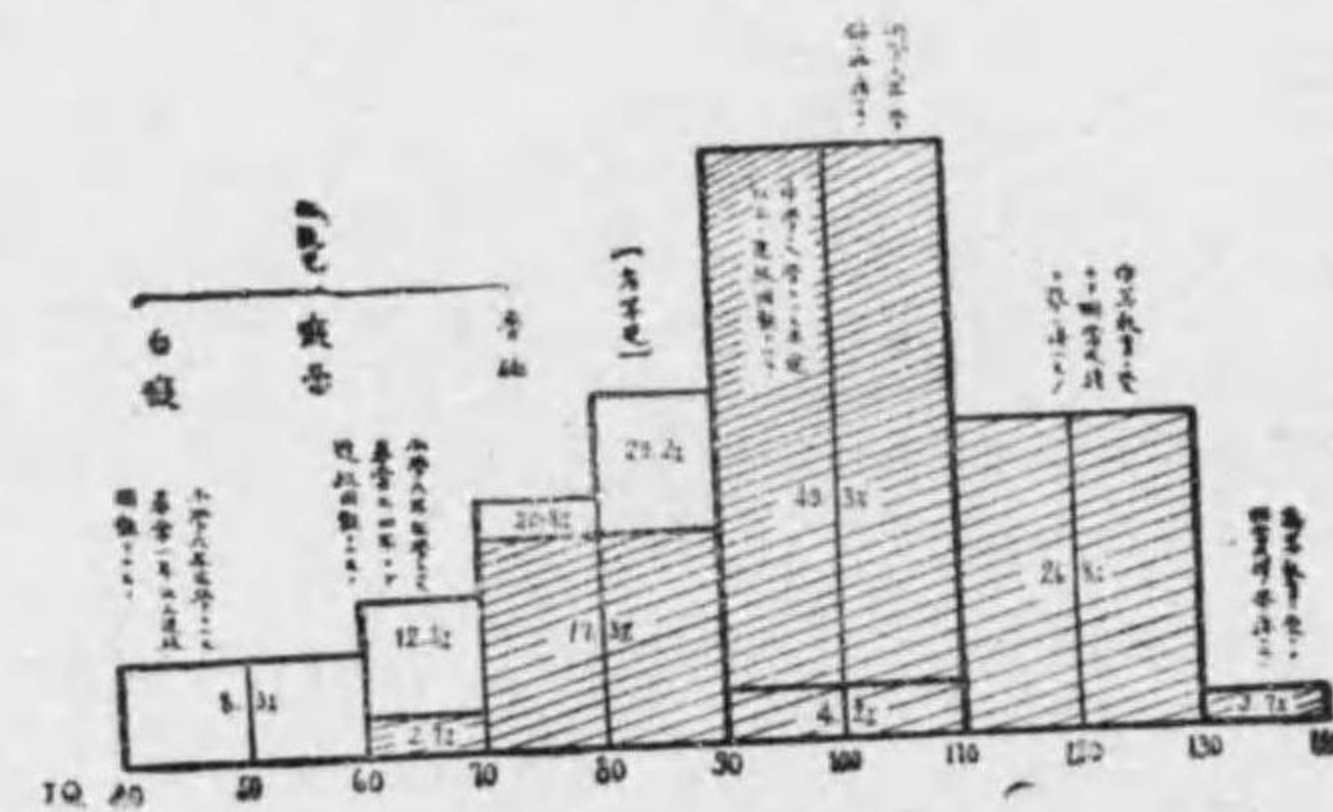
シオリー Sioli ハ殊ニコノ目的ニ適ヘル問題集ヲ古クヨリ案出シ居タリ。即、ソレニヨレバ先、人體諸部位ノ名稱、父母兄弟親族ノ稱呼、時場所ニ關スル名稱、算數、職業ノ種別等ヲ問ヒ、進ムデ宗教・歴史上ノ諸事項、國家概念、貨幣・美術・道德等ノ諸觀念ヲ此ノ順序ニヨリテ問フモノナリ。

次ギニ其ノ者ノ目前ニ示ス動作・感情・意志ノ狀況ヲ見、後者ニヨリ同人ノ智能發育制止狀態ト程度トガ間接ニ定メラレ次イデ何故斯カル精神發育制止ガ來リシカノ原因調査ニ進ムベシ。コノ原因検査ニ因リ初メテソノ教化能力・豫後・ソノ他ノ特性マデヲモ豫知シ得ルモノトス。同人ガ癲癇性白癡、進行麻痺ニ因ル白癡ナレバ豫後ハ極メテ不良ナリトス可ク腦水腫白癡ナレバ豫後ハ比較的好良ナルモノ多シト知ルベシ。

幼時、特ニ學齡期ニ於テハコノ精神薄弱者ガ低能兒トシテ早く檢出セララルベキ要アルモノトス。

低能兒ノ數ハ大阪市ニテノ調査ニヨレバ(第204圖參照)、尋常小學生徒中低能兒ハ2%、劣等兒ハ18%アリトセラル。而シテコノ低能ト稱セラルモノノウチニハ白癡兒・癡愚兒等アリト思ハル。マタ大正15年ニ大熊泰治教授ガ時ノ東京市某小學補助學級ヲ檢査セシ所ニヨレバ(第206圖參照)、同校生徒中 I. Q. 60 以下ノ生徒數ハ8.3%、I. Q. 60—70ノモノハ12.5%、I. Q. 70—80ナルハ20.8%、I. Q. 80—90ノモノハ29.2%、I. Q. 90—110ナル普通生徒ハ僅ニ4.2%位ノミナリト云フ。

〔類症鑑別〕 生來性癡愚ト後天性癡呆トヲ區別スル事ハマタ必要ナルコトナ



第205圖 普通小學學級・及、補助學級內生徒ノ智能分配比較表  
■ハ普通小學校・□ハ補助學級生徒ノ各智能指數ヲ有スル兒童多寡ヲ示ス圖コノ低能兒智能指數ハ大熊泰治教授ノ報告ニヨルモノナリ

リ。コハ既往歴ニ依リ同人ガ幼時ニ於テ既ニ精神發達普通ナリシヤ否ヤヲ糺スニヨリテ知ラル。マタ或年齡ニ於テ始メテ性格ノ變化・精神病ヲ初發セシト聞カバコノ鑑別ハ一層容易ナルモ、コノ事實ガ不明ナル折ニハ其ノ者ノ舉動ト智力トヲ比較シテ決定スベキナリ。即、癡愚者ハ動作如何ニモ自然的ニシテ、時ニハ一見、伶俐ナルガ如キモ、之ニ色・數・形狀、又ハ地理・歴史等ノ事ヲ問ヒ、或ハ計算ヲ行ハシメナバ、案外、其等ノ點ニ智力足ラザル事ヲ知ラルナリ。反之、後天性癡呆、殊ニ精神分裂病等ニ於テハ舉動一見愚ナルガ如ク見エ、其ノ動作ニ不自然ナル點多キモ、之ニ既往ニ修得セシ事項ヲ問ヘバ案外ニ良ク知ルトコロ多ク存シテソノ成績ハ佳良、觀念内容ニ富メルヲ認メラルコトアリ。尙、行動ノ奇ナルコトハ後天性癡呆ニ多キ現象トス。サレド癡愚ト精神分裂病トノ合併ハ實際ニハ多キモノト知ルベシ。

〔原因〕 精神發育制止者ノ種別ハ甚、多キヲ以テ原因ハ各種ニヨリ異ナルモ一般ニハソノ親ニ低能・大酒・微毒等ノ數ガ相當多ク、親ノ精神病ハ之ニ比シテ遙ニ少ナシ。本症ガ素質性ニ現ルモノヲ内因性 Endogene トシ、外來ノ環境ヨリ獲タルモノヲ外因性 Exogene トシテ區別スレバ、重症ナル者ニハ外因性ナルモノ多ク、輕症ナルモノニ内因性ノモノ多シト云ハル。從ツテ輕症精神薄弱者ニハ他種變質狀態、殊ニ意志薄弱症、神經質、強迫症、ひすてりー、躁鬱病樣狀態、病的虛言症、悖德症トノ移行型・又ハ合併者多キモノナリ。其等精神發育制止者各種ノ多寡ハ明ニハ判ラヌモ東大脳研究室ニテ調査セル結果ハアリ。

精神薄弱症ノ遺傳形式モ病種ノ如何ニヨリ異ナルコト當然ナリ。特殊ナル病型、例之、家族性黑內障白癡、結節腦硬化、もんごりすむす、ソノ他ノ家族性精神薄弱ト認メラルモノニハソノ病症ガ異ナルニ從ヒ遺傳型モ區々ナルハ當然ナリ。此等ノ特殊型ヲ除キテ精神薄弱一般ノ遺傳ヲ調査セシ結果ニヨレバ、諸學者ノ成績ニ一致ヲ缺クモ、大體ニ於テ輕症者ニハ優性遺傳型多ク、重症者ニハ劣性遺傳型多シトノ説アリ。又、双生兒研究ニ於テハ一致性甚、高ク吉益修夫博士ハ一卵性双生兒ニ於ケル同數ヲ90%以上ナリトス。然ラバ本症ノ發現力ハ頗、大ニシテ發病蓋然率ハ甚、高ク、顯揚動搖數ハ殆、無シト云フベシ。他ノ調査ニヨレバ兩親共ニ精神薄弱者ナレバソノ子ニ於ケル同症ハ93.2%、片親ガ精神薄弱ナレバソノ子ノ精神薄弱者ハ41.3%、兩親共外見上異常ナキ時ハ

ソノ子ノソレハ 17.8% ナリトス(ブルッゲル)。又、母ヨリ精神薄弱兒ヲ來タス率ハ父ノ其ニ勝ルトノ説アリ。ルクセンブルゲルノ信用スベキ諸家ノ多數材料ヲ蒐集セル精神薄弱者遺傳豫後ニ關スル表ハ次ノ如シ。尙、本症者家族ノモノニ優秀者ノ現ハルル率ハ甚、少ナシト知ラル(349頁参照)。

		癡愚%	魯鈍%	劣等%	計 %
子	兩親精神薄弱	—	60.0	—	60.0
	片親 "	11.0	8.0	10.0	29.0
	" 魯鈍	3.0	9.0	15.0	27.0
	" 劣等	—	5.5	5.5	11.0
孫	全體ニテハ	癡愚魯鈍ヲ合セ 7.0		11.0	18.0
	兩親異常ナキトキ	同上 12.0		—	12.0
甥	片親劣等ナルトキ	—	7.0	7.0	14.0
	異常ナキトキ	9.9	1.5	5.5	13.9
姪	兩親 "	—	4.5	—	4.5
	一般成員	癡愚・魯鈍ヲ合セ 2.0		4.0	6.0

〔治療〕 豫防法ニハ變質者、殊ニ低能者相互ノ結婚ヲ避ケ、親ノ飲酒ヲ廢シ、微毒ヲ治シ、本人ニハ小兒期ノ疾病、殊ニ傳染病、頭部外傷等ニ注意スベシ。

優性手術法 近時同症豫防ノ一策トシテ優性手術 Sterilisation 行ハル。コハ精神薄弱、殊ニソノ内因性ノモノ、就中、反社會的性格著キモノガ專、ソノ對象トナレルヤニ考ヘラル。

本人ガ夙ク低能兒ナリト氣附カレタル時ニハ成ル可ク早ク特殊教育ニ委ネ、同所ニテハ智能教育ヨリモ感情・意志方面ノ缺陷ヲ補ハシメ、智的教育ニハ不要ナル教材ヲ避ケ、消化セラルベキモノノミヲ擇ミ而モソノ少數ヲ確實ニ教ユベシ。又、ソノ教ヘ方ニハ本人ニ興味ヲ與フル様ニ努メ、疲勞ニ陥ルコトナカラシム可シ。尙、將來智能ヲ以テ身ヲ立タシムヨリハ容易ナル實業・工・農業等ニ入レ、殊ニ傭ハル人タルヲ以テ満足セシムベク、要スルニ糊口ノ途ヲ講ゼシメ、無害ナル社

第十表 智能指數ニヨル職業選擇規準表  
(東京府少年職業相談所調査表ヨリ抄録セシモノナリ)

智能階段	智能指數	百人中ノ員數	一般性特徴、及、職業水準	教育程度	職業例
最上智能	一三以上	3	創造性統率性努力ニ適シ、高級専門職業水準ナリ	大學ニ於テ優秀ナル成績ヲ擧ゲ得	編輯者(大新聞雜誌)、法律家、教授(大學)、技師、外交官、宗教家(管長・司教級)、大會社幹部社員、勅任行政官、陸海軍將官
上智能	一〇—一二・八	10	行政上・事業上・指導上ノ位置ニ適シ、専門職業ニ適ス	大學專門學校等ニ於テ平均成績ヲ擧ゲ得	記者(新聞雜誌)、醫者、教師(中等學校)、實業家(大商人・銀行家)、秘書役、行政官、司法官、支配人、工場長、設計家、社會事業家、宗教家
普通智能上	一一・七—一〇・八	18	小規模ノ行政指導位置ニ適シ、抽象能力ヲ要スル高級熟練機械作業ヲナスニ良シ、優良技術職業水準	中等學校或ハ或種ノ專門學校ヲ終リ得ル能力	教師(小學校)、簿記方、保姆、會社、銀行事務員、販賣人(卸)、實業家(小商人)、鐵道事務員、教師(體操・音樂・家事)、運輸事務員、寫真師、電信技手、樂隊員、電氣技手、現場監督(土木建築)、運送書記、藥劑師、たいびすと、文書整理掛
普通智能中	一〇・七—九・三	38	きまりきりタル熟練機械作業ニ適ス。複雑ナル抽象能力ヲ要スル作業ニハ不能熟練職業水準	高等小學校或ハ中等學校ヲ終リ得ル能力	機械手(汽車)、電話交換手、機械職、巡查、汽船機關手、木工、洗濯夫、機械工、自動車運轉手、洋服屋、保線手、制動手、役者、火夫(汽車)、工場職工(鐵道)、植字工、印刷工、穴工(一般)、運轉手、車掌、料理人、園藝家、庭師、農夫、賄方、調馬師、靴屋、理髮師、販賣店員、鑛夫(一般)、給仕、赤帽
普通智能下	九・二—九・八	18	或種ノきまりきりタル熟練作業ニ適ス。半熟練、及、低級熟練職業ナリ	尋常小學校ヲ終リ得ル能力	看護人、石工、左官、番人、機械靴工、荷造人、消防手(常備)、土木建築人、家事使傭人、工場雜役夫
下智能	九・七—七・一	10	單純ナルきまりきりタル作業ニ適シ、指導監督ヲ要ス。文書ニヨル指示ヲ理解シ得ズ。不熟練或ハ最低熟練職業ナリトス。	尋常4學年程度止マリノ能力。特別學級	漁夫、勞働者(不熟練)、仲仕、荷役人夫、たどん製造人、掃除人夫、石切人夫
最下智能	七・〇以下	3	甚、單純ナルきまりきりタル作業ノミヲナシ得。自、方向決定ヲナスコト能ハズ。最低熟練職業。適職ナシ	尋常3學年程度以下。特別學級或ハ特殊教育機關ヲ要ス	勞働者(最、單純ナル作業)、草刈リ・穴掘リ・荷車ノ後押シ等ノ如シ

會人タラシムルヤウニ専念スベキナリ。職業指導ノ任ニ當ル者ハ宜ク之ヲ體スベシ。智能指數ト職業トノ關係ヲ明示セル表(第十表)ヲ前頁ニ掲ゲタレバ之ニヨリ本人ノ智能指數ニ適スルヤウノ職業ヲ與フルコトヲ考フ可シ。

國民學校兒童ニアリテ I. Q. 90 未満ナルモノハ同校ニ 6 年間アリテモ僅ニ 3—4 年級實力ニ止マリ I. Q. 90 以上ノ者ニ於テ始メテ 6 年間ニ 6 年ノ課程ヲ修メ得ベキナリ。卒業後中學ニ入り相當ノ成績ヲ以テ無難ニ之ヲ通過シ得ルモノハ I. Q. 110 以上ナルヲ要ス。I. Q. が 90—100 ナルモノハ學業中途ニテ困難トナルモノナリ。大學ニテ相當以上ノ成績ヲ擧ゲルタメニハ I. Q. が 130 以上ナラネバ困難トセラル(鈴木治太郎氏ニ據ル)。

治療教育 此等ノ人ヲ適當ニ教育スルハ所謂、治療教育 Heilerziehung ニシテ  
補助學校 補助學校 Hilfsschule ハソノ 1 ナリ。

補助學校、又ハ補助學級ハ 1867 年、獨國ドレスデンニテ創立セラレタルモノヲ以テ嚆矢トス。現今ニテハ獨國ノミニテモ其ノ數ハ優ニ 200 ヲ超ユ。本邦亦、既ニ之ヲ見ルモノノ數ハ頗、少ナク、規模貧弱、爲政家宜ク努ム可キナリ。

授業方法ニハ多クノ種別アレド、要スルニ 1 回ノ授業時間ヲ短縮シテ平均 30 分間以内トスベシ。コハ低能兒ハ早く疲レル故ナリ。尙、午前ト午後トニ各 3 回宛、即、1 日 6 回ノ授業ニ分配シ、午前ト午後トノ間ニハ長キ休息時間ヲ挿入ス可シ。低能兒ハ恢復力弱キ故ナリ、1 組ノ生徒數ハ 10 人以内トスベシ。是、個人差ガ著キタメトス。特ニ徳力ノ缺ケタルモノハ同席セシム可カラズ。蓋、低能兒ハ容易ニ不徳ヲ眞似テ其ノ非ヲ覺ラザレバナリ。教員ハソノ業ニ特別ニ經驗アル人ヲ擇ム可シ。從ツテ同教員ニハ待遇ヲ善クスベシ。授業時間ニ兒童ガ疲勞セバ之ヲ斟酌シテ適宜ナル校外散歩ヲナサス權能ヲ與フベシ。授業課目ハ無意味ニシテ、且、實用的ナラザル外國歴史・外國地理等ヲ避ケ、專ラ日常生活ニ必要ナルモノノミヲ選ミ、物品ノ名稱ヲ授業スル場合ニハ掲圖等ヲ使用セズシテ專、實物ニ就キ授業ス可シ(直觀教授 Direkter Anschauungsunterricht)。手工 Handarbeit ノ練習ニモ特ニ留意シ、放課後ハ成ル可ク寄宿舎等ニ於テ監督スルヲ要ス。職業教育主タルモノトス。

白癡學校・補助學校ニ就學セル生徒ハ精神・竝ビニ身體ノ異常ヲ發

スル場合多キモノナレバ、少ナクトモ 1 週ニ 1 回ハ専門醫ノ巡廻診察ヲ必要トスベシ。

學校ヲ卒ヘテ後モソノ一生ニツキ特殊ノ管理・指導・保護ヲ要スルモノナリ。殊ニ必要ナルハ不良ノ徒ト交ラザルヤウ注意スルコトニシテ、特ニ幼兒ニアリテハ家庭ニテノ不良ナル生活、通學途上ニテノ不良ナル生徒ニ誘ハレ其ヨリ性格ノ墮落ヲ來タサヌヤウ監督スベシ。稍、年長ケタルモノニハ酒色ノ惡風ニ染マヌヤウ嚴格ニ管視シ、之ニヨリ其等ノ人ガ陥リ易キ犯罪ヲ防ギ得ルヤウニモ心掛クベキナリ。

民法上、白癡ハ禁治産、癡愚ハ準禁治産者トセラルルヲ普通トス。

——(終)——



破瓜期 身體・精神ノ發育狀況(正常・遲滯)、色慾關係、手淫夙發、疾病、頭部外傷

月 經 初潮年齡、月經時ノ狀況、順・不順・分量・持續

成年期 身體ノ強弱、持病、頭部外傷、急性及慢性疾患

花柳病 年齡、症狀、治療ノ方法ト經過

妊娠・分娩・授乳 回数トソノ各年月日、妊娠中ノ狀況、

分娩 正規・早産・難産(人工分娩、出血)・流産、産褥

閉經期 其ノ頃ノ精神狀態

老年期 性格ノ變化、心臟・血管ノ狀況(硬化)、榮養、

氣質・性格 內氣、陰氣、小膽、大膽、溫順、獨立、易倦、性急、短氣、易怒、孤獨、社交性、寬容、快調、自恣、勝氣、執拗、吝嗇、苦勞性、心配性、吞氣、好惡、空想傾向、意志薄弱、分裂型、循環型

神經病性體質 癡癲、搖蕩ノ傾向、氣候・風土・飲食物・酒精ニ對スル特異性、酒亂、

精神病性體質 異常性格、疾病、殊ニ熱發時ノ譫語・幻覺・感動異常、烈キ情緒轉換性、精神刺激ニ對スル異常反應、色慾異常、異常潔癖、強迫症、奇癖等

養育史 養育者(父母、養父母、其他) 養育法(嚴、寬、偏)

教育史 學歷、學業成績、長所、短所

生活史 職業、其ニ對スル態度、轉職、交友、兵役、結婚、夫婦間ノ交情、離婚、ソノ理由、不良行爲、犯罪、飲酒、喫煙

現病前ノ精神病 ソノ原因、發病年月日、經過、轉歸、治療後ノ精神狀態

現病ノ原因・誘因

發病前後ノ狀況・其後ノ經過

丙 現在症 身體狀況 身長、體重、體格、發育狀況、體型、四肢ト軀幹トノ比例、老衰

榮養 筋肉、皮下脂肪、其他

血色、皮膚、毛髮ノ狀態 瘰癧

頭形 頭顱測定周圍

耳後頭圍 耳顱頂圍 左右徑(橫徑) 橫徑指數

耳前頭圍 前後徑(縱徑) 耳下頭圍

鼻根後頭圍 耳孔徑 前頭骨顱骨突起徑  
耳孔鼻棘徑 右 左 耳高 右 左  
變質畸形 頭顱、顏面、眼(眼裂)、鼻、耳、口、齒、口蓋、軀幹、四肢、生殖器、毛髮、乳房

感覺機能  
視力 右 左 視野 右 左  
眼底所見 聽覺 味覺 嗅覺  
觸覺 痛覺 溫覺 冷覺  
筋覺 位置感覺 實體感覺  
疼痛 頭痛・電擊痛・リウマチス性疼痛・脊柱感覺過敏・卵巢痛・壓點、異常感覺

運動機能  
軀幹・上下肢、麻痺・拘攣・痙攣  
眼球運動 麻痺・拘攣・振盪  
顏面運動 顏面筋左右不均、露齒・笑ヒ・泣ク運動ノ異常、隨伴運動  
眼瞼、口唇ノ開閉、 顏面纖維性拮抗等  
舌ノ運動 咀嚼運動 言語、吃・不明・蹉跌・失語・錯語 音聲  
手書 大小・形狀・誤脫・遲速・巧拙・亂雜・震顫 振顫、手指・眼瞼・舌尖  
アディアドロキネーシス 筋肉 アトニー・強剛 關節狀況  
粗大力 上肢 右 左 下肢 右 左  
失調 指頭鼻尖試驗・指頭指頭試驗・足趾膝頭試驗  
直立 ロンベルグ 歩行  
膀胱・直腸障礙

反射機能  
瞳孔 大サ 右 左 形狀 右 左  
對光反應・右 左 (暗室・普通室ニテノ検査)  
調節反應 右 左 交軸反應 右 左  
膝蓋腱反射 右 左 アヒレス腱反射 右 左  
腹壁反射 提舉筋反射 二頭筋反射 三頭筋反射  
膝間代 足間代 皮膚紋畫  
病的反射 (バビンスキー メンデル オツペンハイム)

內臟  
心臟 動脈 血壓 肺臟  
消化器 肝臟 脾臟 腎臟 其他

生殖器 形態、機能  
 血液 ワ氏反應  
 血液型 血色素量 血色素係數  
 赤血球數 血球沈降速度 白血球數  
 各種白血球割合 中性嗜好多形核白血球 %、  
 鹽基嗜好多核白血球 %、エオジン嗜好多核白血球 %、  
 淋巴球 %、 大單核移行型 %  
 腦脊髄液 色 壓 細胞數 總蛋白量 蛋白商  
ノンネ第一期、 パンディー、 ワ氏反應、

ご る ど ゴ ー る 反 應

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
R																
BV																
V																
BV																
B																
FL																
	1/10	1/40	1/180	1/640	1/2560	1/10240										

分泌・排泄狀態 汗 唾液 糞  
 尿 比重・色・蛋白・糖・インヂカン・沈渣

精神狀況

姿 態 常、略常、屈伏、昂首、無頓着、不行儀、強剛、  
 著裝、結髮  
 立居振舞 常、略常、從順、無遠慮、反抗、  
 應對、 居室狀況、 手蹟  
 顔 貌 自然、不自然、爽快、憂閉、憤怒、無表情  
 意 識 明瞭、潤濁  
 談 話 流暢、滯滯、多辯、明、不明・高低  
 見當識・指南力 處 時 自己 周圍  
 病 感 有、無  
 病 識 有、無  
 領 取 良、不良

注 意 銳、鈍、散亂  
 記 銘 良、略常、不良  
 記 憶 良、略常、不良、健忘、虛談  
 智 識 良、不良、教育相當  
 判 斷 良、略良、不良  
 計 算 良、略良、不良  
 妄 覺 幻覺、錯覺  
 考慮進行・思路 常、略常、遲速、意想奔逸、粘著、錯亂、離想  
 病的觀念 支配觀念、蒼古思想  
 妄 想 誇大、被害、關係、嫉妬、發明、被毒  
 強迫觀念 恐怖症  
 智 能 臨牀的検査ニヨル結果、 三宅式検査法(附録 11-16 頁) 點、  
 智能指數 智能年齡  
 感 情 常、爽快、沈鬱、苦悶、憤怒、轉換、鈍麻  
 意 志 興奮、沈靜、昏迷、常同、衝奇、阻礙、強梗、反響症、拒絶、不潔  
 食 慾 増進、減弱、倒錯  
 性 慾 増進、減弱、倒錯  
 社會的關係 自殺、暴行、犯罪

檢 査 表 月 日( 曜 ) 時 分

I 見當識・指南力

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. 姓名ハ         | 2. 職業ハ          |
| 3. 年齢ハ         | 4. 住所ハ          |
| 5. 今日ハ何月、何日カ   | 6. 此處ハ何處カ       |
| 7. 私ハ何カ判ルカ     | 8. 側ニ居ル人ハ何ヲスル人カ |
| 9. 何處ガ悪イカ      | 10. 何故此處ニ來タカ    |
| 11. 自分デ神經病ト思フカ | 12. 精神病ト思フカ     |

II 幻覺

何カ聽エテ來ルカ	何カ見エテ來ルカ
變ナ嗅ハセヌカ	變ナ味ハセヌカ
體ニ何カガ觸レル様ナ感ハナイカ	電氣デモカケラレル様ナ感ハナイカ
自分ノ考ヘルコトガ聞エルカ	其他



III 妄想

- 虐待サレル如クニ思ハヌカ
- 財産ハ
- 自分ハ偉イト思フカ
- 悪イ事・済マヌ事ヲシタカ
- 發明ハナイカ
- 身分ハ、
- 何カ附キ纏フ様ナ氣ハセヌカ
- 其他

IV 病的感情

- 非常ニ面白イカ
- 怒リ易イカ
- 物ガ氣ニナラヌカ
- 氣ガ鬱グカ
- 茫然トシテハ居ラヌカ
- 其他
- 心配カ
- 苦シイカ

V 記銘・記憶

1. 何時此處ニ着イタカ
2. 何處ヲ通ツテ來タカ
3. 誰ト一緒ニ此處ニ來タカ
4. 昨日ハ何ウシテ居タ
5. 昨晚ノ食事ノ菜ハ何カ
6. 君ノ誕生日ハ何年何月何日カ
7. 父親ハ何歳カ、死亡シタナラソノ時ノ年齢ハ、又何時カ
8. 母親ハ(同上)
9. 各子供ノ名ハ、其ノ年ハ
10. 各同胞ノ名ハ、其ノ年ハ
11. 小學校、其他ニ入學・卒業シタノハ何時カ
12. 結婚ハ何時カ
13. 大正元年ハ明治何年カ
14. 昭和元年ハ大正何年カ

VI 智識

1. 時ニ關スル問題
  - イ、1年ハ何日カ
  - 1日ハ何時間カ
  - 1時間ハ何分カ
  - ロ、閏ノ時ニハ何月ガ何ウナルカ
  - ハ、天長節ハ何月何日カ
2. 數量ニ關スル問題
  - イ、百ノ10倍ハ
  - ハ、1石ハ何升カ
  - ロ、1米ハ何尺何寸カ
  - ニ、1里ハ何町カ
3. 地理ニ關スル問題
  - イ、日本ノ高山ノ名ハ(5箇擧ゲヨ)
  - ハ、日本ノ主ナル都會ノ名(同上)
  - ロ、日本ノ主ナル港ノ名(同上)
  - ニ、日本ノ主ナル河ノ名(同上)
4. 歴史ニ關スル問題
  - イ、日清戦争ハ何時アツタカ、日露戦争ハ何時アツタカ

- ロ、明治天皇ノ前ハ何天皇カ
- ハ、我國ニアツタ穴キナ戦ノ名ハ
- ニ、豊臣秀吉ト楠正成トハドチラガ古イカ

5. 自然界ノ知識ニ關スル問題
  - イ、獸ノ名(5種ヲ擧ゲヨ)
  - ハ、花ノ名(同上)
  - ロ、魚ノ名(同上)
  - ニ、金屬ノ名(同上)
6. 社會知識ニ關スル問題
  - イ、從兄弟トハ何フイフ續キ合ヒカ
  - ロ、……ト……トノ間ニアル大キ停車場ノ名ハ
  - ハ、今ノ大臣ノ種類トソノ人名ハ
7. 抽象概念問題
  - イ、法律トハ何カ
  - ハ、兵役トハ何カ
  - ロ、宗教トハ何カ
  - ニ、博愛トハ何カ

VII 判断

1. 差別問題
  - イ、牛ト馬トノ差
  - ハ、貸スト與ヘルトノ差
  - ロ、水ト氷トノ差

VIII 計算問題

- 14+26= 3.0''(1-6'')\*, 23+44= 5.0''(2-8'')
- 13-5= 1.5''(1-3''), 51-16= 6.0''(1-9'')
- 7x5= 1.5''(1-2''), 18x7= 7.0''(3-20'')
- 32÷4= 6.0''(1-15''), 56÷8= 6.0''(1-15'')
- 一圓カラ十五錢トレバ残り幾何カ 2.5''(1-3'')
- ソノ三倍ハ 7.0''(2-15'')

IX 特殊智能検査法

1. 計算力
  - (國民學校生徒1年級問題) 8+3= 3+7=
  - (同 2年級問題) 13-7= 5x3=
  - (同 3年級問題) 12x3=
  - (同 4年級問題) 毎月2圓50錢モラヒ、1回65錢宛使ツテ残り  
ヲ貯メテオクト1ケ年間ニ何程貯マルカ  
或數ニ10ヲ加ヘテ4ニテ割レバ25ニナルト云  
フ、或數ヲ問フ

(\* 3.0''トハ普通3秒ニテ答ヘラルモノ、(1-6'')トハ常人ニテ早キ人ハ1秒、遅キ人ハ6秒、即1-6''ノ範圍内ニ答ヘラルモノナリ)

12圓ノ品物ヲ仕入レ其4分ノ1ダケ儲ケテ賣ラ  
ントスルニハ何程ニ賣リテ良キカ

(國民學校生徒5年級問題) 甲乙2人ノ所持金ヲ合セタルモノハ72圓ニテ甲  
ハ乙ヨリモ12圓ダケ多ク持ツト云フ、各何程ノ  
金ヲ持テルカ

(同 6年級問題)  $\frac{1}{4} + \frac{2}{4} = \frac{5}{7} - \frac{2}{7} =$

2. 充墳法

(イ) シャウダワツ ニハ ラトコノ コハ □□ヲ アゲ、□□□ノコハ  
□□ヲ ツイテアソビマス。 マタ ウチノ ナカデハ スゴロクヤ □  
□□ヲ シマス。

(ロ) フユ ハ □□ク、ノ ヤ □□ノ □□ ハ カレマス モシ ニ  
キガフレバ ミナ□□ク ミエマス

(ハ) ヒガ クレテ アタリガ□□□ナリマシタ □□ニハ□□ガキラキラ  
ト □□□□テ ヲリマス アシタハ タブン □□□□□□デセウ

3. 特ニ小兒ニツイテノ問題

- 3歳 鼻眼口耳(3/4) 嵌込(7/10)
- 4歳 長短2線比較(3/5, 5/6) 美醜(3/5)
- 5歳 2個ノ重サ(2/3) 長方形構成(2/3)
- 6歳 左右(3/5, 5/6) 繪畫遺漏發見(3/4)
- 7歳 色(4/4) 菱形模寫
- 8歳 20ヨリ逆算 繪畫敘述(2/3)
- 9歳 5個ノ重サ(2/3) 何曜、何月、何日(3日以内ナレバ正トス)何年(4/4)
- 10歳 マスロン(子供・ボール・川、働ク・錢・人、魚・河・海)(2/3) 球搜シ
- 11歳 圖形記憶 類似名詞(鳥、果物、獸、30秒、各5個以上、18個以上)
- 12歳 六數字反唱(374859.521746)(1/2) 3分間 60語聯想
- 13歳 時計ノ針ヲ逆ニスル問題(6時22分、8時8分、2時46分)(2/3)
- 14歳 7數字反唱(2183469. 9728475)(1/2)
- 15歳 想像ニヨル3角形ノ置換

II. 智能検査

姓名 男女  
外來番號 第 號  
入院番號 第 號  
プロフィール 第 號

年齢 歳 ヶ月  
( 年 月 日生)

學 歴  
學業成績

職 業

性 行  
特 癖

病 名  
主 徴  
狀 態

備 考  
検査時態度

検査時日  
昭和 年 月 日(曜)

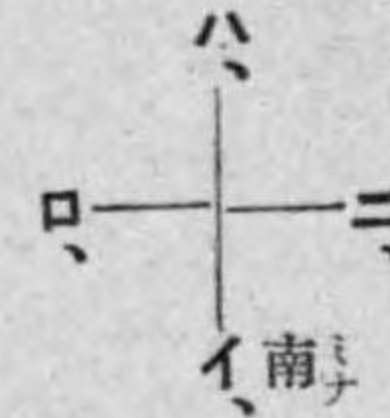
所要時間 時 分間(標準40分)

検査種類	種類	採照標準	正答數	得點	合計
I. 智	イ1	× 1			/1
	ロ1	× 1			
	2	× 1			
	3	× 1			
II. 計	ハ1	(1-3=1, 24-5=2)			/4
	ニ1	×1(3×)			
	2	×1(3×)			/6
	ホ1	× 1			
III. 論	1	× 1			
	2	× 1			
	3	× 1			
	4	× 1			
IV. 正文、充墳、構文	5	× 1			
	6	× 1			
	7	×1(2×)			(8)
	選	(1-3=1, 4-6=2, 7-9=3, 10-14=4)			(4)
V. 定 義	イ1	× 1			
	2	× 1			
	3	× 1			/3
	ロ	(2-5=1 6-9=2 10-13=3 14-17=4 18-21=5)			/5
合計	ハ	× 1			/1 (9)
	1	×1(2×)			
	2	×1(2×)			
	3	×1(2×)			
	4	×1(2×)			
5	×1(2×)			(10)	
合計					(50)

I (10分)

シタ イロイロ トヒ コタヘ カ  
下ノ色々ノ間ニ、ヨクワカルヤウニ答ヲ書イテ下サイ

(イ) ミギ ヅ 右ノ圖ノ(イ)ガ ミナミ 南ナラ (ロ) (ハ)  
(ニ) トウゴイナシホクテユウ ナニ ハ東西南北中ノ何ニアタリ  
マスカ



(ロ) イチネン ナンニチ (1) 一年ハ何日デスカ  
ハチグワツ ツキ ナンニチ (2) 八月ノ月ハ何日デスカ  
ニクワツ ツキ ナンニチ (3) 二月ノ月ハ何日デスカ  
イチツカン ナンブン (4) 一時間ハ何分デスカ

コタヘ 答  
答  
答  
答

(ハ) ニツポン オホ ミヤコ ナ イツ (1) 日本ノ大キナ都ノ名ヲ五ツ  
アゲナサイ  
ニツポン オホ カハ ナ イツ (2) 日本ノ大キナ河ノ名ヲ五ツア  
ゲナサイ

答  
答

(ニ) フタ センソウ イツ ドヨ ッギノ二ツノ戦争ガ何時、何所デア  
トキ オモ タイシヤウ ッテ、ソノ時ハタライタ主ナ大將  
ダレ シル ガ誰デアツタカラ記シナサイ  
(1) ニチロセンソウ 日露戦争  
(2) セイナンセンソウ 西南戦争

答  
シダイ 時代  
バシヨ 場所  
タイシヤウ 大將  
(1)  
(2)

(ホ) オトナ タマ タカ オヨ ナンシヤク (1) 大人ノ身長ノ高サハ凡ソ何尺  
グラキ 位デスカ  
テンチヤウカフ キダンセツ ナンクワフナン (2) 天長節、紀元節ハ何月何  
ニチ 日デスカ  
イマ ヲウリダイジン ナマヘ (3) 今ノ總理大臣ノ姓名ヲアゲナサ  
イ

答  
答  
答  
テンチヤウセツ 天長節  
キダンセツ 紀元節

II (5分)

ツギ ケイサン クダ ウンゼン カミ  
次ノ計算ヲシテ下サイ、運算ハコノ紙ノアイタトコロデスルコト

(1) 5 + 8 =

コタヘ 答

(2) 22 - 9 =

答

(3) 19 x 5 =

答

(4)  $\frac{1}{3}$  ト  $\frac{1}{2}$  ト ドチラガ オホ 大キイ  
カ

答

(5)  $\frac{2}{5}$  ト  $\frac{2}{3}$  ト  $\frac{2}{6}$  トノウチ ドレガ 一  
番大キイカ

答

(6) 一升ノ米ハ五人分デアルトスレ  
ニツポン コメ ナンシヨウ バ二十五人分ノ米ハ何升カ

答

(7) フシ 父子アリ、チチ 父ハ一日一圓八十錢、ニチ 子ハソノ六割(0.6倍ノコト)ヲ得  
コ ワリ バイ ウ  
ルトシテ、モ 若シ二人ニテ五日間ハ  
カカン ナニホドチンセン ウ  
タライタナラ、何程ノ貫錢ヲ得ル  
カ

答  
シキ 式  
ウンゼン 運算

III (5分)

ツギ フト モシ  
次ノ太イ文字ノモノニ イツモキツトツイテキレモノヲ 括弧ノ中ノ言葉カ  
エラ シタ ヨコセン ヒ  
ラニツダケ選ミソノ下ニ横線ヲ引ケ

ヒト (からだ 杖 下駄 あたま 商)  
人 (毛布 くさり くびわ 脚 鼻)  
見本 犬 (土蔵 瓦 室 女 中 壁)  
イヌ (土蔵 瓦 室 女 中 壁)  
イヘ (土蔵 瓦 室 女 中 壁)  
家 (土蔵 瓦 室 女 中 壁)

- (1) モノ オキ (まぐさ 馬 ヤネ 屋根 ウシ 牛 イリクチ 入口)
- (2) ネズミ (猫 オ 尾 メ 目 かぢる ネズミ 鼠とり)
- (3) ハウ チヤウ (刀 キ 切る まないた エ柄 ヤサイ 野菜)
- (4) アフギ (風 カゼ モシ 文字 テ 手 かなめ ほね)
- (5) ウマ (くら ミミ 耳 カンクサ 枯草 ウマカタ 馬方 たてがみ)
- (6) カハ (岸 キシ ウラ 魚 ギョフ 漁夫 フネ 舟 ミヅ 水)
- (7) タン ス 筒 (着物 キモノ ヒキダシ 引出 カガミ 鏡 トダナ 戸棚 イタ 板)
- (8) トク ホン (しをり カミ 紙 モシ 文字 エンピツ 鉛筆 ツクエ 机)
- (9) ユビ ヲ 輪 (直径 チョクケイ コンガウセキ 金剛石 モシ 文字 マル 圓さ シルシ 印)
- (10) ヤマ (木 キ イハ 岩 トリ 鳥 ツチ 土 タカ 高さ)
- (11) ガク カウ (教師 ケウシ ビアノ デントウ 電燈 カウシヤ 校舍 イケ 池)
- (12) カンダンケイ (アルコール くだ コホリ 氷 ノモリ 目盛 ユ 湯)
- (13) ワリ ゴン (教室 ケウシツ チヨスウ 除數 コタヘ 答 ノコリ 残 エンピツ 鉛筆)
- (14) トク ショ (本 ホン ヒト 人 エ 繪 ツクエ 机 オンセイ 音聲)

IV (10分)

シタ プン コトバ シユンシヨ トトノ タダ  
(イ) 下ニアルニツノ文ハドレモ言葉ノ順序ガ整ツテキマセン、ソレヲ正シ  
シユンシヨ コタヘ クダ  
イ順序ニナホシテ答ヘノトコロヘカイテドサイ

- (1) アサハギ ワタクシドモ イナカ  
ました 朝早く 私共は 田舎へ たち  
コタヘ  
答
- (2) シユクダイ ワタクシ センセイ ナホ イタダ  
たのみ 宿題を 私は ました 先生に 直して頂くやうに  
答
- (3) ビキ マモ イヌ ヨ イヘ シユジン チユウツツ  
一匹の 守る 犬が 善い 家を 主人の 忠實に  
答

シタ プン トコロ テキタウ カナ イ ケワンゼン プン クダ  
(ロ) 下ノ文ノ□ノ所ニ適當ナ假名ヲ入レ 完全ナ文ニシテドサイ

- (1) ひがくれてあたりが□□□(1)なり(2)ました、□□(3)には□□(4)が(5)きらきらと□□(6)  
□□(7)て、を(8)ります。あしたは たぶん□□□□□□(9)でせう。
- (2) に(10)ふばい と(11)なる(12)と(13)まい□□(14)まい□□(15)□□(16)が□□(17)ます、き  
□□(18)の(19)や(20)た□□(21)も□□(22)には□□(23)が□□(24)ます、しかし(25)たん  
ぼ(26)では□□(27)が(28)の(29)び□□(30)め(31)の(32)でき(33)には(34)よい(35)のです。
- (3) ふゆ(16)は□□(17)く(18)の(19)や(20)やま(21)の□□(22)は(23)か(24)れます、もし(25)ゆき(26)が  
ふれば(27)みな□□(28)く(29)みえ(30)ます。□□(31)も□□(32)ります。

シタ コトバ ミチカ プン ツク クダ  
(ハ) 下ノニツノ言葉ヲイレテ一ツノ短イ文ヲ作ツテドサイ

- ミヤコ 都 カハ 河 トミ 富
- 答

V (10分)

シタ コトバ イミ エウテン セツメイ クダ  
下ノ言葉ノ意味ヲ要點ヲヌカサヌヤウニ説明シテドイサ

(1)	替 ワガ	察 ママ	答 答
(2)	我 ザイ	儘	答
(3)	税 ドウ	情 クワイ	答
(4)	同 シヤ	會	答
(5)	社		答

ビネー・ターマン・鈴木法智能検査用智能年齢算出表

得点	智能年齢	得点	智能年齢	得点	智能年齢	備考
1	年 月 2-2	25	6-3	49	11-7.5	普通大人
2	-4	26	-6	50	-9	
3	-6	27	-8	51	-10.6	
4	-8	28	-10	52	12-0	
5	-10	29	7-0	53	-4	
6	3-0	30	-2	54	-8	
7	-2	31	-4	55	13-0	
8	-4	32	-6	56	-4	
9	-6	33	-9	57	-8	
10	-8	34	8-0	58	14-0	
11	-10	35	-2	59	-6	
12	4-0	36	-4	60	15-0	
13	-2	37	-6	61	-6	優秀大人
14	-4	38	-9	62	16-0	
15	-6	39	9-0	63	-6	
16	-7	40	-3	64	17-0	
17	-8	41	-6	65	-6	
18	-10	42	10-0	66	18-0	
19	-11	43	-3	67	-6	
20	5-0	44	-6	68	19-0	
21	-6	45	-9	69	-6	
22	-8	46	11-0	70	20-0	
23	-10	47	-3			
24	6-0	48	-6			

III 性格(病質)類型特徴診断法

甲 問診法 検査は以下各問を質問す。但、細字の問に相當するものは程度軽く常人にも有勝ちの特徴とし、大字の質問は程度重くその癖ある人は病質者の疑ありとして深く調ぶべきものとす。

- 1 發揚性. 1 爽快性. 常に快活か、樂天的か、呑氣か、賑かな所が好きか、誰でもすぐ無遠慮に友達にしてみようか、場所柄を辨へずによく冗談を云ふか。2 活動性. 何もせずに居るのが嫌か、あれこれと色々手を出すか(具體例)、話好き世話好きか、お喋をせずには居られぬか、人の迷惑を顧みず世話をやかずには居られないか。※ 不安定性. じつとして落付いてゐるのが嫌か、落付いては居られないか、悪戯が烈しいか等。
- 2 抑鬱性. 陰氣、氣が沈むか、他人と居るよりは獨で居る方が好きか(具體例)、氣が進まず何もせずに居るか、些細のことで悲觀し、世の中が嫌になるか、理由なく時々悲觀するか、煩悶して胸が迫り重苦しくなることがあるか、悪戯が烈いか、死んでしまひたくなることがあるか、死なうとしたこともあつたか(具體例)。● 循環性。
- 3 無力性. (本項の問には特に各項目につき具體的内容と程度とを問ふ)。1 身體型. イ、過敏性. 物に感じ易いか(其より起る身體の故障)。仕事や勉強をするとすぐ疲れるか、根をつめると頭がボーとしたり體がだるくなるか、偉い人の前へ出たり心配したりすると胸が烈くどきどきし、體が顫へたりすることがあるか、物事が氣になつて眠れぬことがあるか。ロ、心氣性. 身體のことが氣になり易いか(神経やみか)。2 精神型. イ、不全感. 心配性、氣が小さく、自分のすることに安心が出来ぬ性分か、人に何か云はれると自信がなく考へががらつくか。ロ、離人症. 周囲と自分とがびつたりしないか。ハ、纖細性. 血を見たり、突然大きな音がしたりすると氣持が悪くなつてたまらないか。● 神經質。
- 4 自己不安性. 1 過感性. 自分に對して自信が持てぬか、他人の態度に氣を廻すか、人から何うかされてゐると思ひ込むことがあるか。2 強迫性. 人前が恥しくて困ることがあるか、考へまいとしても或考へが頭

- にこびりついて安心出来ぬか、馬鹿らしいと知つてゐても同じ事を何遍も繰返さずには居られぬか(具體例、赤面恐怖、不潔恐怖等)。
- 5 意志薄弱。1 自制缺乏。倦きつぼくて同じ仕事に長続きしないか、學業や勤めをずる休みするか、職業を何遍も變へたか(理由、程度)。※ 耽溺性。遊びごと其他に感溺し易いか(具體例)。2 被影響性。友達などの誘惑に乗り易いか。誘に乗つていつでもすぐそれに従ふか(具體例)。3 無爲性。何もしないで暮してゐるか。
- 6 爆発性。怒りつぼいか、自分の家の中だけでか、外でもか、怒を其の場ですぐ表に出すか、怒ると物にあたるか、怒鳴、殴打、暴行、器物破壊、夢中になるか、後で憶えてないか(具體例、頻度)。※ 喧嘩好きか。すぐ喧嘩を仕掛けるか。
- 7 自己顯示性(ヒステリー性)。1 自己中心。勝氣、我儘、剛情、しかけた事は止められても止めぬか、止められるとよけいにやりたくなるか。2 虚榮。人から軽く見られるのを我慢出来ないか、偉く見せやうとするか、人におごつたりして氣前のよい所を見せるか、そのため無理算段や身分不相應の生活をし、金もないのに金のあるやうに見せかけるか。3 偏心。病的虚言。劇的動作 ※ ヒステリー性。感情轉換性。
- 8 狂信性(過價状態)。1 争鬪型。世の中のことに不合理や不正を感じそれを極力主張するか(具體例)。理屈があればどこまでも誰とでも争ふか、理屈を徹すためには損得をかまはぬか、自分の権利を侵害されると思ひ飽まで争ふか(具體例)。好争、好訴。2 穩和型。
- 9 氣分易變性。1 定期性不機嫌、一寸した事(具體例)で又は何といふ譯もなく自然に氣分がむしゃくしやすことがあるか(持續時間)。2 衝動行爲。そんな時に何んなことをするか、家出、徘徊、濫費、放火、濫酒、喝酒、反社會行爲等をするか。
- 10 無情性。1 同情心缺乏。残忍性。他人がいぢめられたり撲られたりしてゐるのを見て可哀想に感ずるか、感じないか、犬猫など動物や小さい子供等をいぢめるのが好きだつたか。それは多勢でか、獨でもいぢめるか。同方法。3. 羞恥、名譽、後悔、良心等の缺如。
- 11 乖離性。内氣、はにかみ、引込思案、交際をしないか、獨で居てもちつとも淋く感じないか、そんな時に空想に耽つてゐるか、無精

- か、無口か、一日中喋らず何もしないでゐても退屈をしないか。
- 12 粘着性(類癲癇性)。烈しい整頓癖か、綿密か、几帳面か、凝性、信心、蒐集癖(具體例)。
- 13 性慾異常(亢進、減退、倒錯)。
- 14 衝動行爲症。(窃盜、家出、徘徊、放火、其他の反社會行爲)。
- 乙 同觀察法 他人が觀察して次項に該當すべき點あれば記入のこと。而して上記甲乙兩法の結果を對照して診斷の參考とする。
- 1 いつも歌を唄つたりして朗かにして居る、場所柄に拘らず駄洒落を云ふ、獨で會合を賑かす、心配事や苦勞の種があつても平氣で、呑氣で、一面識の人にでもすぐ十年の知己の如くに親く話しかける、やたらに氣が多くて色々の事(研究と稱することもある)に手を出す、人々を訪問する、非常に世話好き、時に人の世話を焼かなくては居られぬ、人の迷惑をかまはずに世話をやく、法螺(誇大的)を吹く、子供では學校教室等で烈くふざけて騒ぐ、授業の邪魔になつて困る、落付いては居られない。
- 2 陰氣(常に、時々、何時から)、無口(常に、時々、何時から)、仕事に張りがない、仕事を休むことを非常に氣にかける、責任を深く感ずる。
- 3 些細のことに敏感、心配性、苦勞性、一寸した事で眠れない、少し勉強してもすぐ疲れる、根をつめると頭痛、倦怠等を訴へる、些細の病氣をひどく氣にする。
- 4 氣が小さいくせに氣位が高く、人に馬鹿にされた様に氣を廻はす、自信が無いやうに見える、何回も或事をしないでは苦になつて仕方がなく見える、潔癖で何遍も手を洗ふ、凡ての事をきちんとしないでは氣がすまぬ、高い所、トンネル、地下道、狭い室、エレベーター、電車、汽車が恐くて乗れぬ、或は尖つた物を見ると恐くて持てぬ等々。
- 5 倦きつぼい、學校を怠けてする休みする、どんな仕事(職務、職業)にも氣が乗らず休み勝ちである、大した理由もなく職業を度々變へる、何をやつても長続きせぬ、人に誘はれるとことわり切れない、無精、働かないでぶらぶら暮して居る。
- 6 平素は溫和でも時々疝癖を起す、平素から疝癖持ちでその時は烈

く暴れる、家でのみ疝癩を起して外では何ともない、疝癩は起すがそれを表に出さぬ、疝癩を起したときには怒鳴り、殴ぐり、喧嘩、器物破壊、傷害に至ることもある、後では自分のした事を憶えてゐない。

- 7 人から立てられぬと承知しない、自分が中心にならぬと氣にくはぬ、自惚が強い、嫉妬心が深い、人に騒いで貰ひ度くて自分の體をわざと傷け時に自殺の眞似をし、何事も大袈裟に誇張して喋る、自分をよく見せるため嘘を云ふ、自分に不似合な派手な又は汚い或は甚だ奇矯な服装をわざとする、氣分が變り易い、喜怒哀樂の表情を烈く表す。
- 8 理窟をこねる、人を無暗に理づめにして困らす、獨り決めの理窟を何處までも主張して争ふ、殊に自分の權利を侵害されたと思ひ反抗的になり何處までも争ふ、獨り決めの理窟(宗教上、社會改良等)を無反省に何處までも主張して譲らぬ。
- 9 一寸した事で何と云ふ譯もなく時々不機嫌になる、そのため突然家出、徘徊、浪費、飲酒、窃盜、放火をしたり、人を傷つけたりする、時にはその折に酒を飲み烈しい亂暴に陥る等。
- 10 冷酷、同僚の悲しみや病氣等に對して同情心が少しもない、叱つても褒めても手應へがない、人の溫情にも叱責にも何とも感じない、恥も外聞も感じない、小さい時から残酷で、弟妹や小さい子又は動物などをひどくいぢめ、時に殺したりする、人に信用がなく、氣味悪がられる。
- 11 内氣、はにかみ屋、引込思案、交際嫌ひ、獨りぼつち、何時も何か考へ事をしてゐるやうに見える、ひがむ癖もある、時々突飛な事をする、動作がぎごちない。
- 12 剛情、氣むづかし屋、一旦言ひ出したら仲々きかぬ、物事に非常に綿密、几帳面すぎる程几帳面、言葉使ひや態度が丁寧すぎる程丁寧、話しが廻りくどい、凝り性、信心深い。

本法は余の許にて齋崎氏等が中心となり多數の同僚相集りて編成したるものなり未完成なれど多少参考ともなるべしと思ひ茲に掲ぐ、殊に從來普通醫師が慣用せる病質者検査としての既往歴聴取、本人の問診以外に少なくとも本診断法の問診法を併用するときは得る處多かる可し。

### 精神病學提要索引

**ア之部**

- あとろびん中毒 . . . . . 182
- あうら . . . . . 308
- あぶせんつ . . . . . 128
- 阿片療法(鬱病) . . . . . 354
- (癲癇) . . . . . 331
- あめんちあ(妄覺病参照) . . . . . 115
- アーガイル、ロバートソン症候 . . . . . 100
- アルツハイメル病 . . . . . 257
- "    細胞變化 . . . . . 252
- あろひりー . . . . . 2
- あんもん角 . . . . . 321

**イ、ヰ之部**

- 意志 . . . . . 51, 56
- 意識 . . . . . 8
- "    洞濁(朦朧狀態参照) . . . . . 9
- "    内容ノ同一症 . . . . . 22
- 意志減退 . . . . . 57
- "    障礙 . . . . . 51, 57
- "    ノ制止 . . . . . 58
- "    ノ阻礙 . . . . . 59
- "    薄弱, 不定症 . . . . . 428
- "    發揮性 . . . . . 58
- "    發動 . . . . . 56
- "    被影響性 . . . . . 59
- 異食(症) . . . . . 54
- 畏食(症)(拒食症トモ同ジ) . . . . . 54
- 縊死企圖 . . . . . 123
- 意想又ハ觀念奔逸 . . . . . 20
- "    性錯亂 . . . . . 23
- 遺傳性特徴・變質徵候 . . . . . 92
- "    徵毒 . . . . . 201
- 一般感情 . . . . . 40
- 畏閉恐怖(症) . . . . . 399
- 因子型 . . . . . 233
- 飲酒不堪症 . . . . . 156
- 陰部暴出(露)症 . . . . . 56, 432

- いんふるえんぎ . . . . . 114
- いんしゅりん・しょく療法 . . . . . 301

**ウ之部**

- ウエルニッケ感覺(性)失語(症) . . . . . 71
- "    出血(性)腦灰白質炎 . . . . . 135
- ウキルソン病 . . . . . 144
- 運算症・計算症 . . . . . 30
- 運動心迫 . . . . . 58
- "    障礙 . . . . . 95
- "    (性)失語(症) . . . . . 70

**エ、ヱ之部**

- 叔智障礙 . . . . . 1
- 似而非・假性幻覺 . . . . . 3
- "    ・假性昏迷 . . . . . 8
- 厭世 . . . . . 45

**ヲ、オ之部**

- 音聯合 . . . . . 16
- 大阪式、一名、ビネー・ターマン・鈴
- 木式智能検査法 . . . . . 86

**カ、之部(クワ)**

- 下意識 . . . . . 91
- 快感(病的快樂) . . . . . 49
- 回歸狂 . . . . . 322
- 外意識 . . . . . 78
- 外傷後(頭部)癡呆 . . . . . 149
- "    假性・似而非進行麻痺 . . . . . 153
- "    性神經症 . . . . . 413
- "    譫妄 . . . . . 149
- ガイスレル反應 . . . . . 105
- 外聯合 . . . . . 16
- 概念 . . . . . 26
- 概念分裂 . . . . . 28
- 恢復性(作業能力) . . . . . 88
- 過價・優越觀念 . . . . . 28
- 隔離法 . . . . . 305

假死状態(ひすてりー性) . . . 266, 368  
 假性・似而非幻覺 . . . . . 2  
 ” 似而非硬化(症) . . . . . 144  
 ” 似而非嗜酒病 . . . . . 157  
 ” 進行麻痺・麻痺性癡呆(酒精中毒性) . . . . . 171  
 ” ” (微毒性) . . . . . 97  
 ” ” (ひすてりー性) . . . 370  
 ” ・似而非昏迷 . . . . . 8  
 家族看護・院外看護 . . . . . 306  
 ” 性黒内障白癡 . . . . . 147  
 かたれぶしー・強梗 . . . . . 60  
 渴酒病・嗜酒病 . . . . . 157, 316  
 化膿性腦炎 . . . . . 134  
 ” 腦膜炎 . . . . . 133  
 カハール細胞 . . . . . 322, 448  
 過敏情動薄弱状態 . . . . . 118  
 過敏感情性薄弱状態 . . . . . 118  
 訛癖・發音不明症 . . . . . 69  
 かるぢあぞーる癲癇療法 . . . . . 303  
 感覺 . . . . . 1  
 ” 過敏(症) . . . . . 1  
 ” (性)失語(症) . . . . . 70  
 關係妄想 . . . . . 37  
 頑固 . . . . . 61  
 監獄・刑務所精神病(在監者ノ心因精神異常) . . . . . 404  
 肝臟病 . . . . . 121  
 感情 . . . . . 40  
 ” ・氣分轉換症 . . . . . 50  
 桿狀細胞・ホルテガ細胞 . . . . . 217  
 感傳・(應)性精神病 . . . . . 408  
 ガンゼル膜狀狀態 . . . . . 365  
 間代(性)癲癇 . . . . . 97  
 觀念 . . . . . 11  
 ” 結合ノ隨意症 . . . . . 27  
 ” 性行爲倒錯症・觀念失行 . . . 65  
 ” ノ粘著 . . . . . 21  
 ” 聯合 . . . . . 15  
 ” ” ノ検査(試驗) . . . . . 16  
 ” ” ノ速度 . . . . . 25  
 ” ” ノ促進 . . . . . 25

” ” ノ遲滯 . . . . . 25  
 顔貌 . . . . . 65  
 顔面左右不等(症) . . . . . 68  
 ” 表情倒錯(症) . . . . . 68  
 假面狀 . . . . . 66  
 絨默(症) . . . . . 61  
 瘡 . . . . . 122

キ之部

奇行症 . . . . . 439  
 疑惑症・疑念症 . . . . . 29, 398  
 急性錯亂(症)・あめんちあ . . . 115  
 ” 譫妄(傳染病ニ因ル) . . . . . 114  
 ” 酒精(幻覺性)妄覺病・急性酒精幻覺症 . . . . . 167  
 ” 癡呆(傳染病性) . . . . . 119  
 腦震盪性精神病 . . . . . 149  
 記憶 . . . . . 12  
 記憶ノ衰弱・減弱 . . . . . 15  
 飢餓感情 . . . . . 41  
 氣質・性格 . . . . . 85  
 記銘(力)障礙 . . . . . 13  
 ” (對語)試驗 . . . . . 228  
 逆行(性)健忘(症) . . . . . 13  
 驚愕(性)神經症 . . . . . 412  
 拒食(症) . . . . . 54  
 拒絶(症) . . . . . 64  
 虛脫譫妄 . . . . . 117  
 虛談・虛構・作話(症) . . . . . 14  
 虛無妄想 . . . . . 38  
 強梗(症) . . . . . 60  
 胸腺 . . . . . 188  
 ” 淋巴腺型 . . . . . 188  
 強調呼吸法 . . . . . 327  
 強直(性)癲癇 . . . . . 97  
 胸内苦悶 . . . . . 46  
 強迫觀念 . . . . . 29  
 ” (觀念)症 . . . . . 396  
 ” 精神病 . . . . . 396  
 ” 行爲 . . . . . 63  
 ” 幻覺 . . . . . 29  
 ” 考慮 . . . . . 29

” ” (的)制止 . . . . . 63  
 恐怖 . . . . . 47, 399  
 禁斷症狀(もるひね) . . . . . 174  
 禁治産 . . . . . 469  
 緊張病 . . . . . 266  
 ” 性興奮 . . . . . 270  
 ” 性昏迷 . . . . . 268

ク之部

工風 . . . . . 27  
 空笑 . . . . . 67  
 空想・想像 . . . . . 27  
 空想性めらんこりー . . . . . 341  
 具體(的)觀念 . . . . . 12  
 苦悶 . . . . . 46  
 ” 性緊張 . . . . . 46  
 ” 性興奮 . . . . . 46  
 くれちにすむす . . . . . 185  
 クレベリン累加法 . . . . . 88

ケ之部

経過期めらんこりー(めらんこりー) . . . . . 255  
 經驗遺傳後學 . . . . . 293  
 鷓姦 . . . . . 432  
 計算症・運算症 . . . . . 30, 398  
 傾性者 . . . . . 419  
 輕症妄想性癡呆 . . . . . 275  
 輕躁病 . . . . . 335  
 癲癇 . . . . . 97  
 (癲癇樣)癲癇發作(進行麻痺) . . . 206  
 ” 發作(癲癇) . . . . . 308  
 血壓 . . . . . 104  
 血液 . . . . . 104  
 結節(性)腦硬化(症) . . . . . 145  
 結核 . . . . . 120  
 ” 性腦膜炎 . . . . . 132  
 月經 . . . . . 123  
 腱反射 . . . . . 101  
 健忘(症) . . . . . 13  
 (ひすてりー性) . . . . . 373  
 健忘性失語(症) . . . . . 71

顯揚(發現)動搖率 . . . . . 293  
 衍奇(症) . . . . . 62  
 幻覺 . . . . . 3  
 言語間代(症) . . . . . 69  
 ” 觀念構成ノ障礙(失語症) . . . 70  
 ” 錯亂 . . . . . 72  
 ” 蹉躑(症) . . . . . 69  
 ” 障礙 . . . . . 68  
 ” 倒錯 . . . . . 70  
 言語失格症 . . . . . 72  
 眩暈發作(癲癇) . . . . . 312  
 現象型 . . . . . 273  
 犬憑妄想 . . . . . 39

コ之部

行爲倒錯(失行) . . . . . 64  
 構音不能(症) . . . . . 69  
 拘禁(性)精神病・反應 . . . . . 405  
 交代意識・人格 . . . . . 91  
 (ひすてりー) . . . . . 373  
 甲狀腺(性)精神病 . . . . . 183  
 好訴妄想 . . . . . 38  
 好訴病 . . . . . 388  
 興奮 . . . . . 57  
 興奮性白癡 . . . . . 408  
 ” 憂鬱(抑鬱) . . . . . 322  
 恒定(性)幻覺 . . . . . 3  
 後天(性)神經衰弱(症) . . . . . 388  
 考慮進行・思路 . . . . . 20  
 ” 制止・抑制 . . . . . 25  
 こかるん中毒 . . . . . 179  
 語障 . . . . . 72  
 呼吸增多(症)(ひすてりー性) . . . 376  
 誤信 . . . . . 32  
 個性・人格 . . . . . 84  
 悟性譫妄 . . . . . 9  
 (ひすてりー性) . . . . . 367  
 (癲癇性) . . . . . 314  
 誇大妄想 . . . . . 37  
 ” 定型(進行麻痺) . . . . . 208  
 固着妄想 . . . . . 36  
 昏睡前譫妄狀態(糖尿病) . . . . . 120



昏惰 . . . . . 9  
 昏迷 . . . . . 58  
 昏迷性錯亂 . . . . . 25  
 ” 憂鬱病(抑鬱) . . . . . 340  
 混合狀態(躁鬱病) . . . . . 342  
 孤立(性)幻覺 . . . . . 3  
 コルサコフ症候群 . . . . . 110, 116  
 ” 精神病(傳染病) . . . . . 116, 135  
 ” (酒精中毒) . . . . . 169  
 ” (頭部外傷性) . . . . . 150  
 ” (手術後) . . . . . 123  
 ごのわくちん療法 . . . . . 234  
 ごどぞーる反應 . . . . . 197  
 孤憑妄想 . . . . . 38

サ之部

細胞增多(症) . . . . . 105  
 さぢすむす . . . . . 433  
 罪業妄想 . . . . . 38  
 催眠術・催眠狀態 . . . . . 60, 319  
 躁鬱病 . . . . . 323  
 蒼古(的)思想 . . . . . 30  
 躁病(躁鬱病參照) . . . . . 336  
 躁暴狀態 . . . . . 339  
 躁病性昏迷 . . . . . 343  
 ” 體質 . . . . . 354  
 ” 樣狀態(ひすてり性) . . . . . 370  
 爽快 . . . . . 49  
 想像(力) . . . . . 27  
 作業心迫 . . . . . 57  
 (精神) ” 能力 . . . . . 87  
 ” 療法 . . . . . 305  
 作話症 . . . . . 14  
 作嘔感情 . . . . . 42  
 錯覺 . . . . . 2  
 作嘔痙攣 . . . . . 67  
 (言語)錯亂 . . . . . 72  
 殺人狂 . . . . . 52, 436  
 さるばるさん . . . . . 232  
 產褥 . . . . . 124  
 (一)酸化炭素瓦斯中毒 . . . . . 180  
 殘存妄想 . . . . . 35, 117

殘存譫妄 . . . . . 117  
 殘忍性色情症 . . . . . 56, 433

シ之部

習慣性(作業能力) . . . . . 88  
 宗教妄想 . . . . . 38  
 蒐集癖 . . . . . 53, 317  
 重症妄想性癡呆 . . . . . 273  
 臭素加里(癲癩ニ對スル用法) . . . . . 330  
 從命自動(運動) . . . . . 60  
 自我, 自己意識 . . . . . 90  
 字劃脫漏(症) . . . . . 82  
 屍姦 . . . . . 55  
 色慾異常・倒錯(症) . . . . . 55, 431  
 色情 . . . . . 43  
 刺戟性纖弱 . . . . . 391  
 自己血清ねをさるばるさん療法  
 (ソフトウェア・エリス法) . . . . . 232  
 詞語新作 . . . . . 72  
 嗜酒病 . . . . . 157  
 膝(蓋髓)反射 . . . . . 101  
 失讀(症) . . . . . 15  
 失語(症) . . . . . 70  
 失神發作(癲癩) . . . . . 312  
 失調 . . . . . 96  
 失調(性)手書 . . . . . 81  
 嫉妬妄想 . . . . . 38  
 ” (酒精) . . . . . 161  
 質問症(穿鑿症) . . . . . 29, 397  
 姿態 . . . . . 65  
 指南力・見當識 . . . . . 10  
 持續睡眠療法 . . . . . 300  
 ” 浴 . . . . . 307  
 支配觀念 . . . . . 21  
 四反應 . . . . . 105  
 心氣性妄想 . . . . . 38  
 ” 性癡呆 . . . . . 266  
 神經質 . . . . . 391  
 ” 衰弱(症) . . . . . 388  
 進行麻痺・麻痺性癡呆 . . . . . 204  
 震顫 . . . . . 98  
 ” 言語 . . . . . 69

” 手書 . . . . . 81  
 ” 譫妄(酒客譫妄) . . . . . 162  
 眞性癲癩 . . . . . 307  
 心臟病 . . . . . 123  
 腎臟病 . . . . . 122  
 人格 . . . . . 90  
 ” 分離・離情 . . . . . 90  
 人物誤認 . . . . . 6  
 嗜眠性(流行性)腦炎 . . . . . 135  
 支離滅裂(症)・滅裂 . . . . . 23  
 ” 性錯亂 . . . . . 24  
 酒精幻覺妄覺病 . . . . . 167  
 ” 譫妄 . . . . . 162  
 ” 中毒 . . . . . 154  
 ” 幻覺性癡呆 . . . . . 165  
 ” 嫉妬妄想病 . . . . . 161  
 ” 精神病 . . . . . 160  
 ” 假性進行麻痺 . . . . . 171  
 ” 朦朧狀態 . . . . . 156  
 手淫(病的) . . . . . 432  
 手工 . . . . . 468  
 手書(手跡) . . . . . 81  
 手術 . . . . . 122  
 準禁治産 . . . . . 469  
 初期譫妄(傳染病) . . . . . 112  
 症候性精神病 . . . . . 108  
 書字不能(症) . . . . . 82  
 職業譫妄(酒精中毒) . . . . . 163  
 (腦炎ニヨル) . . . . . 136  
 噯人症 . . . . . 55  
 噯糞症 . . . . . 42  
 食慾 . . . . . 41  
 初老期精神病 . . . . . 254  
 ” めらんこリー . . . . . 255  
 上意識 . . . . . 91  
 上位觀念 . . . . . 20  
 消魂大悅症(癲癩) . . . . . 316  
 衝動 . . . . . 52  
 衝動(性)精神病 . . . . . 435  
 ” 動作 . . . . . 52  
 小舞蹈病 . . . . . 114  
 小顔(症) . . . . . 449

症候性癲癩 . . . . . 308  
 情緒(病的) . . . . . 44  
 ” 反應ノ障礙 . . . . . 50  
 進行麻痺 . . . . . 204

ス之部

ソフトウェア・エリス療法 . . . . . 232  
 水銀中毒 . . . . . 182  
 推持力(時間關係記憶) . . . . . 15  
 衰憊 . . . . . 124  
 睡眠 . . . . . 9  
 ” 發作(なるこれぶしー) . . . . . 312  
 ” (ひすてり性) . . . . . 369  
 數食症 . . . . . 54  
 數多・多數ノ我 . . . . . 90  
 するぶをなへる療法(持續睡眠) . . . . . 300  
 すびるへーてん . . . . . 219

セ之部

制止 . . . . . 58  
 怔忡(胸内苦悶) . . . . . 46  
 性狀觀念 . . . . . 12  
 (精神運動)興奮 . . . . . 57  
 精神乖離症・分裂病・早發性癡呆 . . . . . 258  
 精神分裂病反應 . . . . . 295  
 精神制止 . . . . . 58  
 ” 作業能力 . . . . . 87  
 ” 性神經痛 . . . . . 45  
 ” 癲癩 . . . . . 312  
 ” 發作 . . . . . 312  
 ” 發育制止 . . . . . 440  
 ” 的兩性者 . . . . . 432  
 ” 反射(瞳孔) . . . . . 99  
 ” 分析 . . . . . 396, 402  
 ” 病的素質者 . . . . . 419  
 ” 低格者・又ハ中間者 . . . . . 419  
 ” 病感染・感應・感傳 . . . . . 409  
 ” 療法 . . . . . 402  
 生來(性)神經衰弱(症) . . . . . 391  
 生來(症)犯罪者 . . . . . 424  
 冗長(症) . . . . . 22  
 脊髓癆(性)精神病 . . . . . 203

赤面恐怖 . . . . . 399  
 接技(性)破瓜病 . . . . . 291  
 竊盜狂 . . . . . 48, 435  
 說得療法 . . . . . 396  
 節片症・ふちしむす . . . . . 56, 432  
 纖維性搐搦 . . . . . 99  
 穿孔腦 . . . . . 452  
 潛在意識 . . . . . 91  
 穿鑿症 . . . . . 29  
 戰鬥(性)神經症 . . . . . 403  
 潛伏(性)しぞふれに . . . . . 291  
 全失語(症) . . . . . 71  
 全部(性)健忘(症) . . . . . 13  
 前兆(あうら) . . . . . 308  
 譫妄 . . . . . 58  
 ,, 性めらんこりー . . . . . 341

ソ之部

素質者 . . . . . 419  
 早發性癡呆 . . . . . 258  
 双生兒 . . . . . 293  
 續發性感覺 . . . . . 2  
 ,, (對光)反射 . . . . . 100  
 續發聽覺 . . . . . 2  
 ,, 視覺 . . . . . 2  
 憎惡 . . . . . 130  
 卒中(性)腦微毒 . . . . . 193  
 ,, 樣發作(進行麻痺) . . . . . 206

タ之部

對光反射 . . . . . 99  
 退行期精神病 . . . . . 246  
 體質(性)興奮(症) . . . . . 424  
 ,, 神經衰弱 . . . . . 391  
 ,, 沈鬱 . . . . . 304  
 大出血 . . . . . 123  
 大發作(癲癇) . . . . . 311  
 ,, (ひすてりー) . . . . . 373  
 當意即答(症) . . . . . 24, 262  
 道德感情 . . . . . 50  
 糖尿病 . . . . . 120  
 ,, 假性進行麻痺 . . . . . 120

多幸症 . . . . . 49  
 多發性硬化 . . . . . 141  
 單一症狀性ひすてりー . . . . . 332  
 ,, 性癡呆 . . . . . 265  
 ,, 抑鬱狀態 . . . . . 340  
 ,, 抑鬱性(又ハ昏迷性)癡呆 . . . . . 281  
 男性相親・愛 . . . . . 432  
 斷種法・優性法 . . . . . 466  
 斷裂言語 . . . . . 69

チ之部

注意 . . . . . 7  
 (精神病的)中間者 . . . . . 419  
 注察妄想 . . . . . 37  
 (中酒性ハ酒精ヲ見ヨ)  
 抽象觀念・抽象力 . . . . . 12  
 重症躁病 . . . . . 337  
 ,, 動脈硬化性精神異常 . . . . . 237  
 知覺 . . . . . 2  
 ちくろちみー・循環體質 . . . . . 345  
 癡愚 . . . . . 458  
 持續浴 . . . . . 356  
 ,, 睡眠療法 . . . . . 300  
 蜘蛛細胞 . . . . . 217  
 ちく様運動 . . . . . 99  
 遲鈍性癡呆(早發性癡呆末期狀態) . . . . . 286  
 ,, 白癡 . . . . . 417  
 室扶斯 . . . . . 112  
 癡呆性表情 . . . . . 68  
 智能, 智能検査 . . . . . 84  
 ,, 指數, 年齡 . . . . . 84  
 調節現象(瞳孔) . . . . . 99  
 長顛 . . . . . 93  
 常同(症) . . . . . 62  
 ち沃度ちろぢん(よるごん) . . . . . 184  
 ちれをいぢん . . . . . 185  
 治療教育 . . . . . 468  
 直觀教授 . . . . . 457, 468

ツ之部

追想 . . . . . 12  
 ,, 錯誤 . . . . . 14

,, 眞實性ノ誤謬・幻覺 . . . . . 14  
 追跡妄想 . . . . . 38  
 痛覺 . . . . . 102  
 ,, (ひすてりー) . . . . . 374  
 頭形異常 . . . . . 93  
 頭部外傷ニ基ク精神異常 . . . . . 149  
 つべるくりん療法 . . . . . 233

テ之部

定期性不機嫌(症)(癲癇) . . . . . 315  
 低血糖 . . . . . 121  
 低格者・變質者 . . . . . 419  
 癲癇 . . . . . 307  
 ,, 性性格 . . . . . 318  
 ,, 昏迷 . . . . . 314  
 ,, 癡呆 . . . . . 317  
 ,, 發作頻發(症)・累積(症)(癲癇) . . . . . 319  
 ,, (進行麻痺) . . . . . 206  
 傳染病(性)精神病 . . . . . 110  
 ,, 譫妄 . . . . . 112  
 傳導(性)失語(症) . . . . . 70  
 天然痘 . . . . . 113

ト之部

同位聯合 . . . . . 15  
 統覺 . . . . . 83  
 瞳孔 . . . . . 99  
 ,, 左右不等(症) . . . . . 100  
 ,, 對光反射 . . . . . 99  
 ,, 續發反射 . . . . . 100  
 同性愛・相親(症) . . . . . 55  
 疼痛感覺 . . . . . 100  
 疼痛感情 . . . . . 43  
 疼痛(性)運動不能(症) . . . . . 411  
 疼痛反射(瞳孔) . . . . . 100  
 ,, 點(ひすてりー性) . . . . . 374  
 動脈硬化性癡呆 . . . . . 238  
 ,, 精神障礙 . . . . . 236  
 糖尿病 . . . . . 120  
 讀書不能(症)(純失讀症) . . . . . 7, 71  
 (失語症ニ伴ナフ) . . . . . 71  
 特徵(ひすてりー) . . . . . 381

頓挫性酒客譫妄 . . . . . 166  
 ,, 發作(癲癇) . . . . . 309  
 貪食症 . . . . . 54

ナ之部

內聯合 . . . . . 16  
 腦炎 . . . . . 134  
 ,, 外傷・腦震盪・腦挫傷 . . . . . 149  
 ,, 血栓 . . . . . 130  
 ,, 疾患ニ伴ナフ精神異常 . . . . . 125  
 ,, 出血 . . . . . 130  
 ,, 腦震盪 . . . . . 149  
 ,, 性小兒麻痺 . . . . . 452  
 ,, 腫瘍 . . . . . 125  
 ,, 水腫 . . . . . 453  
 ,, 脊髓液 . . . . . 105  
 ,, (髓透)寫・大腸透寫法 . . . . . 105  
 ,, 軟化(症) . . . . . 130  
 ,, 膿瘍 . . . . . 134  
 ,, 膜炎 . . . . . 132  
 ,, 微毒 . . . . . 191  
 なるこれぶしー . . . . . 312  
 喃語性譫妄 . . . . . 111

ニ之部

乳房痛 . . . . . 374  
 二重考慮 . . . . . 3  
 ,, 人格(本人重複症) . . . . . 90  
 (ひすてりー) . . . . . 373  
 ニッスル・エスバツハ法 . . . . . 105  
 認識不能(症) . . . . . 6  
 妊娠妄想 . . . . . 38  
 尿毒症(腎臟病) . . . . . 122

ヌ之部

ぬくれいん酸なとりうむ注射 . . . . . 233

ネ之部

熱性譫妄 . . . . . 110  
 眠惚(ねぼけ) . . . . . 10  
 粘液水腫 . . . . . 184  
 粘着(觀念ノ) . . . . . 21

ノ之部

膈下垂體(ナノ部参照) . . . . . 186  
ノンネ・アペルト法 . . . . . 105

ハ之部

徘徊症 . . . . . 52  
 (癲癇性) . . . . . 316  
 (ひずてりー性) . . . . . 367  
悖德狂 . . . . . 424  
悖理現象(瞳孔) . . . . . 101  
微毒 . . . . . 108  
微毒(性)神經衰弱(症) . . . . . 191  
 ” 似而非・假性進行麻痺 . 197  
 ” 癲癇 . . . . . 194  
放火慾 . . . . . 52  
放火狂 . . . . . 52  
破瓜病 . . . . . 264  
白癡 . . . . . 444  
 ” 院 . . . . . 456  
ベセド一病 . . . . . 183  
發育障礙 . . . . . 93  
發音不明(症) . . . . . 69  
發明妄想 . . . . . 39  
發揚症・輕躁病 . . . . . 335  
ばらふれにー . . . . . 276  
ばらのいあ . . . . . 355  
ばらちみー . . . . . 427  
ばるきんそにすむす . . . . . 138  
ハンチントン舞踏病 . . . . . 143  
反響言語(面貌・舉動) . . . . . 60  
反射運動 . . . . . 99  
 ” 性癲癇 . . . . . 324  
 ” 幻覺 . . . . . 3  
判斷ノ錯誤(障礙・耗弱) . . . . . 28  
汎發(性)硬化(症) . . . . . 142  
晚發(性)遺傳微毒 . . . . . 202  
 ” 緊張病 . . . . . 290

ヒ之部

被影響性妄想 . . . . . 38  
ひおすちん(中毒) . . . . . 182

” (療法) . . . . . 353  
びくのれぶしー . . . . . 312  
被害妄想 . . . . . 38  
(被)教化可能(性)白癡・(被)教化  
 不能(性)白癡 . . . . . 444  
鼻腔消息子榮養法 . . . . . 355  
皮質下(純)運動性失語(症) . . . . . 70  
 ” 運動(感覺)性失語(症) . . . . . 70  
 ” 癲癇癲癇 . . . . . 97  
微小妄想 . . . . . 37  
ひずてりー球 . . . . . 376  
 ” 性かたれぶしー . . . . . 369  
 ” 弓 . . . . . 377  
 ” (性)似而非進行麻痺 . 307  
 ” 吃喃 . . . . . 376  
 ” 癲癇 . . . . . 376  
 ” 昏迷 . . . . . 367  
 ” 精神病 . . . . . 362  
 ” 譫妄狀態 . . . . . 363  
 ” 特徵 . . . . . 102, 381  
 ” 反應 . . . . . 360  
 ” ばらのいあ・偏執病 370  
 ” 夢中遊行 . . . . . 366  
 ” 朦朧狀態 . . . . . 366  
 ” 大發作 . . . . . 378  
 ” 發生點 . . . . . 375  
 ” 發作ノ際ニ現ハルル  
 精神障礙 . . . . . 377  
 ” 癲癇 . . . . . 329  
ひっぶす . . . . . 100  
筆蹟 . . . . . 81  
被毒妄想 . . . . . 38  
ひねくれたる行爲 . . . . . 62  
ペネー智能検査 . . . . . 84  
皮膚感覺 . . . . . 102  
ひべるべんちらちをん(強調呼吸  
法) . . . . . 327  
ひぼこんでりー(神經質) . . . . . 392  
 (ひずてりー) . . . . . 361  
 (外傷神經症) . . . . . 413  
(他ハめらんこりー・精神分裂  
病等ヲ見↓) . . . . .

ヘ之部

瀰漫症 . . . . . 22  
賓位聯合 . . . . . 16  
貧困妄想 . . . . . 37  
癲癇 . . . . . 66  
非典型發作(癲癇) . . . . . 311  
表現力 . . . . . 293  
表出・表情運動 . . . . . 65  
病酬(病的醜態) . . . . . 155  
(病的)意志薄弱症 . . . . . 428  
 ” 不定症 . . . . . 60, 428  
 ” 快樂・爽快 . . . . . 49  
 ” 感情 . . . . . 44  
 ” 記憶増進(症) . . . . . 14  
 ” 考慮・思考 . . . . . 28  
 ” 蒐集(症) . . . . . 53  
 ” 虛言者 . . . . . 430  
 ” 恐怖 . . . . . 47, 399  
 ” 潔癖(症) . . . . . 398  
 ” 手淫 . . . . . 432  
 ” 爽快 . . . . . 49  
 ” 不快 . . . . . 44  
 ” 醜態(病酬) . . . . . 155  
疲勞性(作業能力) . . . . . 87  
 ” 感情 . . . . . 41  
ビク萎縮 . . . . . 256

フ之部

フー・シー一斑 . . . . . 216  
ふちしすむす . . . . . 56, 432  
不快感 . . . . . 44  
不答症・平氣 . . . . . 51  
輻輳現象(瞳孔) . . . . . 99  
不潔(症) . . . . . 43  
舞踏病(小舞踏病) . . . . . 114  
物理的追跡妄想 . . . . . 38  
不良少年 . . . . . 426  
憤怒・刺戟症 . . . . . 45  
分裂性格 . . . . . 85  
分裂病質 . . . . . 85, 291, 438  
ぶらすま細胞 . . . . . 218  
ぶれすびをふれにー . . . . . 227  
ブローカ運動(性)失語(症) . . . . . 70

ホ之部

平氣・冷淡 . . . . . 51  
偏狂 . . . . . 52  
偏執病・偏執病反應・ばらのいあ . 355  
偏執病様癡呆・ばらふれにー . . . 276  
變質者 . . . . . 418  
 ” 徵候 . . . . . 91  
變性女子, 變性女裝者, 變性男子,  
 變性男裝者 . . . . . 433  
べらぐら . . . . . 182

マ之部

妄覺 . . . . . 2  
 ” 病(酒精妄覺病参照) . . . . . 167  
妄想 . . . . . 31  
 ” 性癡呆 . . . . . 272  
まそひすむす . . . . . 56, 433  
麻痺 . . . . . 95  
 ” 性癡呆・進行麻痺 . . . . . 204  
マンコップ症狀 . . . . . 415  
慢性こかいん中毒 . . . . . 179  
 ” 酒精中毒 . . . . . 156  
まらりあ . . . . . 113  
 ” 療法 . . . . . 233

ム之部

無意識 . . . . . 8  
無爲(症) . . . . . 58  
 ” 性・又ハ考慮貧弱性躁病 . . . 342  
夢幻性朦朧狀態・昏憒(癲癇性) . . 313  
 ” 錯亂 . . . . . 24

無譫妄振顫譫妄 . . . . . 165  
 夢中遊行(症)(癲癇性) . . . . . 313  
 (ひすてリー性) . . . . . 366  
 ムフ精神反應 . . . . . 105

メ之部

迷信 . . . . . 32  
 酩酊 . . . . . 155  
 めらんこリー(抑鬱狀態参照) . . . . . 340  
 命令自動 . . . . . 60  
 メンデル法式 . . . . . 292

モ之部

目的觀念 . . . . . 20  
 模倣自動 . . . . . 60  
 文字新作 . . . . . 82  
 もるひね . . . . . 174  
 朦朧狀態 . . . . . 9  
 (ひすてリー, 癲癇参照) . . . . .  
 もんどりすむす . . . . . 189  
 文字新作 . . . . . 82

ユ之部

憂鬱病(抑鬱狀態) . . . . . 339  
 有形考慮 . . . . . 3  
 憂愁・憂鬱 . . . . . 44  
 有聲考慮 . . . . . 3  
 優性型 . . . . . 292

ヨ之部

要素性幻覺 . . . . . 3  
 薬性腦硬化(症) . . . . . 143  
 沃度保兒誤中毒 . . . . . 182  
 幼若進行麻痺 . . . . . 210  
 伴狂(癡) . . . . . 373  
 豫期性神經症 . . . . . 410  
 欲求觀念 . . . . . 416  
 抑鬱狀態 . . . . . 339  
 ,, 性昏迷(昏迷性抑鬱) . . . . . 340

,, 體質 . . . . . 345  
 ,, 妄覺病 . . . . . 341  
 ,, 又ハ苦悶性躁病 . . . . . 342

ラ之部

老耄(性)譫妄 . . . . . 249  
 ,, 癡呆 . . . . . 247  
 ろ行音發音不明症 . . . . . 69  
 ランゲ反應(ごるとぞーる参照) . . . . . 197  
 濫買(症) . . . . . 53  
 (進行麻痺) . . . . . 205

リ之部

リープマン症狀 . . . . . 162  
 硫化炭素中毒 . . . . . 182  
 流行性腦脊髄膜炎 . . . . . 133  
 離想症・支離 . . . . . 24  
 領會ノ異常 . . . . . 5  
 臨場苦悶(症) . . . . . 399  
 リンゲル液 . . . . . 116

ル之部

類音聯合・音聯合 . . . . . 16  
 類官官(症) . . . . . 187  
 ルゴール液 . . . . . 183  
 るみなーる . . . . . 332

レ之部

劣性型 . . . . . 292  
 練習性 . . . . . 87  
 聯合 . . . . . 15

ロ之部

蠟屈症・強梗(症) . . . . . 60  
 ろだげーん . . . . . 184  
 魯鈍 . . . . . 460

ワ之部

ワツセルマン反應 . . . . . 104, 207

Register.

A

Abasie-Astasie . . . . . 380  
 Aberglaube . . . . . 32  
 Ablenkbarkeit . . . . . 7  
 Abortiver Anfall (Epilepsie) . . . . . 309  
 Absenz . . . . . 312  
 Abstinenzerscheinung . . . . . 174  
 Abstrakte Vorstellung . . . . . 26  
 Abstraktionsfähigkeit . . . . . 26  
 Abulie . . . . . 58  
 Affekt . . . . . 41  
 Affekttonusverlust . . . . . 312  
 Agnosie . . . . . 6  
 Agoraphobie . . . . . 44, 399  
 Agrammatismus . . . . . 72  
 Agraphie . . . . . 82  
 Akinesia algera . . . . . 41  
 Akkommodation . . . . . 99  
 Akute Verwirrtheit . . . . . 115  
 Alalie . . . . . 69  
 Alexie . . . . . 7, 71  
 Algolagnie . . . . . 56, 433  
 Alkoholdämmerzustand, s. Rauchs-  
 dämmerzustand . . . . . 156  
 Alkoholintoleranz . . . . . 156  
 Alkoholische Eifersuchtwahn . . . . . 161  
 ,, halluzinatorischer  
 Schwachsinn . . . . . 165  
 ,, Pseudoparalyse . . . . . 171  
 Alkoholismus . . . . . 154  
 Alkoholpsychosen . . . . . 160  
 Alkoholwahnsinn . . . . . 167  
 Allgemeine Gefühl (Gemeinge-  
 fühl) . . . . . 40  
 Allocheirie . . . . . 2  
 Alopecanthropie . . . . . 38  
 Alternierendes Ich. s. Bewusst-  
 sein . . . . . 91  
 ,, (hyst.) . . . . . 373  
 Altersblödsinn . . . . . 247  
 Alzheimersche Fibrillenverände-  
 rung . . . . . 252  
 ,, Krankheit . . . . . 257  
 Amentia . . . . . 115  
 Ammonshorn . . . . . 321  
 Amnesie . . . . . 13  
 ,, (hyst.) . . . . . 373  
 Amnestische Aphasie . . . . . 71  
 Anankasten . . . . . 420  
 Anfall (Krampf) . . . . . 77  
 Angst . . . . . 46  
 Anisokorie . . . . . 100  
 Anthrophagie . . . . . 55  
 Antisoziale . . . . . 424  
 Aphasie . . . . . 70  
 Apoplektische Lues . . . . . 193  
 Apoplektischer Anfall (Paralyse) . . . . . 203  
 Apoplexie . . . . . 130  
 Apperzeption . . . . . 83  
 Apraxie . . . . . 64  
 Arbeitsleistung . . . . . 87  
 Arbeitstherapie . . . . . 308  
 Archaisches Denken . . . . . 30  
 Argyll-Robertsons Symptom . . . . . 100  
 Arithmomanie, Zahlenzwang . . . . . 30  
 Arteriosklerose . . . . . 236  
 Artikulationsstörung . . . . . 69  
 Assoziation . . . . . 15  
 Asthenisch, s. Leptosom . . . . . 85  
 Ataxie . . . . . 96  
 Athletisch . . . . . 85  
 Atropin . . . . . 182  
 Atypischer grosser Anfall (Epi-  
 lepsie) . . . . . 311

Auffassung . . . . .	5
Aufmerksamkeit . . . . .	7
Aufregung (Psychomotorische) . . . . .	57
Aura . . . . .	308
Ausdrucksbewegung . . . . .	65
Äusseres Assoziation . . . . .	16
Äusseres Bewusstsein . . . . .	8

## B

Balkenmangel . . . . .	448
Basedowsche Krankheit . . . . .	183
Beachtungswahn . . . . .	37
Beeinflussbarkeit des Willens . . . . .	59
Beeinträchtigungsidee . . . . .	37
Befehlsautomatie . . . . .	60
Begriff . . . . .	12
Begriffserfall . . . . .	28
Belastung . . . . .	419
Benehmen . . . . .	65
Berufsverbrecher . . . . .	426
Beschaffenheitsvorstellung . . . . .	26
Beschäftigungsdelirien . . . . .	163
„ s. Arbeittherapie . . . . .	305
Besonnenes Delirium . . . . .	9
(Epilep) . . . . .	314
(Hyst) . . . . .	367
Betrunkene . . . . .	155
Bewegungsdrang . . . . .	58
„ trieb . . . . .	52
Bewusstsein . . . . .	8
„ strübung . . . . .	8
Beziehungswahn . . . . .	37
Bildungsunfähige Idiotie . . . . .	444
Binet-Simon . . . . .	84
Blicklähmung . . . . .	330
Blut . . . . .	104
„ druck . . . . .	104
Blutliquorschanke . . . . .	105
Brandstiftung . . . . .	52
Brokische Aphasie . . . . .	70
Bulimie . . . . .	54
Bumke Reaktion (Pupille) . . . . .	263

## C

Cajals Zellen . . . . .	322, 410
Cerebropathia psychica toxicä- mica . . . . .	116
Chorea minor . . . . .	114
Circuläres Irresein . . . . .	332
Claustrophobie . . . . .	399
Clonischer Krampf . . . . .	97
Cocainismus . . . . .	179
Comotionspsychose . . . . .	149
Confabulation . . . . .	14
Contusio cerebri . . . . .	149, 150
Convergenz . . . . .	99
Cyklóthymie . . . . .	85
Cynanthropie . . . . .	39

## D

Dämmerzustand . . . . .	9
Dauerbad . . . . .	307
„ schlaf . . . . .	300
Debität . . . . .	412
Degenerant . . . . .	300
Degenerationszeichen . . . . .	92
Deliriöse Manie . . . . .	339
„ Melancholie . . . . .	341
Delirium . . . . .	58
„ acutum . . . . .	114
„ tremens . . . . .	162
Dementer Ausdruck . . . . .	68
Dementia paralytica . . . . .	204
„ paranoides . . . . .	272
„ „ gravis . . . . .	273
„ „ mitis . . . . .	275
„ praecox . . . . .	258
„ senilis . . . . .	247
„ simplex . . . . .	265
Denkhemmung . . . . .	25
Depersonalisation . . . . .	90
Depression, Depressionszustand . . . . .	339
Depressive Kontitution . . . . .	345
Depressiver Wahnsinn . . . . .	341

Desorientiertheit . . . . .	11
Diabetes . . . . .	120
Diffuse Sklerose . . . . .	142
Diffusität . . . . .	22
Direkter Anschauungsunterricht . . . . .	457
Dipsomanie . . . . .	157, 316
Disposition . . . . .	301
Distrophia adiposogenitalis . . . . .	55, 187
Dolikokephalie . . . . .	93
Dominant . . . . .	292
Dominierende Vorstellung . . . . .	21
Doppeldenken . . . . .	3
Drang . . . . .	49
Druckpunkt . . . . .	102

## E

Echosymptome . . . . .	60
Effeminatio . . . . .	433
Egoist . . . . .	47
Eifersuchtswahn . . . . .	38
„ der Trinker . . . . .	161
Eigensinn . . . . .	61
Einbildung . . . . .	27
Einfache demente Form . . . . .	266
„ Depression . . . . .	340
„ depressive oder stupo- röse Verblödung . . . . .	281
Eitrige Meningitis . . . . .	133
Eiweissquotient . . . . .	106
Ekelgefühl . . . . .	42
Ekstase (Epilepsie) . . . . .	316
Empfindung . . . . .	1
Empirische Erbprognostik . . . . .	293
Endogene Psychose . . . . .	108
Entwicklungshemmung . . . . .	93
Enzephalitis . . . . .	134
„ lethargica . . . . .	135
Enzephalographie . . . . .	107
Epilepsie (genuine) . . . . .	307
Epileptische Charakter . . . . .	318
„ Demenz . . . . .	317
„ Irresein . . . . .	307
„ Stupor . . . . .	314

Eretische Idiotie . . . . .	400
Erfindungsidee . . . . .	37
Erholung . . . . .	88
Erinnerung . . . . .	12
„ sfälschung . . . . .	14
„ slosigkeit (Amnesie) . . . . .	13
Ermüdbarkeit . . . . .	87
Ermüdungsgefühl . . . . .	41
Erregbare . . . . .	424
Erregung . . . . .	57
Erschöpfung . . . . .	124
Erwartungsneurose . . . . .	410
Erworbene Neurasthenie . . . . .	388
Erythrophobie . . . . .	399
Eunuchoidismus . . . . .	187
Euphorie . . . . .	49
Exogene Prädilektionstypen . . . . .	109
Exhibitionismus . . . . .	56
Expansive Form (Paralyse) . . . . .	208

## F

Fabulieren . . . . .	14
Fakultative Symptome . . . . .	109
Familienpflege . . . . .	306
Familiäre amaurotische Idiotie . . . . .	174
Fetischismus . . . . .	93, 432
Feuerlust . . . . .	53
Fieberdelirien . . . . .	112
Fischer Flecke . . . . .	216
Fixidee . . . . .	36
Flexibilitas cerea . . . . .	60
Fokalsymptome . . . . .	309
Fragesucht . . . . .	29, 397

## G

Ganserscher Dämmerzustand . . . . .	365
Geborener Verbrecher . . . . .	424
Gedächtnis . . . . .	12
„ schwäche . . . . .	15
Gedankenlautwerden . . . . .	3
„ gang . . . . .	20
„ sichtbarwerden . . . . .	3

- Gefängnis . . . . . 382, 405  
 „ psychose . . . . . 405  
 Gefühl . . . . . 40  
 Gefühlsstumpfe . . . . . 424  
 Geisslersche Reaktion . . . . . 105  
 Geltungsbedürftige . . . . . 437  
 Gemeingefühl . . . . . 40  
 Gemüthliche Reaktion . . . . . 50  
 Genotypus . . . . . 293  
 Gennersche, Wechselmannsche  
 Methode . . . . . 232  
 Genuine Epilepsie . . . . . 307  
 Geschlechtsgefühl . . . . . 43  
 „ trieb . . . . . 55  
 Gesichtsausdruck . . . . . 65  
 „ schneiden . . . . . 66  
 Gleichgültigkeit . . . . . 51  
 Goldsolreaktion . . . . . 197  
 Gonovaccinbehandlung . . . . . 243  
 Grenzzustände . . . . . 417  
 Grimassieren, Gesichtsscheiden . . . . . 66  
 Grössenidee . . . . . 38  
 Grosser Anfall (Epilepsie) . . . . . 311  
 „ (Hysterie) . . . . . 378  
 Grübelsucht . . . . . 29
- H**
- Haften einzelner Vorstellungen . . . . . 21  
 Haftreaktion . . . . . 405  
 „ psychose . . . . . 405  
 Halluzination . . . . . 3  
 Haltlosen . . . . . 428  
 Handarbeit . . . . . 468  
 Hass (Pathologischer) . . . . . 49  
 Häsitiation, Häsitieren . . . . . 6  
 Hebephrenie . . . . . 264  
 Heboidophrenie . . . . . 266  
 Heilerziehung . . . . . 468  
 Heiter . . . . . 49  
 Hemmung . . . . . 58  
 Hilfsschule . . . . . 468  
 Hippus . . . . . 100  
 Hirnabszess . . . . . 134  
 Hirnblutung . . . . . 130  
 „ erweichung . . . . . 130  
 „ trombose . . . . . 130  
 „ tumor . . . . . 125  
 Holothymwahn . . . . . 33  
 Homosexualität . . . . . 55, 432  
 Hortegazellen . . . . . 217  
 Humor . . . . . 49  
 Hungergefühl . . . . . 41  
 Huntingtons Chorea . . . . . 143  
 Hydrotherapie (Dauerbad) . . . . . 307  
 Hydrozephalus . . . . . 453  
 Hyosein . . . . . 182, 353  
 Hyperästhetische emotionelle  
 Schwächezustände . . . . . 181  
 Hypermnesie . . . . . 14  
 Hyperthymie . . . . . 49  
 Hyperventilationsversuch . . . . . 327  
 Hypnose . . . . . 60, 372  
 Hypochondrie (Nervosität) . . . . . 392  
 Hypochondrische Verblödung . . . . . 266  
 Hypomanie . . . . . 335  
 Hypophysis . . . . . 186  
 Hysterie . . . . . 360  
 Hysterischer Anfall . . . . . 378  
 „ Bogen . . . . . 377  
 „ Dämmerzustand . . . . . 366  
 „ Delirium . . . . . 363  
 „ Irresein . . . . . 362  
 „ Katalepsie . . . . . 369  
 „ Krampf . . . . . 376  
 „ Kugeln . . . . . 376  
 „ Paranoia . . . . . 370  
 „ Pseudoparalyse . . . . . 370  
 „ Reaktion . . . . . 360  
 „ Stigmata . . . . . 102, 381  
 „ Stottereie . . . . . 376  
 „ Stupor . . . . . 367  
 „ Wandeln . . . . . 367  
 Hysteroepilepsie . . . . . 329  
 „ manie . . . . . 370

- I**
- Ideenassoziation (Assoziation) . . . . . 15  
 Ideenflucht . . . . . 20  
 Ideenflüchtige Depression . . . . . 343  
 „ Verwirrtheit . . . . . 23  
 Idiotenanstalt . . . . . 456  
 Idiotie . . . . . 444  
 Illusion . . . . . 2  
 Imbezillität . . . . . 458  
 Impulsivität . . . . . 52  
 Impulsives Irresein . . . . . 435  
 Induziertes Irresein . . . . . 408  
 Infantilismus . . . . . 189  
 Infektionsdelirien . . . . . 112  
 Influenza . . . . . 114  
 Initialdelirien . . . . . 112  
 Inkohaerenz . . . . . 24  
 Innere Assoziation . . . . . 16  
 Insuffizienten . . . . . 420  
 Insulin-Shockbehandlung . . . . . 301  
 Intelligenz . . . . . 84  
 „ alter . . . . . 84  
 „ prüfung . . . . . 84  
 „ quotient . . . . . 84  
 Involutionmelancholie . . . . . 255  
 Isolierte Halluzination . . . . . 3  
 Isolierung . . . . . 305, 354
- K**
- Kradiasol-Convulsionstherapie . . . . . 303  
 Katalepsie . . . . . 60  
 Katatonie . . . . . 266  
 Katatonische Erregung . . . . . 270  
 Katatonischer Stupor . . . . . 268  
 Kaufsucht (Oniomanie) . . . . . 53, 205  
 Klangassoziation . . . . . 16  
 Kleben der Vorstellungen . . . . . 21  
 Kleinheitsidee, s. -wahn . . . . . 37  
 Kleptomanie . . . . . 52, 435  
 Knierreflex . . . . . 101  
 Kohlenoxydgasvergiftung . . . . . 180
- Kollapsdelirien . . . . . 117  
 Komplex (hyst) . . . . . 383  
 Konkordanz . . . . . 293  
 Konstitutionelle Depression . . . . . 304  
 „ Erregung . . . . . 424  
 „ Neurasthenie . . . . . 391  
 Konträre Sexualempfindung . . . . . 55  
 Kopfanomalien . . . . . 93  
 Koprolalie . . . . . 63  
 Koprophagie . . . . . 54  
 Korsakoffsche Psychose . . . . .  
 . . . . . 10, 110, 116, 123, 135, 150, 169  
 Krampf . . . . . 97  
 Krampfanfall (Paralyse) . . . . . 206  
 „ (Epilepsie) . . . . . 308  
 Kretinismus . . . . . 185  
 Kriegsneurose . . . . . 403
- L**
- Lähmung . . . . . 95  
 Langesche (Goldsol) Reaktion . . . . . 98  
 Läppische Verblödung . . . . . 286  
 Latente Schizophrenie . . . . . 291  
 Latentes Bewusstsein . . . . . 91  
 Leeres Lachen . . . . . 67  
 Leitungsaphasie . . . . . 70  
 Leitvorstellung . . . . . 20  
 Lichtreaktion . . . . . 99  
 Lichtstarr . . . . . 99  
 Liepmannsches Phaenomen . . . . . 162  
 Liquor . . . . . 104  
 Lobäre Hirnsklerose . . . . . 143  
 Logoklonie . . . . . 69  
 Lombroso . . . . . 424  
 Lues hereditaria . . . . . 201  
 „ „ tarda . . . . . 202  
 Luetische Epilepsie . . . . . 194  
 „ Neurasthenie . . . . . 191  
 „ Pseudoparalyse . . . . . 197  
 Lumbalflüssigkeit . . . . . 104  
 Luminal . . . . . 332  
 Lustmörder . . . . . 52, 436

<b>M</b>	
Malariabehandlung . . . . .	233
Mania gravis . . . . .	337
„ levis . . . . .	335
Manie . . . . .	336
Manieren. s. Maniertheit . . . . .	62
Manisch-depressives Irresein . . . . .	332
Manische Aufregung . . . . .	57
„ Konstitution . . . . .	345
„ Stupor . . . . .	343
Manifestationsschwankung . . . . .	293
Mannkopfsche Symptom . . . . .	417
Maskenartig . . . . .	66
Masochismus . . . . .	56, 433
Melancholie . . . . .	340
Mendelismus . . . . .	292
Meningitis . . . . .	132
Merkfähigkeit . . . . .	13
Mikrokephalie . . . . .	449
„ manie. s. Kleinheitswahn . . . . .	37
Minderwertigkeiten . . . . .	419
Mischzustand . . . . .	342
Mongolismus . . . . .	189
Monomanie . . . . .	52
„ symptomatische Hysterie . . . . .	328
Moralgefühl . . . . .	51
Moral insanity . . . . .	424
Morphinismus . . . . .	174
Motorische Aphasie . . . . .	70
Muchsche Reaktion . . . . .	105
Multiple Sklerose . . . . .	141
Mutazismen u. Muzismen . . . . .	61
Mysophobie . . . . .	398
Myxödem . . . . .	184
<b>N</b>	
Nachtwandeln . . . . .	313, 353
Nahrungstrieb . . . . .	41
„ verweigerung . . . . .	54
Narkolepsie . . . . .	312
Nasensondenfütterung . . . . .	355
Negativismus . . . . .	64
Nervosität . . . . .	391
Neurasthenie . . . . .	388
Nonne-Apeltische Reaktion . . . . .	105
Nukleinsäureinjektion . . . . .	233
Nymphomanie . . . . .	44
<b>O</b>	
Oberes und unteres Bewusstsein . . . . .	91
Obere Vorstellung . . . . .	20
Oligophrenien . . . . .	440
Obligate Symptomen . . . . .	109
Onanie (pathologische) . . . . .	432
Operationssucht . . . . .	373
Opiumkur . . . . .	354
Orientierung . . . . .	10
<b>P</b>	
Paradoxe Erscheinung (Pupille) . . . . .	101
Paramimie . . . . .	68
Paragraphie . . . . .	81
Paranoia . . . . .	355
Paranoider Endzustand . . . . .	286
„ Schwachsinn . . . . .	276
Paraphrenia systematica . . . . .	276
Paraphrenie . . . . .	276
Parathymie . . . . .	427
Pathologischer Gedanke . . . . .	28
„ Lügner . . . . .	430
„ Rausch . . . . .	155
Parkinsonismus . . . . .	138
Pellagra . . . . .	182
Penetranz . . . . .	293
Periodische Verstimmung (Epilepsie) . . . . .	315
Permeabilität . . . . .	105
Perseveration . . . . .	22
Personenverkenkung . . . . .	6
Persönlichkeit . . . . .	90
„ spaltung . . . . .	90
„ sverfall . . . . .	90
Pessimismus . . . . .	45

Pfropfhebeaphrenie . . . . .	291
Phänotypus . . . . .	293
Phantasie . . . . .	27
Phobie . . . . .	43, 399
Physikalischverfolgungswahn . . . . .	38
Pick'sche Atrophie . . . . .	256
Plasmazellen . . . . .	218
Platzangst . . . . .	44, 399
Pleozytose . . . . .	207
Pocken . . . . .	113
Porenkephalie . . . . .	452
Poriomanie . . . . .	52
(Epielep) . . . . .	316
(Hyst) . . . . .	367
Postoperatives Irresein . . . . .	122
Posttraumatische Demenz . . . . .	149
„ Pseudoparalyse . . . . .	153
Präcordialangst . . . . .	46
Prädikative Assoziation . . . . .	16
Praeseniles Irresein . . . . .	254
Presbyophrenie . . . . .	249
Proband . . . . .	293
Pseudohalluzination . . . . .	3
„ logia phantastica . . . . .	430
„ dipsomanie . . . . .	157
„ hirntumor . . . . .	128
„ sklerose . . . . .	144
„ paralyse (alc.) . . . . .	171
„ (luet.) . . . . .	197
„ (hyst.) . . . . .	370
„ querulanten, Streitsüchtige . . . . .	422
„ stupor . . . . .	8
Psychasthenie . . . . .	393
Psychische Arbeitsleistung . . . . .	87
„ Entwicklungshem- mungen . . . . .	440
„ Epilepsie . . . . .	312
„ Hermaphroditismus . . . . .	432
„ Infektion . . . . .	408
„ Neuralgie . . . . .	45
„ Reflex (Pupille) . . . . .	99
Psychogene Geistesstörungen . . . . .	108
„ Wahnbildung . . . . .	410
Psychoanalyse . . . . .	96, 402
Psychopathen . . . . .	418
Psychopathische Persönlichkei- ten . . . . .	418
Psychopathischer Grenzttzustand . . . . .	418
„ Minderwertigkeit . . . . .	419
Psychotherapie . . . . .	386
Puerilismus . . . . .	373
Pupillen . . . . .	99
Pyknisch . . . . .	85
Pyknolepsie . . . . .	312
Pyromanie . . . . .	48, 435
<b>Q</b>	
Querulantenwahn . . . . .	38, 388
<b>R</b>	
Rauschzustand . . . . .	155
Redeweise . . . . .	71
Reflex . . . . .	101
„ epilepsie . . . . .	324
„ halluzination . . . . .	3
Reinlichkeitsgefühl . . . . .	42
Residualzustand nach Commotio cerebric . . . . .	152
Retrograde Amnesie . . . . .	13
Rezessiv . . . . .	292
Ringersche Lösung . . . . .	116
Rückbildungsalter . . . . .	246
<b>S</b>	
Salbengesicht . . . . .	138
Sadismus . . . . .	56, 433
Sammelsucht s. trieb . . . . .	53, 317
Sakel . . . . .	301
Satyriasis . . . . .	44
Schädel. s. Kopf . . . . .	93
Schmerzempfindung . . . . .	102
„ (Hystrie) . . . . .	373
„ gefühl . . . . .	43
„ punkt . . . . .	102, 373
„ reflex . . . . .	100
Scheintod (hyst.) . . . . .	266, 368

- Schizoide . . . . . 85, 291, 438  
 Schizophrenie . . . . . 258  
 Schizophrene Reaktion . . . . . 295  
 „     Zerfahrenheit . . . . . 24  
 Schizothym . . . . . 85  
 Schlaf . . . . . 9  
 Schlaftrunkenheit . . . . . 10  
 „     anfall (hyst.) . . . . . 369  
 Schnauzkrampf . . . . . 67  
 Schrift . . . . . 81  
 „     neubildung . . . . . 81  
 Schreckneurose . . . . . 412  
 Schwefelkohlenstoff . . . . . 182  
 Schwindelanfall (Epilepsie) . . . . . 312  
 Sekundärer Reflex (Pupille) . . . . . 100  
 Sekundäre Sinnesempfindung . . . . . 2  
 Selbstbeschädigung (Hyst) . . . . . 373  
 Selbstbewusstsein . . . . . 90  
 Senile Demenz . . . . . 247  
 Sensitiver Beziehungswahn . . . . . 410  
 Sensorielle Aphasie . . . . . 70  
 Septische Erkrankung . . . . . 114  
 Silbenstolpern . . . . . 69  
 Sinnestäuschung . . . . . 2  
 Simulation . . . . . 373  
 Sitophobie . . . . . 54  
 Skandierende Sprache . . . . . 69  
 Somnambulismus . . . . . 313, 366  
 Sommers Sektor . . . . . 321  
 Sondenfütterung . . . . . 255  
 Spätkatatonie . . . . . 290  
 Spinnenzellen . . . . . 217  
 Sprachstörung . . . . . 68  
 Stäbchenzellen . . . . . 217  
 Stammeln . . . . . 69  
 Status epilepticus (Paralypse) . . . . . 206  
 (Epilepsie) . . . . . 319  
 Stehende Symptom . . . . . 256  
 Stereotypie . . . . . 62  
 Sterilisation . . . . . 466  
 Stimata degenerationis . . . . . 92  
 Stigmata (Hysterie) . . . . . 102, 381  
 Stimmungswechsel . . . . . 50  
 Stotterie . . . . . 70  
 (hyst) . . . . . 376  
 Strangulationsversuch . . . . . 123  
 Stupor . . . . . 58  
 Stuporöse Melancholie s. Depre-  
 sion . . . . . 340  
 „     Verwirrtheit . . . . . 25  
 Subkortikale Aphasie . . . . . 70  
 Sulfonalkur . . . . . 300  
 Swift-Elliss Methode . . . . . 232  
 Symptomatische Epilepsie . . . . . 308  
 „     Geistesstörun-  
 gen . . . . . 108  
 Synästhesien . . . . . 2  
 Syphilis . . . . . 191
- T**
- Tabespsychose . . . . . 203  
 Thatendrang . . . . . 57  
 Theilnahlosigkeit . . . . . 51  
 Thymus . . . . . 188  
 Thymopathen . . . . . 420  
 Tics . . . . . 99  
 Tobsucht . . . . . 339  
 Totale Amnesie . . . . . 13  
 „     Aphasie . . . . . 71  
 Traumatische Neurose . . . . . 413  
 „     (Kopf) Psychose . . . . . 149  
 Traumhafte Benommenheit,  
 Dämmerzustand (Epilepsie) . . . . . 313  
 Trieb . . . . . 52  
 Triebmenschen . . . . . 461  
 Trinkerwahnsinn s. halluzina-  
 torischer Schwachsinn . . . . . 167  
 Tuberkulinbehandlung . . . . . 233  
 Tuberkulose . . . . . 120  
 Tuberkulöse Meningitis . . . . . 132  
 Tuberoöse Hirnsklerose . . . . . 145  
 Typhus . . . . . 112
- U**
- Überwertige Idee . . . . . 28  
 Übung . . . . . 87

- Unbewusst . . . . . 7  
 Unfallsneurose . . . . . 413  
 Unproduktiv . . . . . 58  
 Unreinlichkeit . . . . . 43  
 Unterbewusstsein s. Latentes  
 Bewusstsein . . . . . 91  
 Unteres Bewusstsein . . . . . 91  
 Urämie . . . . . 122  
 Urteil . . . . . 28
- V**
- Verarmungsidee . . . . . 37  
 Verbigeration . . . . . 72  
 Verbrecher . . . . . 426  
 Verwirrtheit . . . . . 72  
 Verschrobene . . . . . 439  
 Verschrobenheit . . . . . 62  
 Verfolgungswahn . . . . . 38  
 Vergiftungsidee . . . . . 38  
 Vier Reaktionen . . . . . 105  
 Viraginitis . . . . . 93  
 Vorbeireden . . . . . 24, 262, 365  
 Vorstellung . . . . . 11
- W**
- Wahn . . . . . 31  
 Wahrnehmung . . . . . 2  
 Wandersucht, Poriomanie . . . . . 52, 316, 367  
 Wassermannsche Reaktion . . . . . 104  
 Wernickesche Aphasie . . . . . 70  
 „     Enzephalitis . . . . . 135  
 Wille . . . . . 51, 56  
 Willenssperrung . . . . . 59  
 Wilsonsche Krankheit . . . . . 144  
 Wortneubildung . . . . . 72  
 Wortsalat . . . . . 72
- Z**
- Zerebrale Kinderlähmung . . . . . 452  
 Zerebropathia psychica taxae-  
 mica . . . . . 116  
 Zerebrospinalflüssigkeit . . . . . 104  
 Zerfahrenheit . . . . . 23  
 Zerstretheit . . . . . 7  
 Zielvorstellung . . . . . 20  
 Zittern . . . . . 98  
 Zitterschrift . . . . . 81  
 „     sprache . . . . . 69  
 Zorn . . . . . 49  
 Zwangsbefürchtung . . . . . 29  
 „     denken . . . . . 29  
 „     halluzination . . . . . 29  
 „     handlung . . . . . 29, 63  
 „     hemmung . . . . . 63  
 „     irresein . . . . . 396  
 „     vorstellung . . . . . 29  
 Zweifelsucht . . . . . 29  
 Zwilling . . . . . 293  
 Zyklithymie . . . . . 85  
 Zytologische Untersuchung . . . . . 105



精神病学提要正誤表

本表により先づ誤れる箇所、脱字、不鮮明なる所を是非訂正せられたし

頁	行	誤又は脱	正	頁	行	誤又は脱	正
目次	8	12 附録Ⅱノ下ニ右ノ数字ヲ追加	Ⅲ性格(病質)類型特徴診断法	218		88圖解文字最終ニbヲ加フ	
本文	7	9 ニテ	ニテ	223	19	nfektion	Reinfektion
	60	25 従命運動	従命運動	225	19	第2期症状	第3期病變
	62	18 可ク	可ク	226	25	レ	レ
	85	10 乖離型ノ右ニ	Schizothymieヲ加フ	236	9	Störun en	Störungen
		18 常人ノ右ニ	ト病者トノ間ナル病質人ヲ加フ	26	26	最左不鮮明ナル字ハ	ナル
	96	23 意識突然不鮮明トナリノ右ニ	往々ヲ加フ	238	1	精神 常	精神異常
	100	21 瞳孔反射	對光反射	2	2	第ニガ	第ニ
	115	9 アルベキ病	アルベキ管	12	12	動行	行動
	120	6 重モノキ	重キモノ	19	19	テシ	シテ
	121	12 譫妄・錯亂	譫妄・錯亂	4	4	第9	第98
	135	9 トヲ示ス主ナル	トヲ主ナル	239	4	アラムカ	ナラムカ
	136	4 ばるきん	ばるきん	242	15	アラムカ	ナラムカ
	137	38圖中5ノ右ナル圖ノ下ニ	6ヲ加フ	264	7	最右抑	抑鬱
	146	14 ナラズトモ多クハ	ナラズ多クハ	268	24	129圖解説申強硬症	強硬症
	157	22 間時	時間	293	2	種接合體	異種接合體
	173	6 ナキヲ以テ	ナキヲ以テ	303	18	起ルハ	起レバ
	184	22 コヘル	コッヘル	323	2	遺傳	先天
	186	21 分泌 常	分泌異常	328	16	強制呼吸	強調呼吸
	188	8 胸腺 常	胸腺異常	342	10	アトス	アリトス
	190	8 最右端不鮮明ナル字ハ	概	369	15	將 又	將 又
	191	8 最左端同上	變	373	20	現レル	現レ
	198	27 右端ノ	削ル	405	10	アレド	アレド
	201	12 遺傳微毒	先天微毒	417	26	マンコフ	マンコップ
		(以下凡テ準之)		附録 1	35	智惠ヅキ	智惠ヅキ
	202	24 最右印刷不明3字	乃至	2	30	頭顱測定周圍	頭顱測定 周圍
	215	83圖	印刷不明取カヘル	15	2	細字	大字
	216	22 R nden	R inden	3	3	大字	細字



精神病学提要改訂版 賣價 ¥ 10.70 (定價 10.00 + 特別行爲稅相當額 .70)

昭和19年4月5日第1版印刷  
 昭和19年4月10日第1版發行  
 日本出版會承認イ844號 3000部

著 者 三宅 鏡一

南江堂出版株式會社

發 行 者 代表者 小立 正彦  
 東京都本郷區春木町3丁目32番地

合資會社正文會(東東 219)

印 刷 者 代表者 加藤 晴吉  
 東京都本郷區湯島切通坂町15番地

發 行 所 南江堂出版株式會社  
 東京都本郷區春木町3丁目32番地  
 電話小石川(85)3510・3918  
 振替口座東京149

配 給 所 東京都神田區淡路町2丁目9番地 日本出版配給株式會社

53-315ホ



1200501265753

53  
5ホ

終